

51年目の挑戦

総明会という財産

糸糸の待

2015 年総明会会報

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

明治中學校 校歌

校 歌

作詞 武島 羽衣
作曲 楠見恩三郎

一章

帝都の真中駿河臺
遙かに望む富士のねの
高きに理想の影追ひて
集る健児勇ましや

二章

学びの高嶺文の海、
峻しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を吞む

三章

忠と孝の大糸を、
色どる正義、愛、誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を揚げむ
我等が國の威を揚げむ

一、

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の榮になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、

權利自由の搖籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗幟し
高き理想の道を行く
我等が健児の意氣をば知るや
我等が健児の意氣をば知るや

三、

靈峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

揮毫 (きごう)

紫紺の詩

筆 向殿政男

「紫紺の詩」は総明会設立
50周年を記念して総明会
会員の皆様から寄せられた
意見を基に決定し、総明会
名誉会長向殿先生に揮毫
いただきました。

「紫紺の詩」の「詩」という
文字は「歌(音)」ではなく、
総明会会員の皆様の心に
残る「詩(言葉)」、「会報」を
表す言葉を意味しています。

51年目の挑戦

総明会という財産

総明会

総明会の会名は、初代校長の鶴澤總明先生のお名前をいただき、かつ明治中学校・高等学校同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものとして昭和59年開催の第20回総会で命名されました。現在は、「総明会」という表記が正式であることを認識しつつ、日本における漢字表記の基準である略字＝標準字体(新字体)を採用し、「総明会」と表記しています。



目次

2	総明会 総会・懇親会のご案内
6	総明会 会長挨拶
7	校長挨拶
10	第153回芥川賞授賞～平成16年卒 羽田圭介さん～
11	特集「未来の巨匠たち」
37	学校報告
51	OB・OG活動報告
129	平成27年度 総明会活動報告
130	総明会 本部・理事・役員一覧
131	総明会 評議員一覧
146	前年度幹事学年挨拶
147	次年度幹事学年挨拶
148	本年度幹事学年挨拶
149	第51回総明会 御寄付者一覧
151	総明会 会則
155	編集後記
157	総明会50周年特別広告

(明治大学政治経済学部教授)

安藏伸治

明治大学付属
明治高等学校・中学校校長

明治大学長

福宮賢一

(学)明治大学 理事長

日高憲三

第51回 総会・懇親会のご案内



51年目の挑戦 ～総明会という財産～

今年は駿河台に集合だ！

日 時：平成27年11月7日(土)

受 付：午後2時30分～

総 会：会場 明治大学大学会館3F 第1会議室
午後3時～

懇 親 会：会場 明治大学アカデミーコモン 2F
午後4時～

拝啓

仲秋の候、明治大学付属明治高等学校・中学校卒業生の皆様におかれましては、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。

今年も、総明会総会・懇親会の開催時期が近付いてまいりました。今年は私たち昭和63年卒「昭和戊辰乃会」が幹事学年を務めさせていただきます。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。昨年、総明会が発足してから50年目の節目を迎えました。今年は、新たな次の時代へと踏み出す第一歩の年となります。

「51年目の挑戦」-総明会にもっと若い世代の明治高校・中学校卒業生が、もっと多く参加し、総明会をもっと大きく、もっと躍動的にしたいという想いを込めて、このテーマとしました。

また、母校は創立100年を越え、数多の明治高校・中学校を卒業された諸先輩方が全国で、全世界で、各方面でご活躍されております。明治高校・中学校の先輩後輩の絆は、他校の先輩後輩・同窓よりも強力な絆があります。人生を生きていく上で、この強力なネットワーク、人財の宝庫を利用しないことは、大きな損失だと考えます。

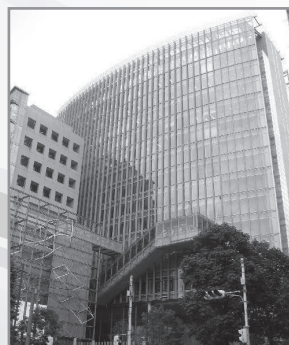
サブテーマは「総明会という財産」-総明会がすべての明治高校・中学校卒業生の財産となるように想いを込めました。

今年は久しぶりに、駿河台の明治大学アカデミーコモンを会場としました。

明治大学付属明治高校・中学校の旧校舎もすぐ近くにあります。

皆様、ご多用の極みとは存じますが、一日だけ頂戴できませんか？大いに飲んで、歌って、皆で10代のあの頃へ戻しましょう！皆様のお越しをお待ち申し上げます。

敬具



アカデミーコモン外観



アカデミーコモンエントランス
左のエスカレータをご利用ください



〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

楽しめる企画が盛りだくさん! あの日に戻ってお祭りだ!

事前企画 その①

男坂で記念撮影しませんか

気の合った同窓、先輩・後輩たちと、元部活仲間たちと、男坂で、記念撮影しませんか? きっとフェイバリットな写真になるはずです!

●時間:午後1時~3時

※当日は、幹事学年スタッフが、皆様の撮影をお手伝いさせていただきます。但し、スタッフは撮影補助、順番整理のみとさせていただきます、現像、プリント、焼増しは行いませんので予めご了承ください。



懇親会企画 その①

懇親会会場を 旧上履カラーでエリア分け

懇親会の会場を旧上履カラーでエリア分けします!在校時に履いていた上履の色と同じ色のエリアにお入りください。同じ色のエリア内には6年ごとの先輩・後輩が集合するので、同窓を見つけやすいし、先輩・後輩と話のネタなること間違いなし!今こそネットワークを作るチャンスです!もちろん上履カラーのない世代にも該当する年代のカラーエリアに参加していただきます。

※事前に年整理が必要なため、出欠ハガキに「卒業年次」をお忘れなくご記入ください。

※また、当日参加の方は、幹事学年スタッフに「卒業年次」をお伝えください。

懇親会企画 その②

春・夏・秋・冬チーム対抗戦

懐かしい体育祭での四季別チームも復活です!生まれ月に応じて春・夏・秋・冬の4チームに分かれてチーム対抗戦を行います!同じチームを応援して、優勝をめざせ!レアな応援歌も聴けます!もちろん、体育祭を知らない世代にも該当するチームに参加していただきます。

※事前に整理が必要なため、出欠ハガキに「生まれ月」をお忘れなくご記入ください。

懇親会企画 その③

校歌斉唱も臨場感たっぷり!

欠かせない校歌斉唱。今回の懇親会では誰もが願った、あの熱い想いを臨場感たっぷりにお送りします。乞うご期待を!!!

今年は土曜日開催!

同期会の一次会に使ってください!!

みなさまのお越しを心からお待ち申しあげております!

二次会は別冊の「せっかく行くなら総明会のお店」をご活用ください!!

会費のご案内

今年もあります！ 便利な事前納付！ お得です！

本年も会費事前納付制度を実施致します。当日のお支払いにくらべ、**1,000円割引**させていただきます。ぜひ、ご利用ください。
事前納付のお振込先につきましては、下記をご覧ください。

	当日払い	事前納付
一般会員(昭和49年から平成15年までのご卒業)	10,000円 →	9,000円
シニア会員(昭和48年以前のご卒業)	8,000円 →	7,000円
ヤング会員(平成16年から23年までのご卒業の社会人)	6,000円 →	5,000円
学生会員(大学生・大学院生)	3,000円 →	2,000円
ご同伴者(上記会員が同伴する会員以外の方)	5,000円 →	4,000円

会費事前納付振込先

10月23日(金)までに納付をお願い致します。入金確認のため、氏名の前に卒業年を入れてください。ATMでの振込名義の変更は可能です。

例：昭和年代卒業の方→63 メイジ タロウ
平成年代卒業の方→ヘイ15 メイジ ハナコ

個人名義の同行口座間のATMおよびインターネットバンキングを利用した振込は無料です。ATMご利用の場合、時間外手数料が発生するケースもございます。

第51回総明会 総会 式次第(案)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 書記選出
5. 議事進行
 - 第一号議案 会務報告
 - 第二号議案 会計報告
 - 第三号議案 監査報告
 - 第四号議案 会長及び副会長選出
 - 第五号議案 その他
6. 閉会の辞

ゆうちょ銀行 振替口座

昨年と
違います

記 号：00180-5
番 号：765112
名 義：第51回総明会総会懇親会
名義カナ：ダイゴジュウイッカイスウメイカイ
ソウカイコンシンカイ

三菱東京UFJ銀行

昨年と
違います

支 店 名：神田支店(店番331)
預金種類：普通預金
口座番号：0351910
名 義：第51回総明会総会懇親会 平井 肇
名義カナ：ダイゴジュウイチカイソウメイカイ
ソウカイコンシンカイ ヒライ ハジメ

※なお、恐縮ではございますが、一旦納付いただいた会費は、ご返金できません。予めご了承ください。当日ご欠席された場合も、同様にご返金できません。貴重な浄財といたしまして、総明会活動に利用させていただきます。

※誠にお手数ながら、出欠につきましては、同封の葉書にて又は総明会ホームページよりご連絡をお願いいたします。なお、出席のお知らせをいただいていない方でも、直前に出席可能になった方など、ご連絡をいただかなくても出席可能ですのでお気軽にお運びください。

総明会ホームページ

<http://meiji.cside7.com>

総明会 新たな挑戦



明治大学付属
明治高等学校・
中学校同窓会
総明会会長

尾島育四郎

「51年目の挑戦」のメインテーマを掲げて昭和63年卒・昭和戊辰乃会の方々が今年の幹事学年として日々活躍しております。

関係者のご努力に心から感謝すると共に、一人でも多くの卒業生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

さて、昨年は「総明会創設50周年」の節目の年度でありました。振り返りますと

母校の100周年事業に全精力を傾けて参りましたが、興奮も覚めやらぬ間に総明会創設50周年事業に取組んで参りました。お陰様で式典も成功裡に終わることができましたが、重要な事は総明会50周年記念誌を発刊する事でありました。会報と同時に総明会全会員の皆様に無償で刊行する事を事業計画の柱として挑戦して参りました。お陰様で皆様のご協力により実現することができました事を心より感謝申し上げます。

会員皆様のご寄稿によりまして、会員相互の歴史の和が広がったように思われます。今を伝える事で歴史が蘇って参ります。正しい歴史を知らねば未来は語れません。約二年強の編集・取材を重ねて周年委員会のもと、会報委員会を中心とした編纂委員会が活動をして参りました。が、休みを返上して活躍された委員会に対して厚く御礼申し上げます。

50周年記念誌が発刊されますと、何年も続いた重要行事や募金活動等は当分ありません。然し乍ら新たな総明会の挑

戦はスタートしなければなりません。

同窓会の伝統とは革新の連続であり、良い事に挑戦し発展せねばなりません。そして後輩達に繋げて行かねばなりません。しかし、今の教育は知識・学力を積んでゆけば、それが「生きる力」に結びつくと考ええる傾向にあります。いくら知識を積み積んでも「生きる力」にはなりません。

知識を知恵に昇華するためには、人間との関りを大事にすることが特に必要であります。総明会の役割もここに在ると考えます。将来を担う若手の会員が募る会にするには、魅力と実利が伴わねばなりません。奉仕の精神と同時に大事な事は、母校の先生方と総明会の協力関係が不可欠であります。平成27年は良好な信頼関係の基、オリンピックを目標にフェンシング部が同好会として復活しました。

また組織委員会の部会として新たに「法曹部会」を創設致します。魅力と実利のある部会や交流会を整えて先輩・後輩諸氏が共に語らう場を築いて行く事が将来最も大切で有ると考えます。

「名門校」としての存在



明治大学付属
明治高等学校
明治中学校 校長

安藏伸治

昨年の総明会創設50周年記念の総会に引き続き、本年明治大学駿河台キャンパスで第51回総会が開催されます。新しい半世紀のスタートの年となります。

明治中学校・明治高等学校の校長職として2年目となりましたが、この学校での生活を積み重ねているうちにしだいに「名門校」としての質量を感じるようになってきました。金子前校長時

代よりはじまった教育改革は、様々な問題や障害に躓きながらも着実に良い方向に転化しているように思います。昨年は、東京理科大学の「ぼつちゃん科学賞」の最優秀賞と学校賞、朝日新聞主催の「どくしょ甲子園」での全国優勝にあたる最優秀賞、ベネッセが行う学力推移テストで、全国550校中、中学3年生の数学の平均点が第1位、そして最近の3年間において、毎年7〜8名の明高出身者が大学学部在学中に公認会計士試験に合格しています。また、国立大学への進学者も着実に増加傾向にあります。

今年の高校3年生は、明治大学への推薦を得るためには通算成績に加え、英検2級合格とTOEIC450点以上が求められます。現在、95%の生徒が英検2級をクリアしたと報告がありました。今や明治高校3年生は、明治大学の10学部からのもっとも欲しい人材と認められ、大学進学後は明治大学のグローバル化を担う存在となっています。

みなさんご存じのように、明治高校では受験指導をしていません。有名大学にどれだけの合格者を出すかが高校の評価となっている現在、明治高校の存在意義はわが国では異彩を放つものになってきています。明治高校の偏差値は、全国5位に位置し、もし受験指導をしたならばそれなりの成果を生むことは可能です。しかし、有名大学に入学させることが明治高校の存在意義ではなく、将来の「健児」としてその名に値するだけの内容を伴う人材として、誠実で心身ともに逞しく、健やかに成長するという「質実剛健」の精神を有し、また私学の雄として学問の独立、自由を保ち、自治の精神を養い、人格の完成を図ることにより官立よりも勝る存在になるという「独立自治」の精神を併せ持つ人材の育成こそが本校の使命だと思います。

「名門校」としての歴史と意味を重く受け止め、「第一級の人物」としての総明会会員を送り出していきたいと思えます。

総明会

会長

四十一年卒

尾島育四郎

41明友会

副会長

四十四年卒

関谷 芳久

男坂倶楽部

副会長

四十五年卒

吉田耕太郎

獅子の会

副会長

五十一年卒

井家上哲史

明々会

専務理事

五十年卒

山崎 秀樹

明紫会

常務理事

四十三年卒

中村 正容

紫讃会

事務局長

五十四年卒

熊倉 章雄

明誠会

会計

五十六年卒

狩野 智雄

明翔会

第51回総明会総会・懇親会

総明会会長（昭和41年卒 41明友会）

尾島 育四郎

〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6

昭和44年卒
総明会
副会長

関谷 芳久

男坂倶楽部

昭和50年卒
総明会
専務理事

山崎 秀樹

明紫会

昭和51年卒
総明会
副会長

井家上哲史

明々会

昭和45年卒
総明会
副会長

吉田耕太郎

獅子の会

昭和56年卒
総明会
会計

狩野 智雄

明翔会

昭和54年卒
総明会
事務局長

熊倉 章雄

明誠会

昭和43年卒
総明会
常務理事

中村 正容

紫讃会

総明会 顧問(昭和32年卒・明治会)

山崎 敬生



市原企業株式会社 代表取締役
〒299-0102 市原市青柳2-1-23

昭和36年卒

総明会 名誉会長

明治大学校友会会長

明治大学名誉教授

向殿 政男

TEL.03-3701-1691

E-mail: masao@g03.itscom.net

〒二六・〇〇〇三
荒川区南十住二・三四・四
電話 (三八〇一) 六八三〇

重盛元也

明治高校PTA顧問
明治白駿会

登録商標 ゼイタク煎餅
東京名物 重盛の人形焼

総明会 顧問 総明会前会長

弁護士 佐久間 洋一

昭和43年卒 紫讃会

事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階

電話 03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648

URL <http://www.sakuma-law.com/>

祝 第51回 総明会総会・懇親会

昭和63年卒

昭和戊辰乃会

(しょうわぼしんのかい)

祝『第153回芥川賞』受賞 平成16年卒 羽田圭介さん



Profile

明治大学付属明治高等学校在学中の2003年、17歳史上最年少で「黒冷水」が第40回文藝賞を受賞。2008年「走ル」を発表、第139回芥川賞候補作となる。2010年、第四作「ミート・ザ・ビート」で第142回芥川賞候補。2014年、「メタモルフォシス」で第151回芥川賞候補、2015年、「スクラップ・アンド・ビルド」で第153回芥川賞を受賞した。

本年度の「第153回芥川賞」に明治高校の平成16年卒業生である羽田圭介さんの作品「スクラップ・アンド・ビルド」が選ばれました。明治高校Ⅲ年在学中に作家デビュー、4回目の候補で受賞を果たされました。

羽田さんのご好意により、8月21日に帝国ホテルで行われた授賞式を取材させていただきました！

現代の文豪が集まる会場で彼も文学界の巨匠への一歩を踏み出しました。多くの同級生の

他、坂口先生はじめ先生方も多数来場されました。バラエティ番組などでのユニークな印象とは違い、爽やかでまっすぐな好青年でした。

羽田圭介さんには、2011年総明会会報・特集記事「未来へつなぐ絆」の中で母校である明治中学・高校についての寄稿を頂いております。

総明会初の芥川賞受賞は、我々総明会の会員にとっても心躍る明るいニュースとなりました。心よりお祝い申し上げます。



2011年 総明会会報より

特集

未来の巨匠たち

「51年目の挑戦」〜総明会という財産〜

現在二万二千人余りの会員を有する総明会。多くの仲間が「未来の巨匠」となるべく活躍されています。その中から各界で活躍中の6人にスポットをあて、明治中学・明治高校在学中のことや、現在、未来のことについてお話をいただきました。

今後も「総明会初」という快挙を多くの「未来の巨匠たち」によって成し遂げられることを切に願います。

競艇選手
浅見昌克



明治大学国際日本学部 教授
鈴木賢志



落語家
立川志獅丸



マンドリン演奏者
堀 雅貴



公認会計士・税理士
五十嵐明彦



ホルン奏者
福川伸陽



特集 未来の巨匠たち

競艇選手 浅見昌克 昭和63年卒



競艇選手

72期 A1級。通算1着数 1101回。14戸田ボート大賞サンケイスポーツ杯優勝ほか

卒業後競艇選手となり、一線級で活躍する同期の星、ボートレーサー浅見昌克のすごさの秘密とは？

聞き手…昭和63年卒(昭和戊辰乃会)

伊藤正貴・刈米聡、郎

伊藤 刈米…本日はインタビューを受けてくださり、ありがとうございます。

刈米…競艇選手になったことは、新聞で浅見と浅見の父親が一緒に出ていたのを観て知った。

基本的なことですが、競艇自体わからないし、どこでレースをしているのかも知らないのでもっと教えてください。普段の生活と何が違うのですか？

浅見…普段の生活とレース場に行つたときは精神的に違う。まず、レースの基本的なところから(笑)。例えば、5月28日〜6月2日まで徳山(山口県)でレースなんだけど、競艇は必ず前日の12時(昼)までにレース場に入らないといけない。全国に24レース場がある。レース場に全国から45〜50

人位選手が集まってくる。そこでレース場が持つているエンジン、ボートを借り受ける。そのボートとエンジンは抽選。ガラガラボン。それを調整する。一日前の前日検査日(前検日)で試運転して、いいとか悪いとかを確認。プロペラの調整をして次の日からレース。前検日に試運転してから、くじで全部決まる。それからエンジンも調整するのが競艇選手。悪いエンジン、悪いボートがある。悪いエンジン、プロペラを引いてしまつたときにどこのコースをとるか、どういうレースをするかが腕。複勝率、連対率、データが残っている。エンジンは悪いんだけど、船の能力がいいとか、目玉エンジンとかがある。いい選手に当たれば鬼に金棒。全く上手ではない選手にあたつた時が面白い。あいつでもあのエンジンだつたら勝つかもしれないつて舟券を買う人もいる。目玉エンジンがあつたとしても何とも言えない。やつぱり選手みちやうかな。悪いエンジンを引いてしまつたら整備。メカニックも競う。走り手が整備しなくちゃいけない。特殊な世界。日本しかない。競馬競輪は世界。それはかつ

特集 未来の巨匠たち

こい。腕がいい人と悪い人がいる。

伊藤 浅見は腕がいい？

浅見 小さいころから機械いじりが好きだった。好きこそものつてやつかな。

伊藤 テクニクは伝授していいものなの？

浅見 弟子には伝える。

伊藤 刈米 浅見に弟子がいる!?

浅見 いる。自分は師匠じゃないけど…。強いて言えば父かな。

刈米 父親との関係も知リたかつた。父親はライバル？それとも師匠？

浅見 父は64才まで走っていて7年くらいは一緒に走つた。父と同じレースを走つたことも二度ある。自分はフライングで父は一位だった。(笑)

伊藤 そもそもなんで明大明治を受験したの？

浅見 4教科試験に移行し人氣がなかった。自分の偏差値的に合い、家から通いやすい。といった理由。

伊藤 選手になろうと思つたのはいっ？

浅見 自動車が好きだった。飛行機でもなく、電車でもなく、船でもなく、ウルトラマ

ンでもなく、車が好きだった。絶対に車に関する仕事につきたかつた。中学に入つて自分でも夢つて考えられるようになってくると、カーレーサーにならなくなつてきた。これは夢。免許を取つて、車を買いたいというとは親は反対。で夢はレーサーだけど、具体的目標は自動車メーカーで開発エンジニアになりたかつた。でも大学推薦時に工学部に入れなかつた。そこで農学部に進んで農業土木を専攻した。その時バブルだつたら、どこもかしこも開発開発で、自分もゼネコンに行きたかつたが、「浅見君、君はゼネコンに行つてはいけない」と教授に言われた。「えー、なんでですか?」「いや、君はゼネコンという感じじゃない」と言われた。不思議だつたけど、今思うと、ものすごく納得がいく。いい教授だつた。

伊藤 いま明治大学は受験者数日本一になつたよね。

浅見 明大明治は偏差値71超えてるみたい…。いまじゃ僕らみんなは入れないね(笑)。中3から高1になるときクラスメイト2名と一緒に尾崎先生に呼び出された。

「次の期末で点とれないと留年になる。その時どうする?」と言われ、僕は「まったく落ちる気がしないので、考える氣もしません」と。尾崎先生は「そうだ、浅見のその氣持ちでいいんだよ」と褒められた。いつもたまたま、ギリギリなんだけど、結局自分だけ進級できたんだ。宣言したからには頑張らねばという思いもあつたかな。

奥さん にも「なんでそんなにポジティブでいられるの?ほんと不思議!」といわれる。これは生まれ持つたものなんだよね。怪我した時も落ち込まず、このぐらいでよかった。これつて才能かも知れない。

伊藤 奥さまはレーサー 浅見をどう思つてるの？

浅見 奥さんのご両親は普通のお勤めだったので最初はまったくわからなかつた。結婚する前、付き合つてるときも「次いつ会えるの?」と言われたが1ヶ月後という感じで。両親は大変理解のある方だつたんで結婚について反対はされなかつた。

刈米 いまの仕事をするきつかけは？

浅見 ちびだつたから。本当は車の世界に

特集 未来の巨匠たち

行きたかった。親から車のレースはさせない」と反対された。それで親が競艇選手でもあったので、だったらボートレースでいいよ……という感じだった。

伊藤…いつから意識してたの？

浅見…高校のときから意識してきた。高校でこれからの進路を考えたとき、ボートの選手の条件をみたら、背が小さく、目が良いとか。親がやってたこともあるけど、俺って条件あつてるじゃんと思つた。

刈米…いまは身長大きくても平気でしょ。

浅見…175cmまでOKになった。当時は165cmまで、ギリギリだった。パン代のお小遣いをパン買わないで、CDが当時2800円、秋葉原が通り道だったのでよく買つていた。でも高校のときに腹いっぱいたべられないのは辛かった。

伊藤…へこたれそうになつたときには、どう自分を奮い立たせるの？

浅見…こういう仕事だから、今は成績いいけど、悪い時もある、フライングとか。いい時が考えのベースになつちゃうと悪い時につちもさつちもいなくなる。そういう時

に限ってエンジン抽選も悪くなる。自分の実力ではどうにもならない。若いうちはスタートでカバー、フライングも多かった。年を重ねると、無理しても危ないだけ、何もないことないじゃどうするか？このぐらいで済んでるからいい。怪我なくまだ走れるだけいいよと考える。成績わるいとクビになっちゃうけど、自分が頑張ればクビにはならない。嫌な先輩と部屋が一緒になつても次の試合では必ず一緒ににならないからちよつとだけ我慢すればいい。常に前向きに考えている。ポジティブマインドは才能。調子悪い時はやはり精神力、こんな時もあるさと思うこと。ボートでもいろいろな人がいる。ゴマスつて媚び売つて整備とかプロペラ調整とか教えてもらわないと生きていけない人もいる。そういうペコペコするのがすごく嫌で。基本的にボートは二匹オオカミの世界。自分でやらねばいけない。自分でやるのが好き、それが遠回りでも。教えてもらえば手っ取り早いんだけど……操縦もエンジン整備もまず自分でやる、わからなかつたら聞くというスタンス。

刈米…最後の質問、現役の明治中学高校生のメッセージ。

伊藤…挑み続ける巨匠というテーマ。厳しい競争の中でどうして挑み続けられているのか？

浅見…まわりに流されないこと。これは短所かも知れないけど頑固なところがなくてはいけない。自分を持つてないと、途中までは成功するかも知れないけどその先はない。我が強いと損するときもある。よくいうと意志の強さ。自分のことをよく知つている。自分で自分がどういふ人間か理解することが大切。自分がどういふ人間かわかれば人の意見に流されない、聞き入ることができる。そういう考え方もあるんだと勉強になるけど、あくまで自分の中に芯がないといけない。

刈米…現役中高生へは、自分がやりたいことをやれと言いたい。

浅見…小学校のときは勉強好きだった、受験超えられた。中学からバスケット、勉強好きでなかつた、留年しそうになつた、部活や家が遠いのは理由にならないけど。結局、本

特集 未来の巨匠たち

人のやる気。うちの子供にいうのは、最低限、進級できるくらいの勉強をやればいい、高校の終わり、大学にいけばやりたいことが見つかるからと言っている。高校時代は250人中、230〜240番くらいで、尾崎先生には笑われたけど、農学部ではすごい優秀だった。これだけ単位とれば測量士補がとれ、学年では僕だけだったと伝えたら「本当かあつー」喜んでくれた。好きなこと、やりたいことが見つかったから。

浅見…うちの3人の弟子にもいうんだけど。なぜか要領の悪いばかりの子が多い、苦労させられる。技術的な話は誰でもできる、精神的な話はなかなかできない。最初は自分を基準になんでこんなこともできないんだと思うけど、この子たちはこういうことから教えないといけないんだと勉強になった。なんでもそうだけど自分を基準にしていけないということを学んだ。人にものを教えるのは大変。弟子の人生を握ることになる。責任がある。一人目は要領がよかった。二人目は本当に馬鹿、よく選手になった。本当に教えるのが大変だった。これ

を教えていくのが今の時代なのだと。自己啓発本とか上に立つ立場として勉強したことがあった。ためになった。

刈米…なんでこうなっちゃうんだとマイナスになっちゃう人多い。そこをプラスに考えることは重要。中高生へのメッセージはポジティブシンキングだと思う。

浅見…今は成績が悪くてもあの時があったから今があるという考え方。今、学業なり人間関係、部活で苦労していることがあるのは、自分の人生にとって何の意味があるのか、あのときがあったから今があるという時期が必ず来るから、頑張りましょうということ。いまでも嫌な先輩もいる、なんでこうなのかと。世界中の何十億人の中でなんでこの人と知り合ったのか？それには必ず意味があると…

帰り際に…

浅見…残念だったのはA1になれたけど億を稼げる選手にはなれなかった。もうベランダからSGレースには出られないかな。今はスピードの時代。今はみんな20代。2、

3年あれば稼げる。だめな子もいる。昔は誰でもそこそこだった。今は首を切られる。厳しい勝負の世界。

競艇と言つ勝負の世界に生き、挑み続ける。今後にまだまだ期待したい。



平成27年5月25日 SPAIN bar Graciaにて

特集 未来の巨匠たち

明治大学国際日本学部 教授 鈴木賢志 昭和62年卒

ストックホルム商科大学研究員(1997-2007年)／オックスフォード大学客員研究員(2007-2008年)
／スウェーデン社会研究所 代表理事



左から高橋亜樹さん、鈴木賢志教授、星野琢巳さん

国際社会に出て活躍する学生を育てている明治大学国際日本学部教授の鈴木教授と明治高校出身の大学生一名にお願いして、これからの国際社会に生きる明治中学・高校生徒へのメッセージと総明会について、また、スウェーデンとの交流について伺いました。

星野 琢巳(たくみ)君 (平成25年卒)

3年 明治高校サッカー部出身

高橋 亜樹さん (平成25年卒)

3年 明治高校ソフトテニス部出身

聞き手…昭和63年卒(昭和戊辰乃会)

高田賢二郎・田嶋慎治

高田…本日はよろしく願います。

鈴木先生の研究テーマである「北欧と日本の社会システム」「国民性の比較分析」に沿って伺います。

明治中学・高校のOB・OGからなる総明会というのは、日本人がよくいう「同じ釜の飯を食った仲間」、そういった結束力の強い日本の国民性による繋がりやの形だと

思います。それはヨーロッパやスウェーデンの大学においてもそのような感覚があるんでしょうか？

鈴木…ないですよ。卒業生のネットワークはなくはないですけど、そんなに強くはないですね。

高田…お二人に伺います。同窓会、総明会というような組織、長年続いている組織について率直なイメージを教えてください。

星野…すごくいいことだと思えます。グローバル化しつつもそれは日本の良さだから残していくべきだと自分は思います。

高田…高橋さんはそういう世代を超えた同窓のつながりをどう思います？

高橋…実際は同じ学校を卒業したただけなので、普段はなかなか関わり合うことではないと思いますが、そういう集まりがあると、その中で先輩に意見を聞きたいと思うこともあるので良いと思います。

高田…鈴木先生、私たちの時代と今の二人の付き合い方に対する感覚が変わっているものなのでしょうか？

鈴木…(欧米の考え方に)寄ってきている

特集 未来の巨匠たち

と思います。特にこの学部の子はその中でも国際的な思考を持つてきているので少し先を走っている感じがあると思います。

高田..お二人はなぜ私達の若い時と今の時代とで、若い人の考え方が変わってきたのだと思いますか？

星野..今のスマートフォン普及で、コミュニケーションの仕方が変わってきている。面と向かって言うより文章で言う方が言い易いというか、そういうものも関係あるのかなと思います。

高橋..やっぱり昔と比べて発言の自由というか、自由に言える時代になっているのかなと思います。

高田..では、もう一つのテーマについて伺います。

明治大学のホームページの中で、「世界に目を向けると今まで当たり前と思っていたことが実はそうではない、他者との比較は他者を知ることのみならず、自分を知ることです。国際比較によつて日本をよくするヒントを見つけていきましょう」という言葉を発信されています。お二人が国

際社会の勉強をしていて、その視点から後輩たちに向けて、人との関わり方、意識の持ち方についてアドバイスがあればお願いします。

星野..ここには留学生もいっぱいいるので、実際海外の人と交流するのが一番勉強になるかなと思います。先生のゼミの企画でスウェーデンの高校生の東京観光の手伝いというのがあって、全然価値観も違うし世界との違いを思い知らされました。

高田..星野さんはスウェーデンの人とふれあつて、自分の中で新たな思いや、気づいた事はありませんか？

星野..スウェーデンの人たちつて意見を率直にいうんですよ、いろいろと。日本茶は好きかと訊いても「嫌い」つてすぐにいうんです。日本人も自分の意見を率直にもつと言つたほうがいいのかなつて。

高田..高橋さんから後輩に向けて、国際的な感覚を身に付けることの必要性等、そういう感じのアドバイスがあれば。

高橋..私が高田の時に、カナダに語学研修で行つたんですけど、それで思つたのは、日

本人はずつと日本人と一緒にいるなつて。もうちょっと自分一人で行動できるようになつた方がいいんじゃないかなつて思いました。

鈴木..このキャンパスにいと留学生とか普通にいるからね。ほかの明治のキャンパスともまた違う変な空間だよ。よく独特の世界を作っているつて言われてます。

高田..今のお二人の話を聞いて、先生の方からアドバイスとかありますか？

鈴木..いろんな人と触れ合うことが大切で、それ自体が勉強だからね。ちよつとした身振りとかそういうものでも結構違うつて感じるこつていっぱいあるんじゃないですか。それつて触れてみないとわからなかつたり。そういうところに積極的にいけるようになっていきたいと思いますよ、今の人たちは僕らの時よりも。それは凄くいいし、それを手伝うことができているんならいいなと自分では思っています。

高田..鈴木先生を先輩としてみるとどうですか？

特集 未来の巨匠たち

星野…先輩としてみると、なぜ明治大学に行かなかったのですか？ちよつとひねくれているのかな？とか。

高橋…それは私も聞いてみたいです。

星野…物理の先生で二人東大に行つた人がいるんですよ。その人、ちよつと変わった人なんです。

鈴木…明大に行かなかった話をしようか。

まず、僕は中学からなんです、明治中学から。親が酒屋をやつていて、父親も母親も大学は出ていないんですよ。なので大学ぐらいは苦労しないで出したいという事です。明治は商学部が有名で看板学部だからということで、そんな感じで受けて入つたのが縁です。高校三年の夏前、1学期まで外部受験する気はなかったんですけど、で、明治の経営学部に行こうと思つていたんです…つて言つていたんですけど、なんか外交官になんたくなつちやつたんですね。で、いろいろと外交官の事を調べてみると外務省に入つて出世するには東大法学部を出ていないとダメだつていうような話があつて。ちよつとタイミン

グよく外部のテスト、進研ゼミなんかのテストを受ける機会があつて、受けたらまたま良かったんですね。それでなんだかその気になつちやつて、受験しますみたいなことをいきなり言つて。

高田…今、高校は国公立を受ける場合は明治大学の推薦枠を持つたまま受けられるんですよ。

鈴木…実はその話も、後で聞いた話では僕のせいらしいです(笑)そのシステムができたの。本当かどうか知りませんが。それぐらい認めてやつてもいいじゃないかなことになつたらしくて。君のせいだよつて言われたんです。岡野加穂留さんつていう政治経済学部長で、第11代明治大学学長やつた先生ですけどね。

高田…僕のおかげでつて書かないといけませんよ(笑)

田嶋…お二人ともお忙しい中、ありがとうございます。

高田…では、先生、個別の話を聞かせてください。なんで明治大学に戻つてこようと

思つたんですか？

鈴木…いや、全然たまたまですね。僕はもうスウェーデンに骨を埋めるぐらいのつも



特集 未来の巨匠たち

りでいたんですけど、僕がいたところはビジネスストックホルム商科大学というビジネススクールに付属している欧州日本研究所というところで、二〇〇六年ぐらいに

なつて中国経済が上がつて日本がだめですわねつてなつた時に、ある日突然「クビ」つて言われたんです、僕だけじゃなくて。その時にちょうど、ヨーロッパで日本の事を教えてるんだつたら、明治大学に国際日本学部ができるよつて話になつて、お前明治高校なんだからつて言われて入つたんですよ、六、七年前。この学部ができて八年目だから。ちょうどそのタイミング。ホント運ですよ。

高田…ところで鈴木先生は明治大学の音楽部の部長になられたんですよね？

鈴木…はい。プラスバンド、交響楽団の顧問つていうことです。

高田…百人以上いるんですよね。

鈴木…そうなんです。いつも紹介記事の原稿書いてます。(笑)

田嶋…話は変わりますが、鈴木先輩は厳しい先生なんですか？

鈴木…僕は自分のキャラとしてはなるべく優しくやつてるつもりなんですけど。学年によつては稀に怖がる学年があつたりします。

あとは、毎年九月にスウェーデンに連れて行つて学生交流なんかもやつてます。

田嶋…僕も小学校のPTA会長なんでスウェーデン人の学生を連れてきて交流なんていいなあつて思つたんですけどね。

鈴木…先週なんですけど、スウェーデン社会研究所つていうのが日本にあるんですよ、研究所つていつもスウェーデンの事を日本に広く広めようみたいな団体で、

その代表理事に選任されました。

田嶋…講義をする役目なんですか？

鈴木…いえ、そこそ研究所自体の運営の元締めみたいなものですね。もつと若い人にしてあげられる事を考えてくれみたいなことを言われているんですよ。ですから、スウェーデンの講義を小学校でしてくれつて事ならいつでも行きますよ。

田嶋…本当ですか？

鈴木…僕、自分の卒業した小学校で講義

やつてますから。

田嶋…私の住むところでは予算がないので鈴木先生は呼べないなあ。

鈴木…別にいいですよ。枠があればいつでも。中野区の小学校とかで留学生がいつば

いるから一緒に遊んだりしていますよ。

田嶋…高校生相手に小学生つてわけに

かないもんね。

鈴木…むしろ、日本語のレベルは小学生ぐ

らいなんでしょう。喜ぶと思

います。

木内…この会報を読んでいる方から依頼が

あれば受けていただけるでしょうか？

鈴木…それはいいですよ。受けます、受けま

す！

鈴木先輩のとても温厚な人柄と意志の強さや積極性をしっかりと学生の方が受け止めているという印象を受けました。これから国際社会に生き抜く総明会会員が増え、世代を超えて活発に発言できる会になつてゆくことでしょつ。

特集 未来の巨匠たち

落語家 立川志獅丸 平成7年卒



吉盛 正之(歴史研究部→柔道部) 立川流に2002年5月入門。2012年4月 二つ目に昇進。

立川志らく門下の実力派、立川志獅丸

(本名・吉盛正之)さんは平成七年卒業、

2002年5月入門し、2012年二つ

目に昇進。現在、毎月、品川のカレー屋で

“激辛寄席”を行う等、都内や地方で落

語会を勢力的に開催している。また落

語だけでなく毎週月曜日に栃木放送に

て“シモツカル”のラジオパーソナルティ

も努めている。二年前の柔道部OB会

席で笹倉先生から、落語は四段と勝手

に？称号を頂いた柔道部出身の実力派。

聞き手…昭和63年卒(昭和戊辰乃公)

荒木 城・木村幹寿・佐藤 武・芳澤 徹

木村…なぜ明治中学を選ばれたのですか。

志獅丸…単純に、小学校1年の担任が立

教出身で、軽はずみに親に立教に行きたい

と言ったら、親は本気でとってくれたので

しようね。学園祭とか見に行き、一番自分

の肌にあったのが明治だから受験しまし

たね。それはもう、感覚でしかなかったと。

何校か学園祭に行つて覚えていたのが、明

治と攻玉社だけで。

荒木…高校時代の思い出は？

志獅丸…柔道部が、思い出としてあります

よね。高校時代、修学旅行と言われても。

福岡とか行っていますけど。この間、仕事

で福岡に行つたので、大宰府に寄つたけど

何一つ思い出せなくて。初めて見た感じが

して。

マンクラもそうでしたね。何気なく練習の

音は聞こえていたけど、明治高校にいる

と。立川流に入り、談志師匠とか、うちの

師匠が昭和歌謡大好きで、何だろうと思

いながら聞いていたら、どこかで聞いた事

あるな。なんだろう？と思つて聞いていま

した。ああつーマンクラだ！と気が付いて。

芳澤…そんな学生時代に、ラジオ番組の

“ヤンバラ”を聞いて…

志獅丸…入り口は三宅裕司さんでしたね。

中学のときヤングパラダイスがあつて。

全盛期で。その時に三宅裕司さんがメデイ

アに出ていて、三宅さんいつも出ている

のが、志の輔師匠と渡辺正行さんだった

んです。興味もつて面白いなと見に行つた

特集 未来の巨匠たち

のが、その三人の会で、中学2年のときに『落語のピン』という深夜番組が始まるんですよ。それをずっとビデオに撮って見ていましたね。談志師匠がやっていて、その『落語のピン』をみて僕の世代はこの世界に入った人が多いですね。談志師匠と小朝師匠と志の輔師匠がメインでやっていて、その下に、若手で今のうちの師匠の志らくとかが出ていました。大学入ってもそのビデオをずっと見ていて、体同連で柔道やりながら明治高校の合宿にも行っていました。コーチではないけど。

就職活動も普通に。とある大手呉服屋に。和装を選んだのも、潜在意識としてあったのかもしれないですけど、落語家になろうとは少しも思っただけ。ただ女子社員が多いから入社を決めたことははつきり覚えてます。(笑)京橋(大阪)に勤めて。その時期から落語をやりたいなと思っていましたが、大阪に行つてしまいましたから。3年間働いてお金貯めてと思って矢先、1年で東京に戻されて。東京出身で関西に配属されたら、まあ、10

年は関西だろうと覚悟していたのに。

東武練馬の駅前に商業施設ができて。ここに新店で入ると。会社としても東京にお店を上げるのは何年ぶりかという一大プロジェクトに選ばれた。で、これが、またうまく具合に大失敗。笑っちゃうくらい大失敗で減茶苦茶になっちゃって。そこでも『辞めます』と。自分としては、もう運命と思うしかなくて。この10年、関西を回れと言われていたのが、1年で帰され、ゴコが減茶苦茶になる。これは『なれっ!』と言っているって。

荒木・落語協会に入れば、寄席もあるし、話すところもあるのになぜ他の流派ではなく立川流を選んだの？

志獅丸・好きな師匠のところに良かったので。一番面白いと感じてあこがれたのが今の師匠。『忘らっ!』でした。あこがれた師匠の所に行く。そうじゃないと、続かない気がしたので。打算的に入門しても。

木村・初めて前座であがつて落語をしたときというのはどうでした？

志獅丸・無我夢中でしたね。緊張はもち

ろん当然してましたし。立川の立川アイムというホールで。道灌をやつて。ただ、もう、やつた。稽古して覚えてきたことをやつただけ。兎に角、必死でした。

佐藤・稽古は、もうずっと覚えて覚えてという感じですか？

志獅丸・基本そうですけど、暗記というよりは、歌を覚えるみたいな感じで。うちの師匠からは、『聴いて覚えなさい』と。書くのではない。聴いて耳に、体に入れる。そうするとリズムが出てくると。それを叩き込んで。『書く』とは言われませんでした。『耳で聴いて覚えろ』って。だからずっと『聴きなさい』って。

荒木・自分でやってみると大変だった？

志獅丸・大変でしたね。最初のうちは、なかなかリズムがとれませんでした。『リズムが悪いと聞いていられない』とうちの師匠はよく言うんです。で、そのうちその人のオリジナルのメロディが奏でられるようになると上手くというか面白くなると思うんです。

荒木・二つ目になったのは？

特集 未来の巨匠たち

志獅丸…3年前?2012年。

荒木…そのときに確か聞いたのが、幾つか話ができなくてはいけないみたいなの?

志獅丸…はい、落語が50席、と歌舞音曲、講談ですね。それは立川談志の基準でした。残念ながら今は無くなりました。

木村…談志師匠がいつも言っていて、『立川流の二つ目は、他の流派の真打と二緒だ』と。必ず言う。その差があると。

荒木…よそに比べて、ざっくり言っちゃうと、厳しい中で二つ目になったという事?

志獅丸…僕はそうですね。そこで、ものすごく鍛えていただいたところもある。今はその基準がなくなってきたのでこれからは、また変わってくるのかも。

荒木…得意な演目とかは?

志獅丸…これもだいたいぶ解ってきたのですが変わりますね。やつぱり。単純に、自分が得意と思っているモノをずっとやるから『飽きる』んですよ。飽きると受けなくなるし、で、また、違う話を覚えるところちが面白くなるので。やつている方がやつぱりうけますね。で、時間が経ってから飽き

ちやつた話を改めてやつてみるとまた面白く思えたり…

うちの師匠もよく言っていました。もう飽きちゃつて『全然駄目だな。これ』って。

木村…いま、志獅丸さんの師匠以外で注目の落語家は?

志獅丸…同年代で、すごいなって思うのは、一之輔兄さんですね。あと、うちの師匠とかと逆の意味で凄いなつていうのが市馬師匠ですね。あの柳家のカタチをキチンと受け

継いでいると言う印象があります。魅力的になれとはよくいわれますけどね。人間として、魅力的にならないと面白くはならない。『うちの師匠から言われます。』

木村…立川流、志の輔さん、談春さん、志らくさんは歴史的な背景を徹底的に調べますよね。

志獅丸…調べて、何となくは解るのですが。まあ、何となくと言うのはおかしいでしょうが、見えていないから出来ないというのもちよつと違うけど。

荒木…見に行ったりするのは場所とか?

志獅丸…結構歩いているところがそうだが

たり。江戸市中で起こっている事なので。池波正太郎さんの本とか読んでいると面白いですよ。

芳澤…落語をこれから聴いてみようかなという人はそういうところから入ってくるのも一つの手?

志獅丸…そうですね、そんなに難しく考えずにとりあえず聴いてみてつて。とにかく一回みてくださいつて言うのはあります。歴史的背景感じるのは限られますけどね。どちらかというと日常の会話なので。庶民の。今でも通じる部分がある話の方が多いので。なんとなくわかるはずですよ。たぶん。

木村…やはり落語はその場所について臨場感を味わったほうが絶対良いよね。

志獅丸…そうですね。LIVEで見てもらえるところがありますね。

荒木…嘶家は勧めない?

志獅丸…嘶家?いや辞めろとも言わないですけど、『なりたいたい』というなら『辞めときな』とは言います。これは、あまり手の内明かすことじゃないけど、『辞めたほうがいい

特集 未来の巨匠たち



いよ』と言つてもなるヤツになる仕事ですから。

荒木…まあ、考えたら、落語のピンを見ていた志獅丸くんがいて、今の中高生が例えば志獅丸君を見て刺激を受けるかもしれないよね。

志獅丸…そうしたら、ちよつと嬉しいですよ。刺激を与えられたとしたら嬉しいですけれどね。でも『辞めときな』って言います。

(笑)

荒木…話し相手としてまあ、僕みたいな年代だけじゃなくて、そういう人も考えたり

していますか。若い人に話をするとか。

志獅丸…もちろんありますね。仕事で、小学校とか多いですよ。で、今の小学生ちゃんと聞いてくれますからね。素直に。びっくりするくらいに聞いてくれますし。ライブ嗜好にはなつてきている可能性がありますよね。世間全体が。TVとかでなく、現地で。ちゃんと何でもその音楽にしろ何にしろ。

荒木…真打はどうですか。予定は？

志獅丸…いや、それはねはつきり言い難いですけど、ここ数年でなります。3年ぐら

いでは見えるようにしたいですね。師匠がウンと言えるように納得させる事をどうするかなので、会をやつて、それが評判で。というのが一番いいと思いますね。

木村…で、志獅丸さんにとつて落語ってなんですか。

志獅丸…落語ですか。落語はもう、人生そのものですね。て言いたいですよね。なんでしょう。それつて凄いいカッコーいですがね。死ぬまでに何やりたいって聞かれたらずつと落語家をやつていたいと答えますね。

荒木…聞いているほうは、たまに飽きる。だから毎日喋るのは凄いなと思う。たまにこう離れてと思う時もあるぐらいだから。

志獅丸…ああそうですよね。談志師匠だつて言っていました。『飽ぎちやつたなあ…』で。

忙しい中、長時間の取材ありがとございしました。近いうち、真打昇進の吉報が届くのをお待ちしております。

特集 未来の巨匠たち

マンドリン演奏者 堀 雅貴 平成14年卒

マンドリンという楽器で世界との交流を図る明治高校マンドリン部出身の堀さんに、プロへの道のりと後輩に向けての熱いメッセージについてお伺いしました。

聞き手…昭和63年卒(昭和戊辰乃会)
本間豊明・芳澤 徹・木内和助



マンドリン演奏者(プロ) 2009年CDデビュー。

平成23年度文化庁新進芸術家海外研修員。

獨協大学マンドリンクラブ音楽監督。

クボタ フィロマンドリーネン オーケスターにてコンサートマスターを務める。

本間 背が高かったので運動部に入るという選択肢もあったと思いますが、どうでした？

堀 僕、少年野球をやっていたほどの運動好きで。それと母が家でピアノを教えていたので、運動か音楽かと思っていたんです。中学受験の時にチェロをずっと聴いていたので本当は管弦楽があれば入りたいかったです。

ですけど。それでバレーボール部、野球部、吹奏楽班、マンドリン部の四つを見に行つて、その中で弦楽器を触つてみたらとても相性が良くて、そしたらその日のうちに数曲弾けたんです、僕だけじゃないですけど(笑)それで、先輩に「天才だね」って乗せられて入つてしまいました。

木内 何か目標みたいなのはあったんですか。

堀 具体的なものではありませんでしたが、ずっと続けていこうとは思っていました。部活に入つて高Ⅱぐらいまでの期間はクラシックに没頭していましたね。

本間 堀さんの師匠の久保田先生は明治高校マンドリン部の大先輩であり、明大マンドリン部を経てドイツまで留学して純粋な音楽としてクラシックを学んできた方なので、その影響が大きかったですよね。

堀 それは大きかったですね。高Ⅱで幹部になると指揮者とコンサートマスターになる人がいるのですが、その人達は高Ⅰから先生に習いに行くようにしています。

特集 未来の巨匠たち

本間…高校生がそこまで教えるのは難しいので久保田先生に指揮法や和声を習いに行くわけですね。プロの指導者から音楽を直接教えてもらえるっていうのはとても大きいですよ。

堀…僕は久保田先生が先生でなかったら音楽はやってないので、影響は絶大です。先生から教えていただいた事は音大生が教えてもらう事と同じかそれ以上かとも思いました。初めは音大生ってどんなにレベルが違うのかと思っていたんですけど、一緒に演奏してみるとちゃんと認めてもらえました。先生には、プロの世界でも通用する事を高校時代から教えてもらっていたと感じています。

本間…堀さんはもう久保田先生から免許皆伝を受けているんですよ。

木内…改めて伺いますが、マンドリンで食べていける、食べていこうと思った瞬間ってどういう時だったんですか？

堀…自分に見えない力が働いていると思う事がきっかけかもしれません。元々僕は目に見えないものは信じていなかったんで

ですけど(笑)

芳澤…具体的にどういうことがあったんですか？

堀…大学二年か三年の時だったと思うんですけど、銀座で輸入楽器の販売をしている十字屋さんの創業百二十周年イベントの公演依頼を受けました。日本マンドリン連盟の名誉顧問だった市毛先生からの依頼でした。市毛先生は、久保田先生ご夫妻と親交が深く、数日予定されている講演のデモ演奏としてマンドリンの独奏を入れたいと久保田先生にお話があり、その時ソロを任せられる人が三人、うち二人が仕事で出られない日があつて、一日仰せつかりました。僕はまだ学生だったので、大抜擢でした。「免許皆伝」前でしたし。本当は免許皆伝後の方がいいんですけど、やる気ありそうだったことで一日だけ行っただけです。午前・午後の二回公演があつて、午後の公演の二曲目の最後の1打で自分の楽器の弦が切れてしまつて。そうしたら市毛先生が「あそこに飾つてある楽器を弾きなさい」と言つて下さつた楽器



特集 未来の巨匠たち

というのがバイオリンで言うところのストラディバリウスという大袈裟かもしれませんが、カラーチェのクラシコAのオールドだったんです。

本間…それは何百万円つてする物ですよ。ね。

堀…現在に至るまで多くの職人たちがお手本にしてきたような楽器です。僕、それまでヴィンテージで弾いた事なかったんです。でも、それで弾いて巧くなりました。そうしたら市毛先生が「上手に弾いてくれたし、今度演奏の機会があればまたいつでも貸してあげるから遊びにおいで」つて言ってくださったんです。忘れられないんですよ、音を直接触つてるような感じが。その半年後に、市毛先生に連絡して伺つて借りて来たら、あの時解らなかつたヒビとか鳴らないところがたくさんあつて、とてもそのまま弾き続けるのは無理な状態だったんです。そうしたら、「全部しつかり直して僕の形見だと思つて弾きなさい」つて言われて。

本間…それを直して。

堀…はい、今うちにあります。それで、大学三年の時に国際コンクールに初めて出て、そこで三位に入賞できました。そうしたら、今度は姉弟子が結婚して関西に行つてしまつて、それまで持っていたお店のレッスンがすべて空いてしまつて、それで僕もお受けしたんですけど、楽器がうちに来て、たまたま姉弟子の方が結婚されて。

本間…転がり込んできたんですね。

堀…そうなんです。そこから何年もしないうちに市毛先生はお亡くなりになりました。最晩年に知り合つた小僧に託して逝かれたのです…。

本間…趣味でやりますつていうレベルではなくなつてしまつたんですね。

堀…僕に音楽を愛し続けるというような才能があつて、それが世の中に必要とされて、しかもまるで神様が道が作つてくれるように協力者の方が現れて、自分が本気で関わっていると必ず次のステップに上つていくのがあつて。そうしていくうちに弾く事が自分のためだけではなくになりました。

本間…堀さんはそのカラーチェの国際コンクールで去年、見事優勝しているんです！
堀…有り難いことにその運命の楽器の子孫たちとともに親密な関係にあつて、今度のイベントにもその社長から祝辞を賜りました。

本間…今度開催される堀さんのイベント「イル・マンドリーノ・ジャポネーゼ」(2015年6月20日開催済み)という日本とイタリアのマンドリン文化の懸け橋みたいな形で、企画から全部堀さんがやつているつてところにもつながつてくるんですね。

堀…日本ではこんなにマンドリンが盛んなんですよ。つて事をイタリアの人にも知ってもらいたいと思つています。

本間…今回の企画を通してですね。

堀…はい。コンサートを四つに分けて自分のソロと室内楽と自分の持つアンサンブルと、そしてもう一つ、母校明治高校のマンドリン部に出演してもらいます。そして文化事業に選ばれて演奏できる実力のあつた学校だということをお伝えしていきたい

特集 未来の巨匠たち

いと思っています。

堀：今回の企画も、明治高校マンドリン部顧問の駒形先生が全面的に協力してくださっていて、マンドリンの歴史と音楽史と



世界史をまとめたページを見開きでパンフレットに入れていただいています。

木内：最後に、今の明高生に何かメッセージをお願いします。

堀：二つあります。一つは本物に触れる機会を持つていただきたいことです。自分は、先生が本物だったので今こういう事が出来ています。自分が知らないうちにそういうものに触れさせてもらっていたのがとても大事な事でした。此細な事でもいいので、本物と思えるものに触れてもらう事が大事だと思います。

もう一つは想像力を持つていただきたいことです。久保田先生は明治高校の音楽監督として、音楽だけではなく礼儀ですとか、ものの考え方とかを本気で教えて下さいました。人の気持ちや状況を考えて想像して行動するということがとても大事だという事を痛感しています。相手に何を伝えたいかで行動も変わってくるのではないかと思います。ですから想像力を持つて行動をしてほしいと思います。

木内：とても魅力的な話で面白かったです。

す。多々ご無礼もあつたことお詫びいたします。今日はありがとうございました。

堀：こちらこそありがとうございました。

堀さんが明治高校マンドリン部時代にマンドリンという運命の楽器を手にして、彼の人生が大きく見えない力で見えない道に引き込まれてゆき、その見えない道を自分の道として受け止めて進んで行ける堀さんの強さを感じました。これから明高生や卒業生をどんどん引っ張っていつて欲しいと思います。



販売価格： ¥2,000 (税込)
リリース日： 2014年2月17日
レーベル： PLEINDIRE
販売元： ブランディール音楽事務所株式会社

特集 未来の巨匠たち

公認会計士・税理士 五十嵐 明彦 平成6年卒



公認会計士・税理士／税理士法人タックス・アイズ代表。
明治大学3年在学中に公認会計士2次試験合格。書籍執筆多数。

明治大学在学中に公認会計士試験に合格し、税理士法人タックス・アイズの代表社員として幅広い仕事を行う一方、明治

大学経理研究所で、公認会計士試験講座の講師をも務めている五十嵐明彦氏（平成6年卒業）の事務所を、後輩が読んでこういう先輩がいて、『僕もやりたいな』というような事が聞けたら、という思いで訪ねてみた。

聞き手…昭和63年卒（昭和戊辰乃会）

三神光滋・芳澤 徹

三神…公認会計士がメインで？仕事内容はどのような事？

五十嵐…監査という仕事をするのが公認会計士です。監査って何かと言うと、会社が作る決算書は会社が自分で作った場合、間違っている事があつたり人を騙そうとして良く見せたり、逆に悪く見せたりという事があるので、それを会社の人間ではなく、外部の人間がチェックして「この会社が作っている決算書は正しいです」と

証明するのが監査の仕事です。とまあ、こんな感じです。

三神…税理士の仕事も…

五十嵐…やっています。

三神…で、ちよつと遡つて、先生が明治中学を選ぼうと思つたきっかけは？

五十嵐…自分で選んだ感はありません。実は、親も明治中学、明治高校、明治大学で、親が入学させたかったというのがかなり強いと思います。あと、大学受験しないで済むので付属校に行きたいという思いが多少自分の中にありました。

三神…公認会計士になろうと思つたのは、大学の学部を選ぶ時ですか？

五十嵐…まさにそのとおりで、進路面接があつたと思うのですが、硬式野球部だったので、将来の事とか全く考えていなくて。何学部行きたいとかもないし、将来何やりたいとかも特に無く、仲のいい友達に聞いたら、「公認会計士の勉強をしたいから商学部行く」と言うから、じゃあそれでもいいやと思つて、自分も。逃れられるじゃないですか。変な話。担任に「公認会計士試

特集 未来の巨匠たち

受験したいので商学部行きます」と言ったら、担任の田村先生から、先生の先輩が会計士で会計士試験の受験とか教えているから紹介すると言われて。すごく困って。そんなのいいよって。結局断りきれず、しかも同じ学年に何人かいたので一緒に話を聞けと言われて聞きに行つて。それがきつかけです。ただそれだけです。苦し紛れに。まあ、商学部でいいや。ていうのが何となくあったので。

三神…会計士試験にはたしか現役、大学3年生で合格したのですよね？受かったやつた！という感じ？それとも受かうという感じ？

五十嵐…いえいえ、それはもう最後ちゃんと「受かう」と思つて。

三神…じゃあ野球部で培つた根性で？

五十嵐…そうですね。それは、多少は活きていると思いますよ。

三神…在学中に公認会計士に受かつて卒業して、どこか大手に就職するの？

五十嵐…そうですね。監査法人のトーマツに。

三神…そういうところに数年いて、独立？

五十嵐…私は4年位ですかね。はじめから何かしようとは思っていません。何をしようとはその時決めてはいないですけど。2年半で正社員みたいのを辞めて非常勤になり、何しようと考えていた時、一番最初の勉強のきつかけとなつた先生が、後継者を探している人がいるという話を持ってきたので、「会つてみない？」と言われ、お会いしたのが今の事務所の方で、自分で独立したつていうよりは、承継です。承継中です。そんな話があるのならばそれでいいかなつて。

芳澤…迷いは無く？

五十嵐…そういうところ、迷わないですね。僕も相談受けたりするけど、人に相談したことは無くて。何ですかね。多分、親にも妻にも聞いていないです。「いい？」とか聞いていないです。

三神…明治高校で培つた何か？でも選択は間違えてはいないですよ。今の状況見ると。

五十嵐…間違つていないと思います。今の

ところは。

三神…今の明高生が公認会計士になりたいたと思つたら、今こういう事しとけみたいな事はありません？

五十嵐…今からやることは無いと思います。今は好きな事やつていた方がいいのではないですか？。大学入つてからか、入るちよつと前から、最初は簿記の三級を勉強するのが一番いいと思いますね。三級からでいいです。

学校の試験でいいので、ちゃんと勉強しておくのはいいかもしれないです。別にそれが役に立つとかじゃなく、どうやって勉強したら点数が取れるかというのを知つておくのはいいかもしれない。その能力大事でした。僕が受かつた時、大学3年生で受かつた人が17、18人いて、その半分以上が付属だつた気がします。みんな同じ考えで。要はどうやって勉強しないで点数取るか考えるよねつていう。それ大事ですよ。資格試験では。沢山勉強しようとは絶対思わない。この感覚は資格試験にはとつても大事だと思います。

特集 未来の巨匠たち

三神：やりがいみたいなのはどうですか？

五十嵐：やりがい？やりがいはやはり、一応専門家と言われるじゃないですか。皆さんどちらかというと苦手なところでもあつて、そういう意味ではお役に立つ場面が沢山あるので、有難がられて凄いいなとは思っています。この仕事。

三神：明治高校の人たちにメッセージがあつたらお願いします。

五十嵐：勉強でも、部活でも、それ以外でもいいと思うので、何か頑張るとか、凝つて何かして、その事が将来「いきる」のではないかと思う。それが、そのままでなくても、勉強した事、中間・期末でどのように楽をして点数取るかとか考えた事が、先に活きたし、野球部で結構しんどい思いしたのも、「あんなにしんどくないよな。勉強も」と思えたので、まあそうやつていけばいいと思いますね。

今、僕は明治大学で教えているので、「やりたい人がいたら来て下さい」というのがメッセージです。学部に関係なく、「経理研究所」という公認会計士試験のための

講座が大学の授業とは別枠であります。

僕らの時の「経理研究所」に比べ、ここ10年位ですごく変わり、ちゃんと講座作つてルール敷いて、専門学校に行くまでの初めの簿記の部分を全部大学でやりましょうということまで支援しています。

三神：無料？

五十嵐：無料ではないです。大学の補助があつて他でやるより安いです。

三神：予備校にいきなり1年から行く方法もあるけど、両方は厳しいの？

五十嵐：両方は厳しいです。というか、どちらかでいいです。とてもしつかりしたシステムです。途中からはちよつと難しいシステムなので、1年の始めから入るのが良いですね。去年たぶん明治高校出身で7人位受かりましたよ。3年生で、明治高校出身の公認会計士つてそれなりの人数がいると思いますよ。大学別で4位です。慶応、早稲田、中央、明治ですよ。

三神：じゃあ、もつと大々的に宣伝してもいいですよ。あと、本を出されていますよね。本を書くのは、頼まれて書いている

のですか。とくに相続関係が多いですね。

五十嵐：最近そうですね。これ「子供に迷惑かけたくなければ相続の準備は自分ですなさい」を書いてから、相続ばかりですけど、特に意図している訳ではないです。

芳澤：「相続」関連の話つて今多いですよ？

五十嵐：「相続」は多いですね。

三神：皆がある程度の知識を今、つけはじめている。親の財産を「抜ける」という事が何となく解つてきている。昔はある程度勉強しないと解らなかつたのが意外と出来るから。出来ちやうから気をつけなさい。最初に「本丸」を押えた者勝ちだから。

芳澤：少ないし相続しかもらえない方の家族から「なんか操作しているのでは」とかないの？

五十嵐：我々はないです。そういう案件の相続の申告はしたことありますけど。

三神：最後、申告は終わった後でしょうね。それが終わつてはじめて税務申告に入っていくから。

特集 未来の巨匠たち



五十嵐…いや、そうではなくて、10ヶ月だから、その状態でやります。分割できないければ分割できないという状態で一回やりまです。で、後でまたやり直します。もめていると、普通は同じ人が申告しますが、「そんなの嫌だ。自分たちでやる」といつて、違う申告書を出されたりします。それでも、まだいいのは、相手の税理士さんと我々がコンタクト取れば二応すり合わせでできますが、それすらできないこともあつて。そうするとわからないです。相手がどう出しているかがこちらにも良く分からなくて。評価が違っている可能性も大きくて。

芳澤…そうなのと？

五十嵐…税務署が全部みて、どっちを取るつていうのを全部あわせていつて最後やるのだと思いますけど、まだそれ、そこまで来ていないんですよ…

芳澤…その、こつち案とそつち案をこつちやませにしたミックス案とかあるの？

五十嵐…だと思えます。

三神…一番税金取れるのを選ぶんだよ。税務署は。

インタビュアーの水泳部出身怪しい弁護士先生とは対照的な、硬式野球部出身のさわやかな笑顔の公認会計士先生、お忙しい中お時間をいただきありがとうございます。我が家の莫大な資産はこの二人に任せようと思います。

子どもに迷惑
かけたくなければ
相続の準備は
自分でしなさい

親が読む相続の本

法律が変わります！
いよいよ
来年1月スタート

大反響!!
7万部
突破!

五十嵐明彦

「相続税、
私が払うの?!」
とあわてる前に
子どもがやるべき
相続準備の本

子どもが読む相続の本

法律が変わります！
いよいよ
来年1月スタート

今すぐ
はじめて
かしこく
節税!

五十嵐明彦

好評発売中！ 興味のある方はぜひ書店にてお求めください。

特集 未来の巨匠たち

ホルン奏者 福川伸陽 平成12年卒



NHK交響楽団首席奏者。平成20年日本音楽コンクールホルン部門第1位。
昭和音楽大学・国立音楽大学・洗足学園音楽大学の非常勤講師。

日本のオーケストラの最高峰、NHK交響楽団で若くして首席奏者の重責を担うホルン奏者の福川伸陽氏。生涯の友となるホルンとの出会いから、今後の音楽界への思いを熱く語ってくれました。

聞き手…昭和63年卒(昭和戊辰乃会)

光岡孝之

光岡…吹奏楽班に入ったきっかけは？

福川…最初は、化学部に入りたかったんですよ。でも吹奏楽班の見学に行つて「とりあえず楽器を吹いてみる」とホルンを渡されて、なぜか音がでちゃったんです。「お前、これはやるしかないよ」と言われて、僕も「これはやるしかないよね!!」となつて入ったのがきっかけでしたね。

光岡…入つてからはどうでしたか？

福川…入部までは、先輩達が優しくかったですけど、入部した瞬間に…(笑)でも楽器を吹くことができてとても楽しかったですよ。

もともと映画音楽が好きで、スター

ウォーズとかインディージョーンズとかのトランペットがかつこいいので「トランペットやりたいです」って言ったら、トランペットの空気が一つしかなくて。結局、中学1年の同級生とじゃんけんをして、僕は「チョキ」を出して負けたんです。「じゃあ、お前はホルンだな」ということで。これが、本当にホルンを始めたきっかけですね。

光岡…6年間の部活の思い出は？

福川…基礎合奏といつて、皆で同じ演奏をずつとやっているのは本当に眠かったですね。(笑)。部活は、中1から高三という6学年がいるので、レベルの差が激しいんですよ。そのレベルの差をどのようにしてコンサートまでもつていくのかというのが一番大変なことだったと思いますね。後輩の指導はすごく試行錯誤しました。どうしたら、僕の間を教えることができるのか。僕は今、三つの大学でホルンを専門に学生に教えていて、語彙もたくさんあるけど、当時は無かったですからね。どうしたら、もつと簡単に演奏できるようになるのだろうかとか、顧問の鈴木先生に「こ

特集 未来の巨匠たち

紹介頂いたホルンの先生に習った技術を
 という風には、やはり凄く難しいことでした
 ね。今でも使っている言葉ですが、優しく
 温かい音楽を演奏するとき、「産まれたば
 かりのふわふわの赤ちゃんを優しく抱き
 とめて、息を吹きかけるときにはどうい
 う風に息を吸いますか？ふーっ（やさしく吹
 きかける）だよね」みたいな、そんな言い方
 とかね。

上級生になると合奏を見る立場になるの
 ですごく面白かったですね。木管楽器と
 か打楽器は発音体が違うので、サウンド
 とか音楽を合わせることに重きをおいて
 いました。どうすると皆の音が一緒に出る
 のかを説明するのがとても楽しかったです
 ね。

光岡：福川さんの言葉で「オーケストラ」っ
 て？

福川：「社会の縮図」ですね。例えば、会社
 だったら利益を上げるとか一つの目標が
 あるわけじゃないですか。でも、そこにはす
 ごく沢山の人がいますよね。

オーケストラも全く同じなんです。まず、
 音程や音色や音楽の方向性を揃えること
 を、一曲を何時間もかけてリハーサルで積
 み重ねていくんです。その中に色々な役割
 をする人がいますが、特に管楽器は1人
 1パートでソリストみたいなものなんです
 ね。その一人ひとりが力を出すことによっ
 て、1+1は2以上になる。うまく共鳴す
 るとそういうふうになる。それがオーケス
 トラ全体で100人の音が協和したら、
 圧倒されるような雰囲気を持つものなん
 です。

でも、奏者もやっぱり人間ですから、その
 日体調が悪かったりとか、彼女にフラれた
 とか、付き合ひ始めたとか、精神状態はバ
 ラバラなんです。ベストを尽くそうと思
 う音楽家がどれだけ多いかによって、その
 オーケストラの良し悪しが決まってくる
 と思います。会社も同じでしょ。でも音
 楽は時間とともにたつてゆく時間芸術な
 ので、演奏の冒頭で誰かが素晴らしい演
 奏をすると、それにつられて、次の人、次の
 人へとつと素晴らしい音楽になること

もある。その逆も。そういうところが生の
 オーケストラの面白いところかなと思
 いますね。

光岡：大学は音大に進んだんですね。音大
 はどうでしたか？

福川：先生は非常に厳しい方で褒められ
 たことは一度もなかったですね。その後、平
 成15年に日本フィルハーモニー交響楽団
 に入団しました。

光岡：平成18年には公益財団法人アフィ



特集 未来の巨匠たち

ニス文化財団の海外研修員として留学されていたんですね。

福川…すごく楽しかったです。ロンドンに1年いたんですけど本当に音楽三昧でした。日本では仕事に追われ音楽を楽しむことがあまりなかったんです。でもロンドンにいた間はコンサートすることがほとんどなかったのでレッスンだけでした。夜は必ずコンサートを聴きに行ったりオペラをみたり、ちよつとパリまで足を伸ばしてルーブルに行ったり…。芸術をやつてる人間としては、インプットするつていうことがものすごい大事なので、その時頭や心にぶち込んだものつていうのが今になって生きてるんです。その時感じたものが残つてるつて感じかな。最近はずっと忙しくて、自分がアウトプットしているばかりで、何かから受けるほうがちよつと足りないなと思つています。

光岡…その時の経験が、今の福川さんの音楽に影響しているんですね。ところで、今、明治高校も大学もよくグローバルつて言っていますが、芸術が近くにあったロン

ドンでの生活に対して環境として日本つてどう思われますか？

福川…確かに環境は違いますけど、海外に出てあらためて感じたことは、アイデンティティが大切だなと思えますね。まず、僕の中では逆にグローバル化、スタンダード化はしないほうがいいと思つています。極端な話ですが、例えば世界の共通言語として全員英語をしゃべると、日本語の美しさだとか言い回しつていうのがなくなつちゃう。世界中どこにいても言葉が通じるのはいいですけどそれぞれの国の文化つていうのはどんどんなくなつていく。それぞれのアイデンティティが均一化されていつてしまつて…。

日本人が思う美とヨーロッパ人が思う美つていうのは全然違いますよね。日本人は、わび・さびなどすごく儂いもの、桜とかね、が美しいとされてきたんだけど、ヨーロッパ人は石造りのつかい教会が素晴らしいとされてきた。確かにクラシック音楽はヨーロッパの音楽なんですけど、僕はそろそろ日本人ならではの音楽をつくつて

もいいんじゃないかなと思つんです。それこそ独自の楽器を創作して、日本人が思う美はこういうものだつて。

「ヨーロッパ人はモーツアルトを本当に教会のようなか建物として扱うけれど、僕ら日本人はモーツアルトをもつと儂く美しいもののように演奏したい」とかがあつてもいいと思つてますよね。それぞれの国の街の景観や言葉、文化がそのまま音楽に出るので。

光岡…世界を見て、感じてあらためて日本の良さ、らしさを大切にしたいと感じられ



特集 未来の巨匠たち



たわけですね。ところで、今後はどのような活動をしているかと思つていますか？

福川：ソロ活動ですかね。たった1人でお客さんを2時間楽しませる…そんな活動をしていきたいです。そんなソリストが100人集まったオーケストラは素晴らしいと思うんです。将来的には自分の所属しているオーケストラがそうなつてほしいと思います。

光岡：最後に、若い世代の後輩たちに一言!!

福川：音楽という世界で生きる音楽家として大切にしていることが3つあつて、僕自身が持つている音色、テクニク、それから音楽という自分自身のものです。たとえば、音色とはファッションかな。それからテクニクっていうのは学歴とか、勉強がどれだけ出来るかとか、どういう会社勤めしているかということかな。それ以外の音楽という自分自身のものとは、人間としてという事です。いいスーツを着て、いい学歴で、中身もすごくいいという三拍子そろつて人間は素晴らしい。

らしい。勿論、すべてが揃つていなくても、何か一つでも秀でているものがあれば、すべてを凌駕する。だからといって決して他をないがしろにしているということではないと思います。若いうちに考えるべきことは、プラスαとして自分は何が出来るか。今の日本社会で気をつけなければいけないのは、どれだけ中身が素晴らしいか。かつたとしても、見た目が重要視される事もあるし、学歴や仕事重要視されることもある。それをふまえて、超えられるハードルがあるのなら努力すべきだと思ふし、超えられないハードルは…：超えるべきだと思ひます。

音楽には疎い私でも、分かり易く話してくれる福川さんの魅力に引き込まれ、時間が経つのも忘れてしまいました。中1のたまたまの選択が一生を決定し、今、音楽界の風雲児として更なる高みへ挑む彼の活躍する姿は「Eテレのクラシック音楽館」などでも放送されています。ぜひ一度ご覧下さい。

Special Thanks



今回のインタビューを行うにあたり、明治中学・高校の校舎をお貸しいただき、ありがとうございました。我々の知る猿樂町の校舎に比べ、新校舎はきれいで、グラウンドはとても広く、隔世の感があり感慨深いものがありました。



また、今回の特集において吹奏楽班の鈴木先生、マンドリン部の駒形先生、平成2年卒の深井氏、総務主任の櫻井先生には大変お世話になりました。慎んで御礼申し上げます。

**祝 第 51 回 総明会
明治高校
マンドリン部OB・OG会**

學校報告

吹奏楽班

第56回定期演奏会

平成27年卒

第55代班長 佐藤 ゆり

平成27年1月12日に、第56回定期演奏会が昭和女子大学人見記念講堂で行われました。例年は1月末に行われますが、今年は2週間程早めで成人の日という、いつもと異なる日程でした。そんな中、1172人という多くの方々にお越し頂き本当に嬉しく思います。ありがとうございます。

第1部は、ウィーンでも演奏した有名な「こうもり序曲」と天野正道先生作曲の「GR」を演奏しました。私にとつては二曲とも中学生の時に演奏したことがある曲だったので思い入れが強かったです。特に「GR」では曲の終盤で涙がこぼれそうになりました。

第2部はポップスステージ。かわいい

中1の踊りや高田企画、そして毎年恒例の応援団団長の司会など盛りだくさんで楽しく、そして盛り上がる事ができました。

第3部は、ブラームスの「交響曲第1番」と清水大輔先生作曲の「蒼氓愛歌」。こちらの二曲もウィーンで演奏しました。二曲とも長いのですが、やはり本番はあつという間、一瞬でした。花束贈呈で演奏する曲では、恐らく初の試みとなる高田からの言葉付きでした。やると聞いた時はあまり乗り気ではありませんが、いざ本番となると、お越しくださった皆様に直接感謝の言葉を言う機会があるのは幸せなことだと感じました。

例年だと定期演奏会で高校3年生は引退ですが、今回はウィーンへの演奏旅行があるのでほとんどの高田は引退ではありませんでした。でもウィーンに行かない人もいたので、このメンバーでできる最後の演奏、そして今までお世話になった方々に聴いて頂ける最後の演奏



昭和女子大学人見記念講堂にて



ということ、思い入れはとても強かったです。

本番が終わってロビーに挨拶に行つた際、多くの方々に「感動した」、「良かった」などと言つて頂けて、本当に嬉しかったです。引退ではないですが、定期演奏会は一つの区切りとなりました。

そしてウィーン演奏旅行も終えて大学生となつて3ヶ月程経つたいま、改めて定期演奏会を振り返ると、多くの方々に支えられて、そして職員みんなの努力があつてこそその演奏会だったのだと思います。どれか一つでも欠けていたら成功はしなかっただろうし、感動もしなかつたと思います。自分は本当に恵ま

れた環境で6年間活動していたことを改めて感じさせられました。

最後に定期演奏会の開催にあたり、日頃よりお世話になつている先生方や保護者の皆様、OB・OGの皆様、ご協力頂きましたすべての方々、そして祝日にもかかわらず足を運んでくださった皆様、心より感謝を申し上げます。引き続き、明治高校吹奏楽班の応援を宜しくお願い致します。



祝 第51回総明会 総会・懇親会

吹奏楽班OB・OG会

会 長 齊木 麻州男

(昭和 56 年卒)

吹奏楽班

第2回ウィーン楽友協会 単独公演

吹奏楽班

顧問 鈴木正人

平成27年3月25日、中学生41名、高校生49名、保護者ほかの総勢127名で成田から出発。26日は観光なしでホールをお借りして1日リハーサル。いよいよ当日の27日、事前にチケット完売の情報が入っていました。バルコニーから3階席まで現地のお客様で埋め尽くされていました。

第1部は、喜歌劇『こうもり』序曲、バレエ『くるみ割り人形』組曲、R・R・コルサコフの『オーボエ・ヴァリエーション』、ブラームスの『交響曲第1番』第4楽章という選曲で勝負に出ました。

まず、『こうもり』序曲。曲が始まった途端に心の中で「よし」とガッツポーズ。毎度のことですが、生徒たちの集中力は計り知れない。リハーサルまでは決して見せない顔を出します。普段から100

回演奏したら100回違う演奏をしよう、もう1回同じ演奏をしようなんて考えたらずいぶん音楽は死んでしまふよ！と言いつつ続けている私も鳥肌がたちました。もちろん曲が終わった瞬間に「ブラボー」の声とスタンディングオベーションが。

第2部は日本人の作曲家で。オープニングは真島先生の『あの日聞いた歌』、次がジブリメドレー。どちらも客席にいた子どもたちからの歌声のプレゼントが。恐るべしアニメソング！3曲目は『GR』。演奏が始まると会場の空気がなんとも言えず暖かくなり、曲が進むにつれて子どもたちの瞳から涙が流れ出しました。コーラスが入るあたりでは私も嗚咽をもらしそうなくらい感動的な時間が流れ、黄金の間の天井を眺めながら「この子たちの指揮ができる私はなんて幸せなのだろう。このまま時間が止まってほしい」と。こんな経験は私も初めてです。当然のように終わって途端に割れんばかりの拍手と「ブラボー」の声。袖に引込んで涙を拭いて最後は清水大輔君の『蒼氓愛歌』。この曲でパーカッションはもう自由自在にパフォーマンス。

完全に会場を巻き込んだ最高の演奏となりました。

スタンディングオベーションと鳴り止まぬ拍手に舞台を降りる子どもたちはみんな涙でぐしゃぐしゃ。演奏ごとに変わる拍手の温度、率直な気持ちが入った拍手。音だけで理解し合えた心。この経験は子どもたちにとって一生の宝、そして音楽生活の大きな自信になったはず。この想いを胸に子どもたちと次の感動に向けて頑張ろうと心に誓いながら帰国しました。





マンドリン部

第56回定期演奏会

平成27年2月8日

部長 菊池聖樹

「イル・マンドリーノ・ジャポネーゼ出演」

平成27年6月20日

今回で56回目となるマンドリン部の定期演奏会は、2015年2月8日、調布市文化会館「たづくり」で開催されました。去年のような大雪に見舞われるようなトラブルも無く、厳寒の中にも関わらず、学校内外問わず大変多くのお客様にご来場いただき、熱気に包まれる素晴らしい演奏会でした。プログラムはⅢ部構成で、すべて自分たちで選曲しました。マンドリンオリジナル曲の他、協奏曲や中学生演奏など多彩なプログラムです。序曲「レナータ」は、2014年7月の「全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール」にて演奏し、優秀賞をいただいたものです。演奏中、部員一丸となって毎日練習に励んだ夏が思い出され、非常に感慨深

いものがありました。ブラボーの歓声や拍手とともに幕が降りると、定期演奏会という節目を終えて今年も充実した1年であったことを実感しました。

2015年6月には、九段のイタリア文化会館にて開催された「Il Mandolino (Giapponese) (イル・マンドリーノ・ジャポネーゼ)」に出演させていただきました。この演奏会は今年が第二回で、本部OBでプロマンドリニストである堀雅貴先輩が主催したものです。「もう一つのイタリア文化」がテーマで、イタリアと日本の両国のマンドリン文化を発信することを目的としたイベントに、学生団体として参加させていただけることはとても光栄でした。チケットは完売となり、満員の客席の前でとても気持ちよく演奏することができました。堀先輩の演奏は言うまでもなく、ほかの共演者の方々の演奏も本当に素晴らしく、部員一同大変勉強になりました。音楽を心から楽しむことができたこの演奏会を経験したことは、気持ちも新たに音楽に向かい合うための良い機会となりました。

学年が変わり幹部交代を迎え、自分達が部活を動かす立場になってから日々感じるのは、先輩たちの偉大さと、築かれてきた伝統の重みです。その伝統を受け継ぎながら、常に新鮮な気持ちで演奏できるように、後輩の意見も積極的に汲み、新しいことも取り入れていこうと思っています。部のモットーである「人に感銘を与える演奏」を届けるためには、まず自分達が素直に音楽に感動することが必要だと思うからです。

近年では新入生の確保が問題となっています。今年は様々な工夫を凝らした勧誘を行い、7名の1年生に入学してもらったことができました。この部活は厳しい面も多いですがその分多くのことを得ることがができます。仲間とともに演奏する喜びは何にも代えがたいです。私はこの素晴らしい部活に身を置くことを誇りに思っています。この誇りを胸に、これからも厳しい練習を重ね、音楽に情熱を傾けて、仲間を大切にしながら、精進していきたいと思っています。

第5回紫紺の下に

平成27年卒

明治高校応援団

第68代団長

鈴木悠介

明治高校鶴澤總明ホールにて「第5回紫紺の下に」が開催されました。昨年は大雪の影響で延期されましたが、本年は快晴で当日を迎えることができました。

第1部は吹奏楽班によるポップスステージが執り行われました。最近話題の「アナと雪の女王」「妖怪ウォッチ」にちなんだ曲を、中1のかわいいダンスと共に楽しめました。紫紺の下にのスタートとしてふざわしい舞台となりました。

第2部は明治高校応援団チアリーダーング部によるチアステージが行われました。創部から7年が経ちましたが、年々進化を続けており最近ではバトンを用いたダンスも行われています。人数

も増加していますが、息の合った元気のいいダンスで会場を魅了しました。明治高校応援団にとって必要不可欠な組織であることが再認識できたステージでした。

そして第3部、メインステージである明治高校応援団の校歌応援歌拍手紹介が行われました。まずは威勢のいいリーダー部の声で会場が引き締まります。紫紺の歌で幕開けとなり、その後は野球応援時にも演奏される、狙い撃ち、ハイパーユニオンなどを含んだチャンスパターンメドレー、団長による明高節、嵐の拍手が行われました。どの曲目も会場と一体となり、大変盛り上がりしました。最後の校歌では舞台上の団員のみならず会場のお客様全員がスクラムを組んで斉唱し、感動的なフィナーレとなりました。

このようにして「第5回紫紺の下に」は終演となりましたが、毎年行われるこの舞台には、明治高校応援団にとつて特別な意味があります。文化祭とは

違い、応援団中心の舞台であることです。普段の舞台ではなかなか見ることのできない曲目や、独特の雰囲気を感じることが出来ます。そしてこの舞台は2月に行われるということもあり、その代の集大成となる舞台です。そのため、団員たちのこの日にかける想いは特別です。私自身も団長としてこの舞台に臨みましたが、6年の現役生活の中でも1番思い入れのある舞台でした。そして、この舞台をもちまして私含め第68代幹部は引退いたしました。皆様方にも、そしてこれからの応援団を担っていく後輩たちにも、明治への思いは伝わったかと思います。

最後に、明治高校応援団第68代団長として、「第5回紫紺の下に」の開催にあたりましてご支援くださった各方面の方々に厚く御礼申し上げます。来年度以降もこの舞台を開催していきたいと思っておりますので、ぜひご来場賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

高Ⅱ ようこそ先輩

昭和63年卒

昭和戊辰乃会

菅 和 禎

私は、卒業して27年になるが、この度『ようこそ先輩』の講演を仰せつかり高校Ⅱ年生に講演させて頂いた。ただ、なぜまた自分が?と思った。それはおそらく私の高校卒業後の進路が変わっていたからだろう。そんな私の経験談が後輩に少しでも役に立つのであるならばと思い、引受けた。

高校時代、親の家業の建築業を継ぐため建築学科に進学するか、法学部、文学部のいずれかに進学すべきか迷っていた。結果的には法学部に進むが、明確な学術的目標を持たないままサークル活動に大学の4年間を過ごした。かけがえのない友人をたくさんつくる事が出来たのでこの4年間は後悔していない。

4年生の秋に、法学部を卒業すること

が条件で再度理工学部建築学科3年生に入学するシステムの学士入学試験を受け合格をした。建築学科、またさらに進学して大学院、しっかりとした目標意識があったので、全くぶれる事なく勉強中心の日々を送った。ただ、その時、法学部時代の同年代から人生に遅れた感じの焦りの気持ちがあった。しかし、自分の人生を80年と捉え、物差しで測ればこの数年間はたつたの数センチ、だから焦るなと自身に無理矢理言い聞かせた。

卒業後は、設計事務所9年、独立して4年、がむしゃらに働いた。縁があつて、明治高校調布校舎の工事監理業務を以前勤めていた会社から引き受けた。主に内装工事監理やそのデザイン、現在の正門の設計やバスのデザインなどもさせて頂いた。明治高校の生徒たちが卒業してからも記憶に残るような、また誇りが持てるようなキャンパスや建物にするのだという強い思いで仕事に望んだ事を思い出す。その仕事に認められ、現在明治大学の施設課に中途入社することとなった。

生徒たちには、こんな人生経験談を踏まえながら、また明治高校新築時の各デザイン・N・G案や、現在の大学施設のうち、私が手がけた和泉図書館(タッドデザイン賞、BCS賞受賞)とアセンセーター(タイ・バンコク)の写真を見せながら講演させて頂いた。そして、以下の事をお話させて頂き結びとした。

①友達 勉強ももちろん大事だが、一生つきあえる、お互いに色々な事を相談しあえる友達をたくさんつくること。

②経験 様々な国や地域を訪れ、多くものを見聞きたり、人と触れ合ふれあつたりと、色々な経験をして多くのことを感じて学ぶこと。

③資格 日本は資格社会なので、しっかりとした目標意識を持ち、何か資格を取ってほしいこと。

以上の内容を講演し、生徒たちの真剣な眼差しを見て、自分が当時進路で迷っていた事を思い出し、また改めて自分自身の仕事意欲も高める事が出来た。生徒たちにも今後の人生に役立てて欲しいと思う。

スピーチコンテスト

平成27年1月27日



結果

- 1位 中3 岡さん
Do You Want to Study?
- 2位 高1 阿部さん
Stop Karoushi!
- 3位 中3 目黒さん
I Have A Dream
- 4位 高1 増田さん
Communicating with Foreign People
- 5位 高1 荒木さん
The Power of Smile

1月27日、中3と高1によるスピーチコンテストが開催されました。2学年（合計560名）より予選を勝ち抜いてきた10名が思いのこもったメッセージを4分程度でスピーチしました。中学生は「偉人から学ぶ」、高校生は身近なテーマをとりあげて話しました。審査員は明治大学より教授3名に来ていただきました。なお、本選出場者全員に副賞として英語圏への海外研修奨学金30万円が鶴澤総明教育振興奨学金プログラムより支給されます。



優勝した 中3(出場時)岡さん

Do You Want to Study?

Jr.3 OKA 岡

Do you want to study? If you couldn't do that, can you hand in your test blank? Maybe many people can't say "Yes" clearly. I am also the same as you. But some children in the world aren't allowed to study. One girl spoke up in order to children, especially can't study girls. This girl's name is "Malala Yousafzai". Perhaps you have heard the name on the news, because she got a Nobel Peace Prize this year. I was really surprised at the news. She is 17 years old now. She is the youngest person to get a Nobel Prize ever.

Why could she get a Nobel Prize? What did she do? She was born in 1997 in Pakistan. In Pakistan, the Taliban don't allow girls to study at all, but she didn't give up. She started to write a blog using a false name. In Pakistan, more than 400 schools were destroyed and girls were stopped from going to school. She was only 13 years old. When I was 13, I entered junior high school, so I have studied for 6 years already and I have 3 more years. On her blog, she claimed that not only boys but also girls need to study. If I were in the same situation, I wouldn't come up with any ideas and maybe I would be afraid of the Taliban forces than anything else. So I couldn't do anything. Her action needed big courage and she has a brave heart. Even to write blogs is dangerous in Pakistan.

In October 2012, she was shot with a gun by the Taliban forces. Fortunately, she didn't die, but she suffered a serious injury. Then, she was carried to a hospital in the UK right away. This incident made her famous and was reported all over the world. I heard the news on TV. At first I was confused. She just wanted education, so I couldn't believe it.

Recently, people started to support her, so her courage grew day by day. She has continued to take action in the UK. She made a speech at the United Nations. Then she left a famous phrase. "One child, one teacher, one book, one pencil, can change the world". What do you think of it? I think it's true. A little courage can change the world. That was proven by her.

I learned many things from her. It is important to have courage, to say what you want. She taught me the importance of education. I was complaining about studying before, but now I know it's not good. I have to take action.

I want to tell everyone, to study and do your best at school. Please remember that like "Malala Yousafzai" your small actions can make big changes.

Thank you for listening.

新任先生紹介



石原先生

中村先生

- ① 出身地 ② 出身大学及び専攻
- ③ 担当授業科目 ④ 担当クラブ
- ⑤ 明治中学高等学校教諭としての抱負

中村詩帆先生

- ① 埼玉県 ② ウーロンゴン大学院 教育学 TESSOL専攻 ③ 中1総合英語・英文法 ④ バスケ部・ダンス部 ⑤ 一生懸命頑張ってます！

石原照子先生

- ① 栃木県 ② 京都外国語大学 外国語学部 ③ コミュニケーション英語II ④ ソフトテニス部 ⑤ 新たな気持ちで日々精進して行きます。

三田寛子先生

- ① 東京都 ② 早稲田大学院 基幹理工学研究科 数学応用数理専攻 ③ 数学 ④ 硬式テニス部 ⑤ 卒業した時に、「明治中学・高校生でよかった！」と思ってもらえるような学校生活をサポートできるように全力で取り組ませて

いただくので宜しくお願いします！

山川真由子先生

- ① 愛知県 ② 多摩美術大学院美術研究科日本画専攻 ③ 美術 ④ 美術部・水泳部 ⑤ 初心を忘れずに何事にもチャレンジして行きたいです。



山川先生

三田先生

訃報 土岐先生との思い出

平成4年卒

水泳部 富樫展広



もう今から25年ほど前の高一の時に現代社会の授業でお世話になりました。高校入学だった私は明治生活が始まったばかりということもあり、当初は緊張の連続でした。中でも明治高校を象徴する先生方が教鞭を振るう授業が、その最たるものでしたが、そんな中でも心穏やかに受けることができた授業が唯一、土岐先生の現代社会でした。いろいろな意味で救われました(笑)

今だに記憶に残っている印象的な土岐先生の授業といえば、「ああ言えばこう言う人って、結構いますよね? っていうかいるんですよ!」これがまた! そうそう、ほんと憎たらしい! 「いわゆる詭弁家に関する授業だったのですが、この授業を受けた時、土岐先生はいつになく熱が込められていたなあ。大人って大変なんだな。いや、土岐先生が大変なのかな? そんな勝手な軽い感想を抱く程度だったのですが、社会人になって思い返すと、なるほど、ああそうか! これか!!」と思うことが多々(笑) 一足先に人生における処世術的なことを教え

ていただけたように思います。本当に感謝です!

また、この場で書くことが恐れ多い数々の崇高な「駄洒落」。発した後は一瞬の沈黙があり片方のまゆげをピクリ。基本的な表情は変わらない。たまにご自身のツボにはまり、思わずウケてしまうことも(笑)

先生の担当されていた現代社会は内容としては一般的には少々難しいため、受ける時間帯によってはいついつい暇が仲良くなってしまう教科ですが、そんな私たちを察してか、いつでも飽きさせないよう要所要所に笑いをこ用意、いつでも生徒目線の楽しい授業に私たちは引き込まれずにはいられませんでした。おかげさまで現代社会を嫌になることはなく、今ではかつて教わった処世術? により人に関わる仕事に従事しております。

人として生きる術を教えていただいた先生の授業をもう受けることができないと思うと非常に残念です。

心よりご冥福をお祈りいたします。

2014年度 班・部活動の記録、表彰・資格試験

中学野球部

第9ブロック春季大会 第3位

第9ブロック野球部夏季大会 準優勝

第9ブロック野球部冬季研修大会

決勝リーグ 進出

硬式野球部

平成26年度秋季東京都高等学校野球大会

ベスト16

バスケットボール部

第3回多摩地区私立中学・高等学校

女子バスケットボール冬季私学祭大会

決勝トーナメント 高校の部 準優勝

調布市中学校バスケットボール

1年生大会 男子の部 準優勝

東京都高等学校女子バスケットボール

夏季大会Rブロック 3位

調布市中学校対抗競技大会

バスケットボール競技

男子の部 準優勝

女子の部 第3位

ソフトテニス部

調布市市民大会 個人戦

男子 準優勝

高II

鎌倉

第3位

高III

江口

三上

高II

西本

高II

金井

高II

湯原

高II

西本

高II

茂木

高II

西本

高II

茂木

高II

西本

高II

茂木

高II

西本

高II

平井

江口

三上

西本

高II

金井

高II

湯原

高II

西本

高II

茂木

高II

西本

高II

茂木

高II

西本

高II

茂木

高II

西本

高II

茂木

高II

私学リーグ 2部優勝 1部昇格

東京都高等学校新人テニス選手権大会

シングルス 東京都ベスト64

高III 近藤

高III 奥本

団体戦 東京都5位

東京都高等学校選抜テニス選手権大会 7位

〈中学〉

東京都中学生テニス選手権大会

シングルス 東京都12位

高I 上田

ダブルス 東京都6位

高I 青木

高I 大窪

団体戦 東京都32位

東京都総合体育大会テニスの部 32位

多摩大会 準優勝

東京都ジュニアチームテニス

チャンピオンシップ 優勝

東京都中学生新人テニス選手権大会

第9ブロック予選

ダブルス本選 出場

中3 板倉

中3 伊藤

団体戦 東京都32位

2014年度 班・部活動の記録、表彰・資格試験

全国私立中学校テニス選手権大会
団体戦 第9位
個人戦 第17位 中1 田坂

女子硬式テニス部

フジカップ シングルス(15才以下の部)

優勝 中3 林

東京都中学校テニス選手権(個人の部)

第9ブロック予選 中3 林

第17位

都大会出場 ダブルス

ベスト8 中3 飯守
中3 林

都大会出場

シングルス ブロック本選出場 中3 中原

ダブルス ブロック本選出場 中3 飯守

第31回東京都ジュニアチーム

テニスマンピオンシップ 中3 山田

高校生の部 中3 中原

第3位

高II 西田

高II 山村

中学生の部 第4位 高II 六谷
高I 野中

優勝

中3 中原

中3 飯守

中3 山田

平成26年度調布市市民大会

中学生ダブルスの部 中3 飯守

優勝

第3位

中3 林

中3 名村

平成26年度東京都中学校テニス選手権

新人大会

個人の部 第9ブロック予選

シングルス ブロック本選出場 中2 横田

ダブルス ブロック本選出場 中2 小池

第38回東京都私立中学高等学校

テニス選手権大会(個人戦) 中2 堀池

女子ダブルス ベスト16 高II 西田

高I 野中

優勝

高II 水野

スキー部
第50回 関東大会出場

高III 岩田

高III 山口

高III 酒井

高II 井上

高I 若林

高I 坂口

高I 羽根田

高I 星野

第64回 インターハイ出場

高I 若林

高I 坂口

高I 羽根田

剣道部

東京都高等学校夏季剣道大会

女子団体 ベスト32

インターハイ東京都大会

女子団体 ベスト32

東京都高等学校秋季剣道大会

男子団体II部 (敢闘賞) ベスト8

平成26年文京区剣道大会

高校生女子の部 個人戦

優勝 高II 水野

2014年度 班・部活動の記録、表彰・資格試験

東京都高等学校新人剣道大会
女子団体の部
ベスト32

柔道部

関東大会東京都第四支部個人戦
敢闘賞 都大会進出

高I 久保

東京都高等学校学年別大会第四支部予選会
女子個人 敢闘賞（都大会進出）

高I 久保

東京都中学校新人人体重別大会
多摩ブロック予選会

男子個人

第3位（都大会進出）
中2 永澤

第5位
中2 竹道

東京都中学校新人人体重別大会

男子個人 ベスト32
中2 永澤

立正杯争奪柔道大会

中量級 第3位
中2 竹道

重量級 第5位
中2 川野

重量級 第5位
中2 永澤

吹奏楽班

第54回東京都吹奏楽コンクール都大会

銅賞

マンドリン部

平成26年度全国高等学校

ギター・マンドリン音楽コンクール

優秀賞

第3回全日本マンドリン合奏コンクール

銀賞

美術部

第42回私立中学高等学校生徒写真・美術展

朝日新聞社賞受賞

「街角」 中2 日向野

第15回広島国際アニメーションフェスティバル

パラパラアニメーション・コンテストの部

グランプリ受賞
中2 西原

表彰

中学生「税についての作文」コンクール

武蔵府中税務署長賞

中3 浅谷

全国中学生人権作文コンテスト東京都大会

作文委員会賞
中3 神谷

第6回IIBCエッセイコンテスト

学校奨励賞

高III 福田
高III 石曽根

資格試験

日商簿記検定合格者

1級合格者

2級合格者

高III 西原

高III 小出

高III 米丸

高III 神藤

高III 松田

高II 保田

公認会計士試験合格者

井狩 慶大（平成24年卒）

田中 勇輝（平成24年卒）

大谷 慶同（平成24年卒）

武田 直大（平成24年卒）

木村 俊（平成24年卒）

倉田 翔立（平成24年卒）

信田 翔悟（平成24年卒）

司法試験合格者

平賀 宏典（平成15年卒）

秋山 俊（平成20年卒）

秋月 政寛（平成19年卒）

蟹田 靖友（平成19年卒）

The background features a series of concentric, curved lines in shades of gray, creating a sense of depth and movement. In the lower-left corner, there is a cluster of small, stylized squares, some of which are outlined in black and others in gray, arranged in a pattern that suggests a grid or a digital interface.

OB・OG

活動報告

うまみのかい

午巳の会

昭和21・22年卒 小林 昭雄

「総明会」創立の7年前、私達の同期会も有志の骨折りにより発足した。昭和33年11月であった。大東亜戦争の末期、学業から離れ（昭和19年9月〜翌20年8月）苛烈な日々を作業に従事したことにより仲間意識は格別に強かったように思う。

かつての紅顔の少年たちが時を経て「会」に集合し、旧交を温めあつた折には一廉（ひとこと）の社会人然とした顔が並んだ。

以来、毎年の例会はもとより、旅行会・ゴルフ会などで友情を深めてきた。頭（こうべ）に白髪が目立つ頃になつても会に集まればそのひと時、皆、明中生に戻るのだった。

かくして時は移り、今や我らも80才の半ばを超え、鬼籍に入つた者は多く、余生を送る者も五体不全を訴える声が増えている。

昨今は「会」は休止。外出可能

な者が三々五々参集し、昔語りに時を過ごしている。

以上、会報編集ご担当の意に添わぬ老いの繰り言をもつて紙面を汚した次第、何とぞご容赦のほどを。

憚りながら終わりに、「50周年記念誌」に引用した古言を再び録させていた

◎衣は新しきに苦くは莫く

人は故きに苦くは莫し

〔衣莫^し若^し新人莫^し若故^し晏子春秋〕
衣服は新しいのが良く、人は気心の知れた昔なじみが良い。昔なじみの尊いことをいう。

（『漢語名言辞典』より）

明治高等学校
昭和30年卒業

同期会

会長 宇田川 雄弘



有限会社つる瀬
代表取締役

田邊泰治
(S30年卒)

〒113-0034 文京区湯島3-35-8

TEL. 03-3833-8516

営業時間 8:30~20:00

19:30(喫茶ラストオーダー)

年中無休

明高野球部を甲子園に送る会

会長 山 浦 晟 暉

(株)東京フジカラー 代表取締役
(昭和29年卒)

めいじかい

明二会

昭和25年卒 小田川 玉城

今回も中1以来の細事を記述します。昭和19年、既に私は軍人組中二部員。

夏休み、東京市内20数校が東京高等商船学校（現海洋大学へ一週間の訓練に派遣された。

明治中学は軍人組が（中1・中5）10数名参加。何を競つても勝てなくて悔しい思いをした。

起床（マットを畳む）・掃除（トイレ・廊下・校庭他）は毎朝周リ番。三度の食事・休憩（10分）等、スピーカーからのラッパで知らされた。

校内すべて整理・整頓・清掃完璧。特にトイレは綺麗・清潔で、現今のホテル並みであった。

食事については、大食堂250名が着席し両手は膝に正面凝視して待つ。やがて海軍大尉（海軍では「ダイイ」という）が着座。「頂きます」と発声して箸をとる。ご飯は銀シャリ山盛りオカズも良く、当時としては最高の食事であつて訓

練中の最大の楽しみになった。

訓練はロープの結索、椰子半分による明治丸の甲板掃除は横一列で進んでゆく。難関は明治丸マストのトップボードまでの縄梯子。船外に乗り出し不安定。段ごとに細くなり、最後は仰向けに登る。恐怖あるのみ。降りるときはさらに恐怖。見えぬ縄梯子を足で探り、まさに命がけであつた。が、誰一人尻込みする者はいなかつた。流石、戦中の中学生と言わざるを得ない。

10分の休憩は午前・午後の2回。壁に寄りかからず、芝生に座らず、立つか歩くかであつた。夕食後の入浴は風呂屋並の広さ。二列の浴槽には体を洗う前と後と横一列で号令されて進む。就寝前、各校担当の高商生を囲んで毎晩のミーティングも楽しかったがその中の怪談話は迫力があつた。夜中、洗面所の鏡に自分の顔を映すと血が流れている。中庭に設置されている古い機関が始動する。明治丸の船底床が何度洗つても血痕が取れない。等の話を聴かされ、夜のトイレは

外の渡り廊下。当の洗面所前にあり気味悪かつた。急いで帰る中1少年の様を想像しては如何。斯くしてお互いが励ましあい、無事訓練は終了した。

新緑の五月、最後の明二会の総会・懇親会を開催したが、一抹の寂しさを感じざるを得なかつた。唯一人の恩師、松本先生の不在である。初めあるも終わりあり。これは世の常です。

参加者16名。残念ですが同期84才になれば致し方ありません。

今日までのご支援、改めて御礼申し上げます。

然し明二会は存続します。今後とも宜しくお願い致します。

小坂法律事務所

弁護士

小坂嘉幸

昭和34年卒

〒110-0005

東京都台東区上野3-21-1
宮本ビル4F

TEL. 03-3831-6032

FAX. 03-3831-6037

めいこうかい

明高会

昭和27年卒 吉田 満

私共「明高会」は若い様でも本年81才を迎えます。

中々出歩く機会も少なくなっております。しかし気の合う連中で小グループの会合は数多くございます。中でも最大のグループは「小ふで会」です。

この会は元校長福島先生を囲む会から発足した会です。毎年6月の第二金曜日の正午に銀座の三笠会館で集合です。年々参加者が少しずつ増えているのはマサにオドロキです。

これも連絡幹事の渡辺幹夫君（明治大学校友会・浦安市地域支部長）が毎回の通知を、ボランティアで皆様にお知らせ頂けるお蔭です。総明会は卒業生全員の最大の催しです。意外な身近の方が同窓生におります。一昨年には女性の卒業生が総明会にお仲間入りして、ズンと明るくなりました。

毎年担当卒業学年の皆様が気合を入れて頑張っておりますの

では是非ご参加ください。年寄り割引もありますよ！

尚、総明会の皆様にお願いがございます。総明会の方は始どが明治大学に進学されます。明治大学の校友会は現在老齢化が目立ちます。ぜひ明治大学卒業生の「校友会」に「活を入れる」意味からも、それぞれ身近な地域支部に積極的に参加され、役員としてそれぞれの地域で活躍して頂きたいのです。高校・大学とお付き合いが多く大変ですが、明治大学校友会は、若い力が必要としております。向殿政男校友会会長も明治高校出身です。ぜひ明治大学発展の為に、皆さんのお力添えをお願い申し上げます。

本年は、昭和戊辰乃会が担当学年です。11月7日（土）にアカデミー・コモン（お茶の水J R 駅より一番近い、ガラス張りの建物）でお会いしましょう。渡辺範夫君（評議員・明治大学校友会議案次長）が死亡された事は誠に残念です。（連絡係 米山耕右）

祝 第51回 総明会

昭和31年卒

明楽会

会長 佐藤健一

昭和二十七年卒

米山耕右

昭和三十三年卒

米山武男

めいそうかい

明窓会

昭和28年卒 戸田 一郎



昭和九年と十年生まれの我が期は今年で全員が傘寿を迎えた。今年の総会は傘寿を祝う会と云うタイトルで平成二十七年六月十九日に両国の「ホテルベルグランド」で開催された。

毎年、四十名近い参加者があったが、今回は毎回出席の学友が亡くなったたり体調不良の状態になったりして二十五名の参加にとどまった。いつもの立食形式に代えて懐石膳を供したのが好評でプロの歌手の応援出演も得てカラオケ大会と化し三時間以上に亘る会の中身は久しぶりに出席した者の近況報告などで盛り上がり隣席同志で交わす昔話に花が咲き着席形式の効果は抜群であった。

さすがに酒の量は減ったものの食べ物を残すことが出来ない我が世代人間らしく全員出された料理はキレイに平らげ企画した幹事

団を安堵させた。

宴半ばで総会幹事学年の「昭和戊辰乃会」から幹事諸君が第五十二回「総明会」のPRにお見えになり三十五年の後輩で我々の息子世代の若者が酒席に溶け込み世代を超えた話に花が咲き先輩風を吹かせて偉そうに話をしているヤカラもいたが素直に話を合わせてもらっていた様であった。最後に幹事学年のメンバーで応援団OBの光岡君の指揮で校歌を三番まで歌い上げ再会を約束して気分良く散会した。

株式会社
レストラン・ピガール
明大1号店

ケータリングパーティー
各種お弁当承ります。

〒182-0033

東京都調布市富士見町4-23-25

明治大学付属明治高等学校・中学校内

TEL/FAX.042-480-9703

担当総括支配人 山口剛志

にいきゅうかい

29 会

昭和29年卒 山本 峰司

会名は単純に29年卒と云うのみ。

幹事学年は昭和58年6月4日に銀座三越8階の大食堂で開催。これまた単純に東京の真ん中である銀座のさらに真ん中でやろうという一語につきしました。案内の発送も、文も一切合財をやり、案内文に「ぜひ会に出席を」の一文をペンで何千枚も書いて送ったこと、今になると良く出来たなあと思ひ、その熱さに自分でビックリです。当日、会場で大阪の方や北海道の方がわざわざ会に来てくれて、

これもまたビックリでした。また、

会場を賑やかに楽しくと思ひ、先輩諸氏を早くより廻り、景品を色々と寄付していただき全員に何かしらの景品を揃えて大賑わいをしました。開く前に2回ほど銀座三越8階で同期に集まってもらい、案内状を練りに練って校名入りのハンカチ2枚をセットにしてお土産とした事、大いに皆さんにお楽しみをいただいた事を閉会后、多くの先輩達にお褒め頂き散

会出来ました。

終わりに、同期会の経過を少し。29年卒業以来一度も51年まで会は無く、何気なく卒業名簿を見て、不意にもうやらなければという思いが募り、その日より連日電話をかけまくり名簿を再生。10月17日に後楽飯店に80数人が集い、毎年やるべし!!と決定。以来58年まで続け、以後は2〜3年毎の開催になり平成7年よりは10年休会となり70才を機にまた再開し、本年11月くらいに80才を機に大再開を開く事を準備しております。年々物故者多く、集人も口々に「いよいよ自分だな」と、話はサヨナラに集中する始末。明治中学・高校・大学と、明治精神を知らぬ間に身に付けられた事、大いに感謝。

そして、学校の益々の発展を祈っております。学校、校友、色々にアリガトウ。

追記 写真は銀座4丁面角の日産自動車上7階のライオンビヤホール。初会合より(昭和54年か55年)



めいらくかい

明楽会

佐藤 健一
昭和31年卒

崑寿を迎へて

第51回総明会総会開催おめでとうございます。私共明楽会は会員の崑寿を昨年迎え『肉の万世』に於いて記念品を作成して出席者に配布して、お祝いを致しました。

去り行き恩師、同期の仲間も多数増え寂しくなつて来ましたが、150名弱の仲間はまだ健在で元気がいっぱいしています。

昨年は明大マンドリン倶楽部の御好意によりナツメロの演奏会を開き又総明会本部より会長をはじめ理事の方々の御参列を頂き盛大に催されました。卒業後60年を経過しても昔ながらの学舎、友の思い出、昔も今も語られ、その一言一句を毎年楽しみにして、此の毎年11月の第一金曜日を開催日として集っております。

本年も11月8日(金)に開催する予定であります。(会場未定)此の会報が会員のお手元に届く頃には会場も決定し皆様に通知出来る事と思います。

此の永年に亘る会が未永く続けられる事を幹事一同が健康であつて、協力しつつ、開催出来る事を感謝しております。同期の中には五体不満足の方もいるようですが、これからも幹事一同がんばって「明楽会」を存続して参りたいと思います。

諸先輩、後輩の手助けを借りながら1年でも多く、少数になろうともがんばる所存です。これからも総明会の増々の発展と盛会を心よりご祈念申し上げます。

明治中学・高校をこよなく愛し、楽しみ、又当校が猿楽町に存在していたため楽を残し、当時の同期会で投票によって決定したもので、此の名称をいつまでも存在して行くつもりです。



めいじかい

明治会

昭和32年卒 小林 正三郎

孤高の大投手 村田元一

我々の明高時代は、スポーツが盛んで多くの競技で全国レベルの選手が活躍していた。

その中に、野球部の同僚として共に戦った村田元一投手がいる。当時、東京都の高校球界では、明治高校は常に優勝候補の一角に名を連ね、甲子園を目指し日夜猛練習に励む野球漬けの毎日であった。

1956年(昭和31年)、高校3年の夏、球児の最後を飾る東京大会で必勝の思い強く臨んだが、準決勝で早実に2-1で惜敗、甲子園出場は果たせず涙を飲んだ。2年後、後輩達が王選手の早実を決勝で延長12回裏、球史に残る大逆転で見事勝利し、甲子園出場を果たしている。

村田選手は、自らチームが2点以上取ってくれたら絶対負けないと自信を持っていたほどで、その投球は絶妙のコントロール、インコー

スに鋭く食い込むシュート、落ちる球など、高校生ばなれした球威と球種の多さは、球界の中でも注目される存在であった。明高卒業後、旧国鉄スワローズに入団し、すぐに頭角を現したが、大スター金田投手に隠れて準エースという存在であった。

1957年(昭和32年)から、1969年まで13年間に在籍し、通算118勝(1960年には年間18勝)を上げる見事な実績を残している。

1962年7月21日、対阪神戦で9回裏2死から1塁強襲安打で完全試合を逸する不運もあった。彼の真骨頂は巨人キラーといわれたほどの巨人戦に強かったことである。根っからの負けん気と自負心で、長嶋、王選手を擁する黄金期の巨人相手に真向う勝負を挑み、勝ち星をあげるさまは、誠に痛快事であった。

高校、プロ野球時代を通じ、チームのサポートがおよぼす優勝には恵まれなかったが、闘志を内に秘めて黙々と投げ続けた姿は、「孤高の大投手」というにふさわしい。



明治高校野球部で苦楽を共に戦った友として、今でも誇りに思っている。
明治高校の貴重な財産である。

前列左端 村田元一選手(中列左から4番目 筆者 小林正三郎) 撮影:昭和31年6月 ベースボール・マガジン社
今回ベースボール・マガジン社特別手配による提供 禁無断転載

にねんにいっかい

二年に一会

昭和38年卒

服部 紀夫

時が経つのが実に早い。母校創立100周年の年に卒業50周年記念同期会を開催してから3年、昭和38年卒「二年に一会」（会長三浦昭生）です。

本年の総明会のメインテーマは「51年目の挑戦」とか。私たちが総明会の幹事学年を拝命して四半世紀。昭和39年に第1回総会・懇親会を開催、爾来2年に1回開いております。

20代、30代の社会に出たての頃から「七十路」の今日まで開催ごとに当番幹事を決め、一度も欠かすことなく継続できたのも仲間のご苦労と頑張りがあったからです。そして中学・高校6年の間に1日でも机を共にした、すべての同期の友だちの絆の深さなのです。

平成20年、校舎が調布へ移転のため猿楽町校舎を惜しみ、松本先生、後藤先生、村野先生の恩師が昔ながらに白衣を着て教壇に立ち特別授業を行い60名以上の「生徒」が46年前の思い出にひたり

ました。第20回記念の平成14年は椿山荘、還暦を迎えた16年は思い出深い男坂近くのウインズ、21年からは裏の年にも会う機会を増やそうと毎年開催するようになりました。26年は古希を祝うと題して浅草橋の中華料理・鰻香を貸切、昨年は東京都指定名勝の清澄公園で散策と会食、と時、所を変えいろいろなアイデアを持ち寄り開催しています。

会長・三浦昭生、高橋正佑幹事長、関戸淳一事務局長、知野誠一監査、常任幹事を中心に老いてますます盛ん、同期生諸兄とともに五十余年の長きにわたり会を支えています。

今年は第30回記念を10月10日（土）に横浜中華街で二年に一会総会を開催予定です。ここで誌面をお借りして、会員諸兄に連絡先をお知らせしますので、ご意見・ご質問等ありましたら事務局にご連絡ください。

最後に本年の総明会幹事学年「昭和戊辰乃会」の運営、会の成功を祈念して同期会の報告といたします。



さんきゅうかい

三九会

昭和39年卒 佐藤 仁

第51回総明会実行委員会の皆様、ご苦勞様です。我々も四半世紀前に実行委員のお役目を拝命し頑張りました。久しぶりに集まった友人達と、忙しかつたけれど楽しみなが準備を進めていつたのを昨日のこのように思い出されます。

さて、我々の学年ですが読んで字の如し昭和39年卒で「三九会」(サンキユウカイ)と、解り易いです。卒業後すぐに「三九会」が出来た訳ではなく、もともとは生徒会本部のOB会である「二十七会」(イイナカイ)が卒業後から毎年新年会として1月下旬に集まっていました。またゴルフ会も大学卒業後数年経ったあたりから始まり、「三九会ゴルフコンペ」として毎年、春と秋に開催してまいりました。この二つの会が母体となり、同期会「三九会」として成り立って来たものと思います。そして丁度、45才の時に我々に総明会の幹事学年のお役目が廻って来ました。45才、仕事にも脂の乗っていて、体力的にも十分に若い、社会で活躍中

で多忙な中、昔の仲間が集まって総明会を仕切り盛り上げてゆく、大変素晴らしいシステムです。この幹事学年を昔の仲間とすることにより、絆が一段と強まります。

我々の学年は大変まとまりが良く、50才の時には「50才到達記念同期会」、60才の時には「還暦記念同期会」、そして今年の四月には「古希を祝う会」と、節目、節目には盛大に開催しております。その間、三、四年に一度は必ず同期会を開催しております。今年の「古希を祝う会」には90名近くの仲間が元気に集まりました。我々の会の一番の強みは、同期の北村元曠君の経営するレストランが東京のと真ん中、日本橋にあることです。「日本橋レストラン東洋」の2階が我々同期会の定例会場です。とにかく集まりやすく解り易い。大変ありがたいです。また、同期の七尾孝房君が浜松町の大門に居酒屋「なな庵」を10年前に開業し、そこへ行けばいつでも誰かに会えます。このように我々学年のたまり場があるということ、いつでも学生時代に戻れるのが我々「三九会」です。



この先はもちろん、「喜寿」「傘寿」「米寿」「卒寿」……と続いて参ります。「三九会」は永遠に不滅です。三九会バンザイ!!!

昭和34年卒 明高野球部OB



丸マルキユー株式会社

代表取締役

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4

TEL:048-728-0909 FAX:048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

細田木材工業株式会社

代表取締役社長

細田 悌治

〒136-0082

東京都江東区新木場 2-5-3

TEL.03-3521-8701 FAX.03-3521-8708

e-mail t-h39@woody-art-hosoda.co.jp

<http://www.woody-art-hosoda.co.jp/>



株式会社 本所工研

代表取締役 島村幸男

(昭和35年卒 珊瑚の会)

〒130-0003

東京都墨田区横川2-19-10

TEL: 03-3625-2431

FAX: 03-3625-2433

昭和37年卒

新麴町法律事務所

弁護士 福島啓充

〒102-0083

千代田区麹町3-7-4秩父屋ビル5階

TEL 03-3234-0511

FAX 03-3234-0510

祝 第51回総明会総会

昭和38年卒

二年に一会

会長 三浦 昭生

事務局長 関戸淳一

PC メール

sekido-f@amber.plala.or.jp

加藤一也税理士事務所

加 藤 一 也

昭和39年卒

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-25-8 第2扇屋ビル

TEL.03-3910-8683 FAX.03-3910-8441

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役

若 松 弘 昌

(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7

ドルミ五反田アンメゾン1001号

TEL. 03-3491-0900

FAX. 03-3491-0934

昭和39年卒(マンドリン部OB)

明治大学自己点検・評価「評価委員会」委員

明治大学校友会 副会長

明治大学連合駿台会副会長

明治大学公認会計士会副会長

明治大学商学部三上会会長

谷 公認会計士事務所代表

浄土宗 宗務庁資産運用管理委員会副委員長(少僧都)

公認会計士 谷 慈 義

〒135-0004 東京都江東区森下2-19-8 谷ビル

TEL 03-3631-8029 FAX 03-3631-8076 E-mail: s.tani@chive.ocn.ne.jp

(ユアサ商事株式会社代表取締役社長・会長、日本経済団体連合会(経団連)評議員、東陽監査法人代表社員、

明治大学大学院特別招聘教授を経て、現職) 著書『僧職会計士の経営道』(実業之日本社)

よんいちめいゆうかい
四一明友会
 昭和41年卒 菊池 博道

総明会創立51周年、おめでとうございます。
 私が大学1年生の時、明治大学記念館で総会が開催されたのを5階に有った放送研究会部室の前から見たのを(当時は同窓会に関心はなかったが)思い出しました。

「総明会という財産について」

四一明友会創立は、山崎・三浦両先輩が幹事学年と成る42、43才の卒業生の同期会育成の為、当時評議員でも無い私に同期会を作り幹事学年が出来るまでご指導を戴きました。無事二十名余りが集まり、「東京会館」で総会、懇親会には中国歌舞団、歌手の井上てつや氏(本名・廣瀬 準くん)を呼び、盛大に開催することが出来ました。以後、同期会で旧友と会えるのも総明会が有ったからこそと感謝しています。これからの会の活躍を祈ります。

さて、同期会は去年4月19日に、常席「ちゃんこ巴瀉」で30名近くが

集まり、50余年前の話題に花を咲かせ、盛大の内に同期会を終了しました。

今年は各グループで集まっています。来年は4月第3土曜日に常席で開催しますので、多数の参加をお願いします。

平成27年6月現在、確認物故者・24名。

オフィスのAからZまで
エーゼット株式会社

服 部 洋 一 昭41年卒

服 部 雄 二 昭44年卒

〒101-0025 千代田区神田佐久間町 4-22

TEL 03-3865-9577 FAX 03-3865-1162



連絡者: 41年3月卒業 評議員 廣瀬 準くん 090-9145-5992 まで

昭和40年卒

明 優 会

会長 大関清人

事務局 坪田達夫 TEL03-3947-2431



作編曲家

前田 俊明

昭和43年卒 紫讃会

世田谷区祖師谷3-37-18
TEL.03-3484-3136

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿 部 正 行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6 - 10 - 11
TEL. 03 - 3834 - 1329

紫讃会

川口明高会

石井次男

昭和42年卒

結城法律事務所

弁 護 士 結 城 康 郎

〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目14番3号
東急不動産赤坂ビル11階

電 話 03 (3506)1151 (代表)

F A X 03 (3506)1152

携 帯 090(3104)1840

E-mail: yuuki-lo@bj9.so-net.ne.jp url: <http://www.yuki-law.com>

昭和43年卒

三田 幹男

紫讃会

中華ファミリーレストラン



CHINESE CASUAL RESTAURANT
孫悟空

細田店 葛飾区細田1-15-6
TEL03-3650-0059

新村秀男 葛飾区議会議員
(昭和42年卒)

男坂倶楽部

おとこざかくらぶ
昭和44年卒 中河 孝樹

男坂倶楽部の役割

男坂倶楽部「昭和四十四年度明治高校卒業組」64才又は65才の男子の集まり「神田駿河台旧明治中学、明治高校校舎で勉強、倶楽部活動、遊興に耽った遊男達。明高卒業以来、46年の月日が流れ、各人とも別々の道に進み、半世紀になりました。

明治魂である、独立自治、自由の名において、唯我独尊の道を歩んできてしまいました。

年1回の男坂倶楽部総会には、約40名の同級が年々立ち代りて参加。また恩師である、村野先生、山脇先生も毎年参加なされます。あいにく、桜井先生は、返信ハガキにて我が学年の賞賛文章の参加です。長きにわたる期間に行われた男坂倶楽部総会も、居酒屋、ホテル、ビアホール、キャバレー、屋形船など、多岐に亘ります。多くの幹事の方が、交代で業務を務めてきました。同期卒業生全員が、独立自

治、自由、を掲げた唯我独尊の塊です。

これって、いい事か、悪い事かどうなんでしょう？

いい年になつても、あいつが嫌い、俺の事を構ってくれない、などの不平不満、お前がやるなら俺もやる、お前の事信じている、などの友情及び相互理解。

なんちゅうか、とても複雑な人間関係を醸し出しています。これは、高校生の感情ですよね？

60年以上の人生の中で、一緒にいたのはせいぜい3年から6年間の明治中学・高校時代、そして大学時代。こんなに短期間しか一緒に居なかつたのに、なんでこのように絆ができるのか不思議です。いつも昇り降りしていた男坂、下から見上げると白雲なびく駿河台、高1の八ヶ岳強制全員参加夏季合宿、名物先生によるピンタ付真冬の裸マラソン、学帽をかぶらないと坊主頭、通称ベトコンシャツと呼ばれた夏の開襟シャツ、東京六大学の本流付属高校にしては例がありません。みんな、みんな古い顔！。強い思い出や、繋がり、はこの

環境が培った業なのか、糧なのか？

病と闘っている仲間たち、すでにあの世へ旅立った仲間たち、孫が出来るという仲間たち、家族を失い一人になつてしまった仲間たち。二人一人の環境がどんなに変わったとしても私たちは、男坂のもとに一緒です。最後に残る二人まで。



祝 第51回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同窓会

紫 讃 会

昭和43年卒 紫讃会

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町4-2 4-8

昭和四十三年卒
竹川忠芳法律事務所
弁護士
竹川忠芳
〒105-0003
東京都港区西新橋1-20-3
虎ノ門法曹ビル408
電話 03-3504-1308
FAX 03-3504-1307

紫讃会

堀内 繁

(昭和43年卒)

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ

TEL.03-3831-9733

FAX.03-3831-9734

<http://www.ts-horiuchi.jp/>

中華料理
みずしん
水新菜館
寺田 規行
(昭和四十三年卒 紫讃会)
東京都台東区浅草橋二丁目一番一号
TEL 03-(3861) 0577番

(有)本間製菓店

本 間 修

(昭和43年卒 紫讃会)

〒135-0004

東京都江東区森下2-17-2

電話: 03-3631-6064

FAX: 03-3631-6129

マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・
脈診・漢方・均整法

千葉県市川市北方2-2-10

TEL&FAX 047-336-0763

HP: <http://michaelmac.jp>

鍼醫 松本 明久

昭和44年卒 男坂俱樂部

総明会 副会長 昭和44年卒 男坂俱樂部

ミートショップセキヤ

株式会社関谷商店

代表取締役社長 関谷芳久

<http://www.1129sekiya.com>

足立区西新井栄町3-8-5 TEL.03-3886-3318 FAX.03-3886-5803

獅子の会

昭和45年卒 中村 信也

平成の卒業生がかなり増えていて、中、今年には昭和の年号で数えると昭和90年になります。我々獅子の会のメンバーが母校を卒業したのは昭和45年です。早や45年が経過したことになります。卒業して半世紀近く、還暦を過ぎても衰えを感じさせない獅子の会メンバーの「ネットワーク、つながり」は「同期会ホームページ」にあると言えます。

獅子の会は平成13年に会報「獅子の会だより」を創刊しましたが、創刊号のみで廃刊になり、その後インターネットの普及により平成18年に同期会ホームページが開設され、現在まで有効に利用されています。

例えば、インターネットで「獅子の会」あるいは「獅子の会同期会」をキーワードに検索しますと、必ず上位1〜2位でヒットします。これは閲覧（アクセス）数が多いことによりですが、平成26年度の年間閲覧数は4万八千十八

件でしたので、1日当たり130件の閲覧があることとなります。

また、この閲覧件数の多さは、ホームページにある「掲示板」への記事が非常に多いことが理由ですが、平成26年度の年間記事数は91件でしたので、これは1週間に1〜2件の記事が掲示板に掲載されていることとなります（大半は比留間君作成）。

記事内容は「獅子の会」や「明治」に係するもので、ほとんどは懇親会の報告ですが、他には総明会の評議員会速報や、メンバーによる大学での講演活動等のトピックスも掲載されています。私達は次にどんな記事が掲載されるのか毎回とても楽しみにしています。

なお、このホームページでは懇親会のお誘い等も定期的に掲載されますので、今まで都合がつかず総会や懇親会に出席できなかったメンバーにも、是非ご覧いただき、「旧交」を温めると共に、更なる「新（親）交」の輪が広がることを期待しています。



獅子の会ホームページ



恒本和義氏作成 フラッグ台付
(残部僅少 廉価販売中)

昭和四十四年卒
味処・酒処す吾六

家中勉

〒110-0011
墨田区緑四一九一
電話 〇三三六三二二二三三三三三

肉の田じま <http://www.nikunotajima.com>

1F 精肉小売 ミート&デリカ TEL 03-3649-4419
2F 焼肉レストラン TEL 03-3699-8929
3F すきやき・しゃぶしゃぶ・ステーキ TEL 03-3699-5529

株式会社田島商店
本社 東京都江東区扇橋1-4-1
TEL03-3647-2984 FAX03-3699-7229
代表取締役社長 **田島 実**
昭和44年卒 男坂倶楽部



廃棄物の回収、リサイクルに関することは、
弊社へお気軽にご相談ください。

品川運輸株式会社

代表取締役社長 **毛塚 眞次** (昭和44年卒)

〒140-0011 東京都品川区東大井2-1-8
TEL 03-3761-0165 FAX 03-3763-0656
URL <http://www.shinagawa-unity.co.jp>



昭和四十四年卒
弁護士

田中 等

丸の内南法律事務所
〒100-0005
千代田区丸の内二・三
丸の内仲通りビル七・七
TEL 〇三三三二二五一一五
FAX 〇三三三二二六〇四〇四

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

**株式会社
ポトマックガーデン**

代表取締役
平田 幸彦

〒107-0052
東京都港区赤坂7-8-13
TEL 03-3589-0687
FAX 03-3583-9423

喫茶ペガサス

後藤義明 S45
フェンシング部

Clarion

後藤勇三 S50
硬式野球部

YAMANOOTO

バー&コーヒーハウス **山の音**

●都電堀原銀座商店街

昭和45年卒業
松川 芳久

祝 第51回総明会総会
昭和45年卒

獅子の会

【獅子の会 ホームページをご覧ください】
<http://www.44nokai.com/>

めいちょうかい

明潮会

昭和46年卒 小島 隆

つながりゝ出会いと付き合いゝ

人生は出会いと付き合い。還暦を過ぎ
てしみじみそう思う。昭和27年頃、生を受けた我々は明治中
学校高校で出会いの時間を共にした。世はグループサウンズ真只中。ビートル
ズを筆頭に音楽旋風の吹き荒れる中、激
しいリズムに身を委ねながら、友情を育み
学生生活を謳歌した。団塊の世代のエネルギーな先輩達
に憧れと恐れを抱きながら。明高生は優しいと言われる。お
人好しだとも。育った境遇・環境か
もしれない。相手を想い、その身を思い遣る。
押しは弱いかもしれないがどれ程
相手と同じ気持ちになれるかを大
切にする。これがコミュニケーション
の基本になるのかもしれない。目立つ存在、個性の強さ。そうい
う仲間も決して外さない。「そうい
うヤツだからなあ」と認めて受け容
れてゆく。もし、100人の村が明高生のような人達だったら、戦争はなく
なるのと思う。今、生きにくさを抱えた
人々が悲鳴を上げている。そんな世の中
に自分達が出るのは何なのか。底抜けの
優しさと自己肯定感、そんなプレゼント。
それが出来るのは俺達明高生。
秘かに明潮会が最右翼と自負している。祝 第51回 総明会 総会
昭和46年卒

明潮会



たまりや

溜屋 近藤商店株式会社

創業 寶永2年 真心と癒しの心を大事にします。
安心と信頼の葬儀をご提供いたします。

代表取締役

近藤 俊彦

昭和48年卒

相談役

比留間 竹郎

昭和45年卒

〒120-0034 東京都足立区千住5-18-10 ☎フリーダイヤル
http://www.tamariya.jp/ 0120-17-2562

夫婦二人でサービス精神と
元気を売りにしています。

蛇の目寿司

昭和45年卒 獅子の会
硬式野球部

河田 勇

東京都中央区東日本橋3-10-13
TEL 03-3661-8536

(株)インタープランニング

代表取締役

堀 眞壽

昭和46年卒 明雪会

〒135-0003
東京都江東区猿江1-2-9
TEL.03-5600-3388
http://winwinstyle.com

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

埴 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2

ふぐ料理

和牛しゃぶしゃぶ



岡本力三・恵市郎

昭和47年卒 平成8年卒

台東区浅草四丁目35番2号
電話 03-3874-2390
http://www.uosei-asakusa.com/

昭和四十八年卒
四国商事株式会社
〒一六五〇〇二六
中野区新井一五五
電話 三三八六五八六
FAX 三三八六七六一九

濱本 義典

昭和四十八年卒

昭和48年卒 波の会

製菓原料卸(お米の粉)
株式会社山口商店

代表取締役 山口 隆

〒143-0016
大田区大森北1-17-2
TEL.03-3761-4838
http://www.yamaguchi-shouten.co.jp/

(株)カントー・エステート
不動産賃貸業・管理業

宮下 守正

昭和49年卒

東京都荒川区西尾久1-20-12
M2ビル1階

TEL.03-3894-8161
FAX.03-3894-3682

PEP-MATES inc. HP-URL www.pep-mates.com

オリジナル!!

ネクタイ・クラブタイ、30本から製作致します!

デザインは弊社にて無料で提案します。イメージとなる紋章・カラーをメールまたはFAXでお送りください。
専門のデザイナーがイメージを作り上げます。デザイン確定後、本数をお知らせいただければお見積りをします。



オリジナルグッズ企画・制作
ベップ・メイツ株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番10号
TEL 03-3663-8827 FAX 03-3663-8828 info@pep-mates.com
代表取締役 大前実之(昭和49年卒・翼明会)

よなよなどうしようかい

四七四七同志酔会

昭和47年卒 廣野 宏士

1999年に、帝國ホテルでの総会でホスト学年を務めました、昭和47年3月卒業の四七四七同志酔会です。

我々が、ホスト学年を務めてから、早16年の月日が経過したわけで、正に『軋の隙を過ぐるが如し』の感があります。

我々は、ホスト学年に向けて『40才を過ぎてからの人間関係の再構築』と『同級生、同志、お互いがお互いの人生にエールを贈り合おう』を合言葉に掲げて96年頃より準備に入り、邁進しました。

担当年を終えた今でも、このイズムを忘れずに同級生の交流は続いております。

同窓会は、思い立った時に不定期に開催しています。一昨年(13年)は我々同期の大半が、還暦を迎えました。これを記念して還暦祝いの会を9月に、明治大学・紫紺館にて開催しました(これに先立ち、有志で湯島天神にて、厄除け祈願を行いました)

9年ぶりの正式な同窓会でしたので、70余名の同級生が集まり、盛大なパーティーになりました。

『人生は邂逅である』私は、常々そう思っています。同級生との、良き出逢いをくれた明治中学・高校に感謝し、また良き学び舎に学ばせてくれた両親に感謝しつつ、あと何回逢えるのだろうか、



それさえ分らない『減つても増えない同級生』と共に、今宵も昨夜に引き続き(夜な夜な)、また一献、もう一軒。

幹事学年・昭和戊辰乃会の皆さん、これまで準備、お疲れさまでした。盛大な総会となることを祈っております。



祝 第 51 回 総明会 四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

昭和47年卒

文具&スポーツ

有限会社 **コバヤシ**

小林千春

(硬式野球部)

〒343-0836

越谷市蒲生寿町9番39号

TEL 048-988-2222

FAX 048-988-2277

昭和47年卒

五木田・三浦法律事務所
南青山オフィス

弁護士

三浦雅生

〒107-0062

港区南青山6-8-15

TEL 03-5774-2090

建築設計監理

有限会社 日生建築設計事務所

代表取締役
一級建築士

戸張 毅
(四七四七同志酔会)

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨三丁目5番18号

TEL (03) 5907-6030

FAX (03) 5907-6033

E-mail: nao.111@themis.ocn.ne.jp

古庄一夫税理士事務所

四七四七同志酔会

古庄一夫

(昭和47年卒/吹奏楽班)

東京都墨田区菊川2-5-12

菊川ジョイタワー301号

TEL: 03-3635-7070

FAX: 03-3635-7081

kazuo.f.ao.2003@fancy.ocn.ne.jp



負けてもうまい競馬場名物
煮込みと肉そばが有名。
立川志らく師匠も喰る肉そば!

梅屋食品株式会社

代表取締役 **山 縣 清**
昭和47年卒 四七四七同志酔会

〒104-0064

東京都中央区銀座1-9-5

池田ビル6F

TEL 03-3567-6862



ファストフード
梅屋

東京競馬場内
中山競馬場内



**炭遊酒菜
旅籠**(はたご)



新宿で一番美味しい炭火鶏焼きのお店
大小7個の個室完備。新宿駅西口徒歩3分

東京都新宿区西新宿1-23-1 かどやホテルB1F TEL 03-3344-3144



竹川観光株式会社
竹川 茂(昭和47年卒)

めいしかい
明紫会

昭和50年卒 **吉武 孝生**



平成26年度の明紫会総会・懇親会は、9月6日(土曜日)に、我等が事務局長・窪寺君のオープン間もない夢の店、ハワイアンダイニング「マハロア」にて開催いたしました。

ここで少し宣伝！
ハワイアンダイニング「マハロア」

中野駅北口ブロードウェイを突き抜けて早稲田通りを右へ、薬師あいロード商店街の中ほどに「マハロア」があります。

営業時間は、午後五時から午前零時まで。

定休日は、水曜日です。(貸切の日もありますのでご注意ください)

ハワイアンテイストのお店で大きなステージとLED照明に立派な音響設備も兼ね備えています。家族・友人・仕事仲間の皆様

と是非ご一緒にどうぞ。よろしく願います。

懇親会当日、腰裏姿のハワイアンの女性ダンサーが2名特別出演してくれました。それにつられたのか、次期明紫会会長候補の世古君が腰裏にヤシのブラをつけ、幹事学年・明猿会の永瀬君と大武君も腰裏姿に。ダンサーからフラダンスを伝授され、客席からは拍手喝采。

また、春の明紫会・特別企画として4月5日(日)に花もかなり散った中、さらに、傘も手放せない天気の中で「花見だー酒だー屋形船！」を開催いたしました。浅草橋の三浦屋の屋形船に乗り込み、お決まりの天麩羅とビールで盛り上がりました。この会に深谷則之君が明紫会に初登場してくれました。某金融機関を早期退職して、現在住んでいる山中湖からわざわざの参加でした。ありがとうございます。これからも、よろしく願います。

まだ明紫会に参加していない同期の皆さん、来年、還暦を迎える我々世代。



これを期に旧交を温め、一緒に飲みませんか。また、明紫会ゴルフコンペも毎年3回開催しています。同い年の仲間とともに、楽しい時間を過ごしましょう！
フェイスブックにも、明紫会のグループページがあります。還暦が間近な我々ですが、まだまだ、心も体も現役で頑張りますよう！

明治高等学校
昭和49年卒
翼明会

敦 醗 会 計 事 務 所
047-355-9301

吉武孝生税理士事務所
昭和五十年卒 明紫会会長
〒121-0813 東京都足立区竹の塚六十九七
オークビル四〇一
TEL 〇三・五八五・一五二八
FAX 〇三・五八五・一五二九
E-mail: y.ogata@tax-yoshitake.com

藍 全

昭和50年卒
明紫会

お車のトータルサービス
代表取締役 服部 憲一
社長 (昭和50年卒明紫会)
(株)服部自動車钣金工業

〒179-0073
東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail: ken@hattori-auto.com

焼鳥 木屋

昭和50年卒 明紫会
木屋 満

〒104-0032 中央区八丁堀 1-7-6
TEL・FAX 03 (5541) 5761

昭和50年卒 明紫会

高橋郁夫

ダイアナ株式会社

DIANA

www.dianashoes.com

(有)太陽精器製作所

昭和50年卒・明紫会

代表取締役

世古俊之

材料から加工・熱処理・めっき研磨
までワンストップが強みです。
今、下町ボブスレープロジェクトを
盛り上げています。

HP: 090-8892-5576

祝 第51回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

祝 第51回総明会 総会 波 の 会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者 富永 栄之進
副代表 板橋 純三郎
評議員 海老根 一介
尾崎 幸平
雨海 重明

祝 第51回総明会 総会・懇親会

49年卒 翼明会

翼明会役員一同



行列の始まりは
職人集団の麺工場
昭和50年明紫会
坂上進

祝 総明会

浅草 開化楼 特製麺

中華麺工場 株式会社 浅草 開化楼

〒111-0041 東京都台東区元浅草4-8-4

Tel 03-3844-0637 Fax 03-3841-4551

〒177-0033
練馬区高野台一三七
TEL 03-3591-0155
FAX 03-3591-0156

吉田 博

昭和五十一年卒 明々会
総合不動産業
株式会社 エヌエフウイレッジ
代表取締役

〒113-0040
東京都墨田区八広四丁目八番 十号
TEL 03-3662-3333
FAX 03-3662-3983

有限会社 トラストワーズイ
金属・アクリル・セリール企画・製造
代表取締役社長 **山田 眞也**
(硬式野球部OB)
取締役専務 **山田 健一**
(硬式野球部OB)

厨房のアメニティを創造する
津守興業株式会社

代表取締役 **津守 徹**
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

祝 第51回 総明会総会・懇親会

明々会

昭和51年卒

モップ・清掃用品・テント・シート
袋物から大型品縫製加工

株式会社 **岡 仁**

代表取締役 **岡本雅仁**
昭和51年卒 明々会

〒106-0047
東京都港区南麻布2-4-12
TEL 03-3451-3671
工場: 栃木県大田原市

銀座線 外苑前駅すぐ
豆菓子・おかきの店
青山但馬屋

太田垣 政紀

(昭和51年卒 明々会)

〒107-0061
東京都港区北青山2-7-11
TEL 03-3401-2843
www.aoyama-tajimaya.co.jp

プラスチック製品製造

株式会社 **プラテック**

代表取締役

林 伸光

〒339-0034
埼玉県さいたま市岩槻区笹久保1137-2
電話 048-791-7311(代)
FAX 048-791-7312
E-mail: Platec@image.ocn.ne.jp

手打ち

如月 徳

如月 徳 (きさらぎとく)

昭和 52 年卒 男子校根性組
石黒 理樹

Tel 03-3801-9001 荒川区荒川 7-26-9



昭和52年卒

佐藤 大英
曹同宗圓通寺

墨田区向島 3-1 1-6
Tel. 03-3622-7045
http://www.entuuji.or.jp

日比谷線小伝馬町駅より徒歩1分の
居酒屋です。ランチもやっています!

桔梗屋
やまハ

男子校根性組(S52年卒)

江原正俊

東京都中央区日本橋小伝馬町3-10
上嘉ビル2階

TEL 03-3662-5180

パートナーズ総合事務所

司法書士 **菅原 誠**
行政書士

(S52年卒 男子校根性組)

〒110-0008
東京都台東区池之端1-1-1
池之端ビル8階

TEL. 03-3835-8041

FAX. 03-3835-8042

E-mail: ZVC00312@nifty.ne.jp

だんしこうこんじょうぐみ

男子校根性組

昭和52年卒 大西 静士郎

「南志賀学寮焼失」に伴うあれこれ

今年初め、総明会の50周年誌編集委員会の用事で母校図書館の資料庫で資料を閲覧していた際、偶然、建物が炎上している数多くの写真を見つけました。昭和46年7月、前年に竣工したばかりの南志賀学寮が全焼した時の写真でした。

昭和52年の卒業生のうち昭和46年に明治中学に入学した者の大部分は、中一の林間学校でこの火事に遭遇しています。出火当日の前夜、夜行バスでお茶の水を出発した私たちは早朝に学寮に到着し、収容人員の関係からA組は七味ロッジに、B組、C組は学寮に入って仮眠をとりました。仮眠後、A組、B組はフィールドワークに出発し、学寮に併設されたキャンプ場に宿泊する予定のC組がキャンプ場でテントを設営しているところに出火したのです。

そのため、火災現場を目撃したのはC組の生徒だけでした。当時B組だった私にとってこの写真は、

その時の火災の凄さを初めて認識すると同時に、死者やけが人を一人も出さずにんだことが、いかに運に恵まれていたか、ということを実感させてくれました。もし生徒が仮眠中に、あるいは深夜の就寝中に出火していたなら、どうなっていたらうか、と思わせるような火勢の激しさでした。

この時の火災については、母校の創立60年史誌「六十年の歩み」164頁～186頁に総務主任（当時）の谷口善三先生が「南志賀学寮焼失の件」として残された記録を掲載しており、また明治高校新聞第133号にはC組担任（当時）の田村晴彦先生が、直接火災を目撃した方にしかできない証言（記録）を残されておられます。機会があれば、その後の学寮再建の話を含めて、ぜひ目を通していただきたいと思います。

強烈な体験のせいか、この時の記憶は、特に明高らしい理不尽かつ不条理な記憶ほど、私の中に深く残っています。それを書き残したいと思いますが、紙幅が尽き

ました。ご興味のある方は、男子校根性組会報のバックナンバーをご覧ください。



昭和53年卒 マンドリン部OB

弁護士 高木 茂

銀座法律会計事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-3 セントラルビル6F
TEL.03-6228-4487 FAX.03-6228-4489

株式会社 大西静商店

取扱商品：貸事務所・パーティーグッズ

大西静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032
東京都千代田区岩本町2-2-13
TEL. 03-3866-6097
FAX. 03-3866-6098
<http://www.rakuten.co.jp/osparty/>

 株式会社 小島商会

自転車部品・用品卸

代表取締役

小島 隆司

昭和53年卒

東京都台東区上野1-6-5
TEL.03-3831-9792


米田税務会計事務所

昭和53年卒

税理士 米田晴彦

〒130-0026
墨田区両国2-17-3
(両国高橋ビル3F)
TEL 03-3631-8878
FAX 03-3632-3346

E-Mail: yonetakaikei@tkcnf.or.jp

両国

有限会社 両国あんこあら本舗
代表取締役 岩佐浩之
昭和五十四年卒 明誠会
東京都墨田区両国二一十七一三
電話 〇三三六三一三八五六

祝 第51回総明会 総会・懇親会

昭和52年卒

男子校根性組

<http://dankon52.web.fc2.com>

練馬 高野台

ナーチャーズフォーレストグループ

代表 横山 茂樹 (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210
TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630
<http://www.neritaka.net/> E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

めいせいかい

明誠会

昭和54年卒 内山 隆司

同期会幹事の苦悩と勘違い

さて、毎年恒例となっている同期会が今年もやつてきた。(平成27年6月14日)

今年は幹事を任せられ、去年の7月から準備を進めてきた。と言つても頭の中だけの話で、実際には今年の4月半ばから動き始めたと言つた方が正しい。

同幹事の祖山氏が町会等で数回利用したことがある店に決定、私は案内状を送ればそれで終わり、何とも安易な考えでい



た。

ところが、案内状を送った方がいいが、返事があまりにも少ない。もう2週間前だというのに。

俺たちの人気は無いに等しいのか？なんて考えても見た。いや違う、俺たちじゃなくて同期に会うのが面倒くさいのかもしれない。

きつとそうだ、そうに違いない。では、このお粗末な人数を何とかしなくてはならない。

さあ、本気モード全開である。

私は明治中学、高校で学んだ要領と一夜漬け方法で何とかなるという確信があった。毎日、夕方から電話攻撃。確認、お誘いを繰り返し、何とか50人を確保できた。

後は会の内容だ。わざわざ俺の為に來てくれた人達を楽しませなくてはならない。(注釈：いや、俺の為じゃないとは思うが、その時はそう思つたのである)

1週間前からイメージは膨らむばかり、あれもやりたい、これもしたい、と。

得てして、同期にも協力をもらい、マンド

リンを演奏して頂くことになった。司会を引き受けてくれる同期もいた。また、奥様方も参加したいという声もあがり、今までは無かったことだが、会長に相談もなく勝手にOKを出してしまつた。

もちろん気が合う同期だから女性がいたつて反対するやつはいないだろうとの思いからである。万が一そんなやつがいたら「ぶつ飛ばす」わけで、犯罪者になる覚悟もあつた。

会場では女性7人の黄色い声やら、わけのわからない歓声で盛り上がったことは言うまでもない。

1年に一度、高校生に戻る日。それが同期会である。

我々明高生が死んでも、奥方たちが繋がつて、若き日を思い出し、明高卒の主人たちの悪口を言いながら、この明誠会が少しでも長く存続する日を祈るばかりである。

最後に、要領を教えて頂いた先生方々、協力いただいたマンドリン部の同期、後輩達、後輩の為に寄付をして頂いた同期、俺の為に集まつて頂いた同期に感謝!!

昭和54年卒
明誠会
(株)朝倉 鋳物
代表取締役
朝倉一寿

株式会社クロス
昭和54年卒 明誠会
黒須康之
荒川区東尾久6丁目3-10
TEL. 03-3892-5426

Wako Real Estate Investment Co., Ltd.
和光アールイーアイ株式会社
代表取締役
熊澤正幸
昭和54年卒
〒102-0072
千代田区飯田橋4-1-11 六洲社ビル
TEL.03-3512-0750
FAX.03-3512-0753
<http://www.wako-rei.co.jp/>

昭和54年卒同期会
壹伍会
SINCE 1980
吉田 雅博

埼玉県川口市

暮らしの衣料 まつざわ
株式会社
調布松澤屋
取締役
松澤和昌
(昭和54年卒明誠会)
〒182-0026
東京都調布市小島町1-34-12
TEL 042-482-2634

愛三電機株式会社
代表取締役社長
公認会計士
河合 洋
昭和54年卒 明誠会
〒101-0021
東京都千代田区外神田1-12-3
TEL. 03-3253-3611(代表)
<http://www.aisan.co.jp>

矢ノ目忠税理士事務所
昭和五十四年卒 明誠会
〒三五・〇〇四八
江東区門前仲町二・二・一六
えとりビル三階
電話 〇三・五六三九・七七六一
FAX 〇三・五六三九・七七六一
E-mail: yanome@yanome.jp

合同会社
フィリピン投資研究所
フィリピンビジネス
フィリピン実習生 技術者
フィリピン移住 不動産投資
昭和54年卒 明誠会
笹沢浩司
e-mail: llc-prii@sunfield.ne.jp

精密金属挽物加工
有限会社 高埜製作所
代表取締役
高埜 雅信
昭和54年卒 明誠会
〒131-0045
墨田区押上3-15-6
TEL.03-3617-4365
FAX.03-3612-2368

祝 第51回総明会 総会・懇親会



http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

めいしょうかい

明翔会

昭和56年卒 衛藤 雅一

平成27年6月27日(土)、今年の同期会は、お茶の水の洋食屋で開催された。

会場は同期の蓬田君の行きつけの店を貸切り、これまでにはない小洒落たレストランでの開催であった。役員は総会開始30分前に打合せの為、集合したがその時には既に数名が集まり、勝手にビールを飲み始めていた。なんて自由気ままで、気の許せる楽しい仲間達だろう。今年の参加者は19名と例年に比べ少なめだったが、みな心待ちにしていたのだろう。仕事で数名遅れた他は遅刻者も無く定刻より前にスタートすることができた。

ここで、我々の今年の活動を少々ご紹介すると、例年は新年会、ゴルフコンペ、本日の総会&同期会のバターンであるが、今年は海外へ赴任中の石井敬次郎君が2月に一時帰国したこともあり有志で宴席を設けて大いに旧交を温めた。これからも機会のある度にこの様な取り組みを企画して

行きたい。

さて、総会では一通りの報告が行われ、全会一致で承認された後、食前酒の勢いも手伝ってか、すぐに最高潮のお祭り騒ぎとなる。同期会では誰がどんな挨拶をしたかハッキリ思い出せないが、一人一言近況を報告する話の中には、病気をした者、再婚した者、転職した者、起業した会社を売却した者など、年輪を重ねた経験談はいつまでも尽きる事が無く、歓談の時はあつという間に過ぎ去った。

中締め挨拶は吉田会長から、これからも未永く同期の結束を続けて行き、同期会の参加者50名以上を目標にしたいとの宣言もあり、エールと校歌斉唱で開きとなった。

幹事学年は総勢5名駆け付けてくれ、我々も酒の力に任せて幹事学年が持ち込んだグッズを大量に買い漁った。同期の中には「大人買い」と称して万札で纏め買いをするツワモノも数名現れた。

その後の二次会にも多くの同期が引き続き参加してくれ、良い意味でも悪い

意味でも大いに盛り上がった。

総明会の幹事学年以降、毎年年二回の会合を重ねることが出来て、2年ごとに役員改選を行い、広く同期で会を運営していくという仕組みも定着してきたように思える。

今後もこの運営方法を継承しながら同期全員で運営できる同窓会を続けて行きたいと思う。みんな！楽しんでやって行こう！



包装のコンサルタント
寺村梱包株式会社

代表取締役 寺村一義
(昭和56年卒 明翔会 バス客OB)

東京都文京区本郷2-19-11
TEL 03-3813-6686
FAX 03-3813-6689
<http://www.teramura-pack.co.jp>

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川洋治
(56年卒)

〒210-0834
神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13
電話 044-244-1054(代)

株式会社東新理興

板硝子・理化学製品は斉木におまかせ!

昭和56年卒 明翔会

代表取締役 **斉木 麻州男**

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-4
TEL.03-3814-7565 FAX.03-3818-0208

ヤマダ社会保険労務士事務所

社会保険労務士

山田 覚

Satoru Yamada

昭和56年卒 明翔会

〒245-0061
神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607
TEL/FAX.045-865-6282

館長 **村山 智教**
(昭和五十六年卒 明翔会)
日本堂手道 村山道場
〒214-0039 川崎市多摩区栗谷二丁目二二番地
TEL 03-3814-7565 FAX 03-3818-0208
携帯 090-1896-1139

みなと協和法律事務所

弁護士 **鈴木 一洋**
(昭和56年卒 明翔会)

〒105-0001
東京都港区虎ノ門2丁目1番1号 商船三井ビルディング4階
TEL : 03-5575-7157 FAX : 03-5575-7158
E-mail : toxotes@hyper.ocn.ne.jp

祝 第51回総明会 総会・懇親会

昭和56年卒

明翔会

<http://www.k4.dion.ne.jp/~terachan/>

同期の皆さんホームページを御覧ください。
連絡お待ちしております。

昭和53年卒 紫 友 会

板 倉 和 明

有限会社 オフィス ダン

代表取締役 伊東正明 昭和55年卒 紫魂会

本 社：〒132-0031 東京都江戸川区松島3-32-1

銀座支店：〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-2

ティアラグレイス銀座タワー

TEL:03 3653 1366 E-mail:bellito@softbank.ne.jp



かばん・袋物 製造卸し

(ビーボニー)

株式会社 **B-BONNY**

代表取締役 馬場栄一（昭和55年卒 紫魂会）

本社／〒273-0012 千葉県鎌ケ谷市東中沢4-8-53

Tel & Fax 047-412-3495

工場／〒273-0012 千葉県鎌ケ谷市東中沢4-8-50

mobile 090-8440-7002

E-mail b-bonny@gf7.so-net.ne.jp

紫魂会
渡辺 裕之

昭和五十六年卒(硬式野球部)
須藤 貢一
司法書士
〒三五〇〇四六
江東区牡丹二九一六九一四
TEL.〇三三六四三一一六五〇

ヤマヨ測定機株式会社
SINCE 1906
URL: <http://www.yamayo.co.jp/>
代表取締役
鴨下 裕彦
(昭和56年卒 明翔会)
〒120-0015
東京都足立区足立2-23-13
TEL: (03)3849-5416
FAX: (03)3849-6515
E-mail: kamoshitah@yamayo.co.jp

総明開発株式会社
昭和57年卒 明魂会
硬式野球部OB会
代表取締役
染谷 貴男
〒340-0052
埼玉県草加市金明町473-4
TEL.048-946-2000
FAX.048-946-1700

紙一般包装資材企画販売
近代紙業株式会社
〒340-0834埼玉県八潮市大曽根1420
<http://www.kind-ai.co.jp>
昭和57年卒 明魂会
地理研究部OB会
小林 謙之
KENJI KOBAYASHI
k-koba@kind-ai.co.jp

京急鶴見市場駅下車一分
大衆酒場 正木屋
横浜市鶴見区市場大和町3-17
Tel: 045-511-0573
営業時間16:00から23:00
(10時以降入店可・日曜定休)

昭和57年卒 明魂会 岩崎広人

埼玉・蓮田名物
島田造りうどん、小松菜うどん




Jリーグオフィシャルグッズ
大宮アルディージャ
勝利ラーメン
(カレー)



乾麺「島田造り」は、製造元と直結した直販・通販のみの販売です。

おきなさと
翁の郷

埼玉県蓮田市大字関戸 280
営業時間 9:00~18:00/ 火曜定休

お客様フリーコール
0120-8733-07
製造元
岩崎食品工業
株式会社

めいこんかい

明魂会

昭和57年卒 矢島 和行

毎年行われる明魂会同期会が7月18日
神田小川町で行われました。

元々中学・高校時代から仲の良い者、幹
事学年から付き合うようになった者、今
回初めて参加した者。等々三十数名が集ま
り、飲み交わしました。

我々のモットーは、とにかく長く続けよ
うと言う事です。様々な事情で今は参加で
きない友も、長く続けていればいつか会え
る。今年はためでも来年は来てくれる。そ
うです、毎年初参加のメンバーが必ずいるの
です。今年も名古屋から駆けつけて
くれた者もいました。さらに、今回
は急遽飛び入りで、保健室におられ
た篠島正子先生にも、ご出席して
頂きました。

先生にとつては、当時高校生のや
んちゃ坊主がおっさんになっている
のですから、まるで浦島太郎？でも
私たちにとつては、篠島先生はあの
当時のまま、変わっておらず、優しい
先生でした。

34年前を思い出し、近況を報告

しあい、そして次回また会う事を約束し、
神田の街を後にしました。50才を過ぎて働
き盛りの皆さん、健康に留意して来年も元
氣に会いましょう！

さらに付け加えさせて頂きますと、毎
年重責を担う幹事学年の事です。もちろん
我々も経験しましたが、とかく、今の若いも
んは！と言われがちな世代間の考え方の
違いがある中、脈々と受け継がれる明治の
伝統を核に、若い新しい知恵を出し合い、
責任を果たしている。その事自体に感動を
覚えます。明治そして総明会と言う名の下
に、若いOBから大先輩までが一つになれる
喜びをあらためて感じています。

今年の幹事、昭和戊辰乃会是我々が卒
業してから中学に入学された学年です。か
ら、実際には同時期には学校に通つてはい
ませんが、明治という名の下、しっかりと責
任を果たしている彼らの姿を見てみると、
嬉しくもあり、頼もしく感じました。名刺
をかわし、お互い自己紹介をし、部活はな
んだ？担任は？と話をしているうちに、も
う友達です。楽しいじゃありませんか！毎

年友達が増えていきます。

明治に感謝！総明会に感謝です！

最後になりましたが、「昭和戊辰乃会」の
皆様、総明会総会・懇親会の盛会をお祈り
しております。



祝 第51回総明会総会・懇親会

明 魂 会

昭和57年卒

<http://www.meikonkai.com>

RE_{リソル}OL 北武蔵カントリークラブ

関越道 本庄児玉ICより12分(埼玉県)

明高割 はじめました!! これをご持参ください

【季節料金より 平日▲500円 土日祝▲1000円 引き】

TEL **0495-72-5111**

支配人 富樫 孝之(昭和63年卒 スキー部)



天ぷら
天ふじ

長沼 理(昭和63年卒)

東京都荒川区西尾久1-32-7
TEL:03-3894-4746

営業時間 10:00~19:30
定休日:日曜日

RE_{リソル}OL 真名カントリークラブ

【真名ゲリー・プレーヤーコース限定】
乗用カートフェアウェイ乗入れ平日無料!!

〒297-0077千葉県茂原市真名1744 TEL:0475-24-5211
【千葉外房有料道路 大沢出口または圏央道茂原北ICより5分】

岡崎正和税理士事務所



岡崎正和

昭和63年卒
昭和戊辰乃会
マンドリン部OB

東京都墨田区横川2-2-10
岡崎ビル2階 〒130-0003

TEL: 03-6240-4262

FAX: 03-6240-4263

okazaki@setsu-zeirishi.com



下町の住まい選びに夢を・・・

不動産の山下商事

ポータルサイト未掲載の当社物件を多数掲載!!

〒116-0012 東京都荒川区東尾久1-1-6

電話 03-3895-9494 FAX 03-3809-7779

<http://www.yamashitashoji.jp>



昭和63年卒
昭和戊辰乃会
歴史研究部

めいわかい

明輪会

昭和58年卒 佐藤 敏雄

平成27年6月20日(土)、小川町中華料理屋『龍盛菜館』にて明輪会総会・同期会を開催しました。

明輪会は、名称の一部にもありますように五輪開催年には通常年よりも盛大に同期会を開催することを目標としています。今回は、通常開催の同期会でしたが、総会と同期会および、日頃の各種活動についてご報告させていただきます。

総会では、32年ぶり再会の初参加者1名を含む17名が参加。

前期の会計報告、活動内容が報告されました。特筆すべきは苅部君を中心としたゴルフ委員会の活動で、毎年2回の同期会ゴルフ開催と総明会ゴルフコンペへの参加を継続しています。総明会には常に複数組エントリーしています。

今年は、個人上位入賞と、チーム戦ではBチームがブービー賞を獲得しました。

懇親会では、総会メンバーの他今年幹事学年である『昭和戊辰乃会』メンバーも加わり場を大いに盛り上げてくれました。グッズもよく売れたようです。

司会はこの数年岸君が仕切ってくれています。この会をまとめるのに適任で頼もしい限りです。一人ひとりが前回会った時と変わった点の近況報告をするよう号令が掛かると、真つ先に初参加の折原君に当り、冒頭からテンションは最高潮に！32年間分を話始めたのに驚きました。みんな君が来るのを待ってたんだよ。

あつという間に時間が経ち、恒例の校歌斉唱。今回は副会長の門川君が指揮を執ってくれました。他のお客さん、騒がしくしてごめんなさい。

50才を過ぎて青春時代を共に過ごした仲間と毎回会える場があるつて幸せですね。大切にしたいと思います。来年は、夏季五輪開催年です。明輪会が盛大に開催出来るようにお手伝いします。

最後になりましたが、『昭和戊辰乃

会』が幹事学年を務める今年の総明会総会・懇親会の成功を祈念いたしまして、明輪会の報告とします。



日本料理 手打ちそば
浅草 十和田

富永龍司

昭和58年卒 明輪会

台東区浅草1-13-4
TEL. 03-3841-7375

有限会社クリーニング
あかひや

昭和58年卒 明輪会

小野 洋

東京都目黒区鷹番3-7-18
TEL 03-3714-0452

昭和58年卒 明輪会
青木経営法務事務所

行政書士

青木 正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4
TEL 03-3676-5420
FAX 03-3676-5421

祝 第51回 総明会 総会・懇親会

め い わ か い
明 輪 会

昭 和 58 年 卒

こ
こ
ろ
の
わ
わ

昭和58年卒

明輪会

遠藤憲治



有限会社 遠藤印刷

www.eqp.jp

S H I M A M U R A D E S I G N

ホームページ・パンフレット制作

お客様のイメージをカタチにします。ご相談下さい。

グラフィックデザイナー 昭和59年卒 明心会

島 村 武 史

〒171-0052 豊島区南長崎3-31-14
TEL.03-5996-6828
E-mail.take-457@netjoy.ne.jp

👍 ロゴマークデザイン

👍 商品カタログ制作

👍 広告・会社案内制作

その他いろいろ制作します。

<http://www.shimamura-design.com/>

銀座升本

銀座一丁目 並木通りの大衆酒場

み ほ や
三保谷 建介 (平成7年卒)
三保谷 和大 (平成14年卒)

昼の部 (定食) 11:15~13:30
夜の部 17:00~22:00 (L.O. 21:30)

定休日: 土日祝日

東京都中央区銀座1-4-7 03-3563-2706

昭和59年卒 明心会

税理士

田中重幸

〒279-0004
浦安市猫実3-5-14-104
TEL. 047-323-6322

昭和59年卒

大山 輝芳

明心会

硬式野球部OB

株式会社 横濱屋

めいしんかい

明心会

昭和59年卒 和泉 豊

昭和59年卒の「明心会」です。

第51回総明心会 総会・懇親会の開催おめでとうございます。幹事学年の「昭和戊辰乃会」の皆様お疲れ様です。

我々昭和59年卒は卒業以来忙しきにかまけながら、同期会を開いていませんでしたが、第47回総明心会の幹事学年を期に毎年同期会を開くようになりました。

今年は明心会会員が50才になる年であり、あつという間の人生後半戦への突入にとまどいつつ、体力は地味に落ちながらも気持ちちは殆ど学生時代変わらないギャップを楽しみながら、今年も同期会を開催いたしました。

今年の同期会は7月20日(月・祝)御茶ノ水の「ホテルジュラク」にて、盛大に行いました。

今年は50才記念なので、我々の原点は、やっぱり「駿河台」。人生の後半戦に向けて原点回帰ということで、今年は男坂で記念写真を撮影した後、ホテルに集合し盛大に同期会を実施。同期は全員男性の

ため、コンパニオンを手配しお酌をお願いしました。

同期会では久しぶりに会う仲間との歓談と共に、学生時代の写真をスライドショーで映し出したり、今だから言える秘密の話など、明治高校時代を懐かしんだり笑ったりできる内容で一気に気持ちは30年前にタイムスリップできました。今年には、ちよつと豪華にホテルで同期会を実施しましたので、周りに気兼ねなく最後は校歌を3番まで大熱唱し、男坂での記念写真をおみやげに配り終了しました。

明心会では同期会のほか、ゴルフコンペを開催したり、今年初めて旅行も企画し北海道にも行ってきました。今後、もっとたくさんさんの同期の皆さんの参加をお待ちしています。

同期が集まると、我々の年代は独身貴族から子育て終了まで多岐にわたっており、また、社会人としての立場も多岐に渡っていますので、学生時代の話のみならず、仕事・健康・家庭・子供・趣味の話な

ど、仕事でのしがらみ抜きで気軽にたくさん話ができます。

私はあとひと頑張りですべてを終了ですが、同期で集まるたびに、恥ずかしながらこの年齢になって、親は苦労して進学させてくれたんだな、明大明治に進学させてもらいありがたいと思えるようになりました。

総明心会も50年、我々明心会会員は総明心の誕生と共に歩んできた世代です。今後60才、70才になつても、総明心会60周年、70周年に参加できるように元気な今のうちに会っておきたいと思えます。今年も同期会に出席したことのない人もまた来年是非お会いしましょう。



祝 第51回総明会 総会・懇親会
めい しん かい
明 心 会
昭和59年卒
<http://www.meishinkai.com/>

昭和59年卒
ライフプランナー
渡 邊 文 夫
ソニー生命保険株式会社
新宿ライフプランナーセンター第9支社
東京都渋谷区代々木2-1-5
J R 南 新 宿 ビ ル 1 5 F
電 話 03-5358-1709
携 帯 090-4376-6146
SL 15-4290-0018

有限会社**忠建商事**
不動産の有効活用 売買・賃貸・企画・管理
昭和59年卒 明心会 硬式野球部OB
代表取締役
渡 辺 憲一
〒224-0001
横浜市都筑区中川7-17-18
TEL. 045-911-3011
<http://www.chukenshouji.com/>

宮沢孝昌
(S59年卒・水泳部)
珈琲亭 ルアン
〒143-0016
東京都大田区大森北1-36-2
Tel: 03-3761-6077
平 日 7:00~20:00(オーダーストップ)
日・祭日 7:30~18:00(オーダーストップ)
木曜定休

株式会社 山泰製作所
取締役 山本 雅宣 (昭和59年卒)
営業部長 (バスケット部OB)
〒949-6775
新潟県南魚沼市宮字西原2294番8 (津久野工業団地内)
TEL 025-773-3428 FAX 025-773-2763
E-mail masanobu-yamamoto@yamatai-mfg co jp

株式会社 **エヌエスピー**
ウェブシステム開発／
サーバ保守・運用管理
代表取締役社長／公認会計士
根津 光弘
昭和59年卒 明心会
<http://www.nsb.ne.jp/>

総合電設資材卸
伊東電機株式会社
代表取締役
伊東 稔
昭和59年卒 バスケット部OB
本社：東京都江戸川区松島3-34-21
TEL.03-3654-9241
FAX.03-3654-9256
E-mail ito@ito-den.com
船橋営業所・松戸営業所

有限会社**共栄化工**
一般装飾品 鍍金
代表取締役
岩井 孝之
昭和59年卒 明心会 バレー部OB
〒131-0041 墨田区八広2-18-13
TEL.03-3617-6050
FAX.03-3618-0711
<http://www.kyoeikakou.com>

とうこんかい

闘紺会

昭和60年卒 柴 貴

昭和60年卒「闘紺会」です。第51回総明会・総会・懇親会の開催誠におめでとうございます。幹事学年の「昭和戊辰乃会」の皆様、様々な事前準備お疲れ様です。

我々闘紺会は、母校明治高校の創立100周年記念の年に「総明会幹事」を仰せつかり、数年ぶりに再会した同期が心ひとつにして幹事学年の仕事を全う致しました。早いものであれから3年の月日が流れ、幹事学年を務めたことを境に、同期の仲間との「絆」が深まったような気がします。また、総明会を通じ諸先輩、後輩諸氏とも交流が持て、大変嬉しく感じております。

幹事学年を終えた後の我々の活動は、2月の新年会、7月の総会・懇親会が定期行事となっております。その他に、「闘紺会ゴルフコンペ」、「闘紺会釣り倶楽部」と言った闘紺会を通じた趣味の集まりも開催しております。

本年2月の新年会は、同期の手束君が営んでいる『玉寿司』で開催しました。寿司屋で多人数がお酒を酌み交わし大声で語り合うことは普通では考えられませんが、同期がやっている店だから出来たことだと思えます。この場を借りて手束君に感謝申し上げたいと思います。また、7月には、神田淡路町にある『カフェレストランバーOAKS』にて総会・懇親会を行いました。中学1年生から高校卒業までお世話になった山田先生を迎え、先生にお持ちいただいた中学・高校の卒業アルバムを酒の肴に大いに盛り上がりました。

明治高校を卒業し30年が経ちます。闘紺会が集まると、中学高校時代にタイムスリップしたようになり、楽しい時間を過ごすことができます。闘紺会の活動に参加していない昭和60年卒の同期の皆様、この寄稿をきっかけに一緒に楽しい時間を過ごしませんか？いつでも『あの時』に戻してくれる闘紺会は、皆さんをお待ちしております。



祝 第51回 総明会 総会・懇親会

昭和60年卒 闘 紺 会

和食 玉 寿 司

東京シティ信用金庫新小岩支店前・定休日木曜日

☎ 3 6 9 1 - 3 0 8 8

<http://www.tamazushi.com>

手束 謙一（昭和60年卒 闘紺会）

自動車 外装磨き 内装清掃 専門会社

対応車種 軽自動車～1BOX 輸入車 商業車 大型トラック・バス

外装ポリマー加工
水アカ除去磨き
タバコ消臭処理
革シート清掃
ルームクリーニング



株式会社 サンコー商会 昭和60年卒 闘紺会
代表取締役 町側 尚則 吹奏楽班OB

〒123-0872 東京都足立区江北3-38-1

TEL 03-3898-3501 FAX 03-3898-3701

E-mail machigawa@gmail.com

<http://www.car-sanko.com>

Technology and Trust

株式会社立山電機工事

闘紺会

代表取締役 寺山 裕也（昭和60年卒）

東京都江戸川区鹿骨四丁目22番13号

TEL 03-3670-0277 FAX 03-3670-3159

E-mail yuuya01@pop02.odn.ne.jp

金券ショップ
Tickety
STORE II

<http://www.tickety.jp/>

昭和60年卒業 植村成典

有限会社アンデス

的場 尚
(S60年卒・闘紺会)

〒124-0025
東京都葛飾区西新小岩1-9-11
Tel: 03-3271-5738
E-mail: info@andesu.co.jp

昭和60年卒

YAZAWA

理化学器械製造販売
株式会社 矢沢科学 矢澤 徹



家庭文化用品 荒物雑貨 総合卸
輸出入竹工芸品全般

株式会社 大園

代表取締役 大園 正純(昭和60年卒 闘紺会)

本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目12番8号
電話 03(3624)5 3 6 6 (代)
FAX 03(3624)5 3 6 8

有限会社 秋元鉛工所

代表取締役社長

秋元健一郎

(昭和60年卒 闘紺会)

〒132-0021
東京都江戸川区中央1-6-21
TEL 03-3651-0080
FAX 03-3651-2661

鈴木税理士事務所

税理士 鈴木 裕朗

Hiroaki Suzuki

(昭和60年卒 闘紺会)

東京都墨田区業平1-21-9 あさひ墨田ビル2F 〒130-0002
Tel: 03-3623-8703 Fax: 03-3623-8706
<http://www.suzuki-firm.com/>

ふぐ ちゃんこ

焼き鳥

鳥 義

氏家 喜久雄

(昭和61年卒 新世輝)

墨田区石原 3-17-3
TEL.03-3626-4466

昭和60年卒
(闘 紺 会)
柔 道 部

駒沢公園行政書士事務所 行政書士 大 塚 大

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 5-12-7
TEL 03-3703-7076 FAX 03-3703-5809
E-mail houmu@pc.nifty.jp
URL <http://ootsuka-houmu.com>



住まいを通じて生涯のおつきあい

ミサワホーム

<http://www.misawa.co.jp/>

船橋支店 支店長 矢 島 昭 夫 昭和60年卒 闘紺会

ミサワホーム株式会社 〒273-0005 船橋市本町2-10-14 船橋サウスビル
TEL 047-432-3311(代表) E-mail : akio_yajima@home.misawa.co.jp

金・プラチナ・ブランド品 I ♥ V E 買取

森田質店

買取販売 CHANGE TO MONEY

 0120-78-4919

しんせいき

新世輝

昭和61年卒 栗本 宜長

「ヴィーノ エイル ラコルタ」これが、そのお店の正式名。通称は「ラコルタ」。新世輝のネットワークはこのお店で広がりました。私たちの同期会は、現在のところ、毎回このお店で実施しています。最初の開催は、今から8年前。40才になる年から始めたことになりました。

同期 長谷川のお店なので、何人かの同級生も利用していましたが、「このお店で同期会をやるうー」と盛り上がり、実際にハガキ(当時は今ほどSNSは発達していなかった)などを出して、

同期を集めたのは幹事学年時に事務局長を務めた土田。彼のママさが、新世輝をつなげました。初回から50名近い同期が集まり、それほど広くない店内が、おじさんだらけになったのは言うまでもありません。今でも、同期会の最後に撮影する写真を見ると、おじさん密度に爽快感さえ感じます。

そのころは特に、総明会のこと、

幹事学年の事は知らないメンバーばかりですので、あまり意識することは有りませんでした。昭和61年卒業ということもなかなか思い出せませんでしたし、新世輝という名前も、すんなり決まったわけではなく、幹事学年が翌年に迫ったタイミングで、山田先生がピッタリの名前を付けてくださいました。

このころぐらいから、幹事学年それぞれの役割の責任者も決まり(唯一、鵜飼の実行委員長だけは決まっていた)、エンジンが掛つていったのが、2年経った今でも、昨日のように思い出されます。

このお店は、普段から同期のたまり場なので、特別に約束をしていなくても、何人かが自然と集まり、プチ同期会が開かれていることも少なくありません。また、幹事学年以降は、このお店で先輩や後輩に出会えることも、ずいぶん増えました。ですから今は、幹事学年を経験する以前よりも、同期・先輩・後輩とつながる機会が格段に増え、より大きなネットワークが出来た気がして

います。

お店の場所は日本橋。この会報誌のどこかに、飼犬と寝転がっている店主の顔写真入りのシュールな広告があります。探してみてください。



鳩屋海苔店は
昭和戊辰乃会を応援します！

お海苔好きですかあ〜?!

鳩飼友義

S61年卒 新世輝

乾液苔問屋

商 標

鳩 屋

神田 築地 神楽坂

築地
場外

鳩屋海苔店

東京都中央区築地 4-14-16

Tel & Fax 03-3541-5523

[facebook.com/hatoya](https://www.facebook.com/hatoya)

新世輝
俳優
高橋信康
(昭和六十一年卒)
(歴史研究部OB)

徳島 かやば町

代表取締役 鍋島 孝太郎
(昭和60年卒 闘紺会)

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-5-6
店舗 TEL. 03-3666-4692 info@toritoku.com
iphone 080-4294-9674
mail kotaro.nabeshima@gmail.com



ふぐ・和風居酒屋
民芸茶屋 佐留丹

〒120-0034 足立区千住1-33-8

03-3882-7229

<http://r.gnavi.co.jp/g418500/>

<http://www.facebook.com/sarutan1971>

61年卒・新世輝 猿田尚弘



電話 〇三―三二七四―三〇〇一

中央区日本橋三―八―十一

吉野鮎本店

日本橋

高島屋さん真裏通り



吉野正敏

昭和六十一年卒 新世輝



昭和 61 年卒 新世輝
株式会社マツモトワークス

松 本 年 一



www.matsumotowax.com

巢鴨とげぬき地蔵通り商店街 とげぬき地蔵尊高岩寺様すぐそば



〒170-0002
東京都豊島区巢鴨3丁目37番2号
tel&fax: 03-3915-5709
mobile: 090-5202-6451
E-mail: ikeiked@gmail.com

Facebook
www.facebook.com/TakeyamaSugamo
@takeyama_sugamo

あきら
池田 曜
(昭和61年卒 新世輝)

鈴木税務会計事務所

税理士 鈴木 博史

(昭和 6 1 年卒 新世輝)

〒133-0053 江戸川区北篠崎 2 - 1 9 - 1 2

TEL 0 3 - 3 6 7 0 - 1 4 3 0

FAX 0 3 - 3 6 7 6 - 1 4 4 0

木材・新建材・住宅機器 販売



株式会社 昇 栄

代表取締役

染 谷 昇 司

(昭和61年卒 新世輝)

〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江3-2-6

電話: 03-3679-3681

FAX: 03-3677-3174

E-mail: shoei.co@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ http://shoei.tokyo/

新たな都市機能を創造し、発展させ、守り、次代へ引継ぐ

〈建築物総合管理〉



アーバンシステム株式会社

URL <http://www.urban-system.co.jp>

TEL.03-5398-1500

取締役副社長 臼田 真一郎 (明治高等学校 昭和 61 卒 新世輝)

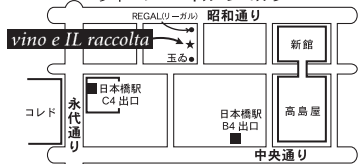


明大明治OB、OG 憩いのWINE PUB

vino e IL raccolta

ヴィーノ エイル ラコルタ

長谷川 隆洋
(昭和61年卒 新世輝)



中央区日本橋2-9-6 TEL.03-3231-0610

介護の相談
無料でお受けします。

社会福祉士



菊池 明彦
(昭和61年卒 新世輝)

TEL.090-2908-8987

各種機械 設計・製作・修理 及び 部品加工

株式会社 高橋機械製作所

Takahashi-kikai@nifty.com

代表取締役 **高橋 誠**
(昭和61年卒 新世輝)

取締役会長 **高橋 郁三**
(白鷺会 顧問)

〒116-0011 東京都荒川区西尾久8-41-4

TEL 03(3893)8377 FAX 03(3893)8062

消火設備工事配管請負
三重工業株式会社

代表取締役

片 桐 泰 裕
(S 61 年卒 新世輝)

y-katagiri@mie.email.ne.jp

〒141-0032

東京都品川区大崎3-6-17

TEL 03-3493-6731(代)

FAX 03-3493-6794

昭和 6 1 年卒 新世輝

清 水 会 計 事 務 所

税理士

清 水 稔 夫

〒167-0032 東京都杉並区天沼3-9-1 荻窪ビル2階

TEL 03-5347-2283

FAX 03-5347-2284

E-mail : ts98wind@bird.ocn.ne.jp

祝 第51回 総明会 総会・懇親会

今年も新世輝は、
幹事学年 昭和戊辰乃会を
応援致します。

しんせいき
新世輝

(昭和61年卒) **49/101**

<http://sinseiki.jimdo.com>

文具・事務用品
印章・OA用品

明文堂

代表取締役

菖蒲 大

(昭和62年卒 明猿会)

〒105-0004

東京都港区新橋2丁目-20-15

新橋駅前ビル1号館1階

TEL 03-3573-1076

FAX 03-3575-4009

深澤永仁税理士事務所

税理士

深澤 永仁

(昭和62年卒 明猿会)

〒132-0031

東京都江戸川区松島3-46-16-508

TEL 03-6385-2175

FAX 03-3651-2431

E-mail fukazawa@r8.ucom.ne.jp

TOKYO BELL

株式会社

東京ベル製作所

<http://www.tokyobell.co.jp>

代表取締役

市村 晃一

(昭和62年卒 明猿会)

本社 〒116-0011

東京都荒川区西尾久4-8-4

TEL 03-3893-5741

FAX 03-3800-5081

E-mail : info@tokyobell.co.jp



**私達は明治高校を応援しています！
明治高校卒明治大学職員有志一同**

玉田 英明
石川 恵資
高橋 浩
服部 裕之
廣田 晃一
増岡 寿
松尾 智己
松嶋 俊行
菅 和禎
山本 幸一
滝 晋敏
寺土 博昭
阿部康一郎
高橋 健太
木村 允
佐藤 潤

昭和53年卒
昭和58年卒
昭和58年卒
昭和59年卒
昭和59年卒
昭和60年卒
昭和60年卒
昭和61年卒
昭和63年卒
平成 2 年卒
平成 4 年卒
平成 4 年卒
平成 5 年卒
平成 5 年卒
平成 8 年卒
平成 9 年卒

林 泰三
角 祐二郎
鈴木 亮輔
寺田 雄太
瓜生 泰三
土方 博史
高井 洋
川原 健
小堀 良樹
山本 康太
櫻井 亮
平野 慎
田中 拓樹

平成12年卒
平成13年卒
平成13年卒
平成13年卒
平成14年卒
平成14年卒
平成15年卒
平成17年卒
平成17年卒
平成19年卒
平成20年卒
平成21年卒
平成23年卒

Meiji

めいえんかい

明猿会

昭和62年卒 赤岩 大輔

昨年は諸先生、諸先輩方をはじめ大勢の関係者の皆様のご協力を賜りまして、何とか幹事学年の任務をやり遂げる事が出来ました。多々お世話になり誠に有り難うございました。

第50回という大きな節目での役回りは幸運な事でしたが、その一方で責務の重大さと思うと途中で逃げ出したくなる事もありました。そんな様子を察するかの様に、めげそうになると沢山の先輩が声をかけて下さり、温かいお気持ちに触れて改めて頑張ろうという気持ちになり何とか無事に役目を終える事ができました。幹事学年としての実務は分からない事の連続で、更に前年の先輩方の様子も拝見させて頂いていない不勉強も重なり暗中模索の日々でした。50回の節目に私達もそうでしたが、それ以上に諸先輩方の不安な心中を察しますと相当辛抱強く見守って頂いたのだと思えます。

さて、写真は7月11日土曜日、同期の永瀬守君のお店、江東区森下の

「みの家」で集まった時のものです。この日は恩師の藤田昭造先生、山口弘先生、昭和戊辰乃会から4名、同期16名の合計22名での盛大な会合となりました。美味しい料理とお酒、お酒が進むほどに話はずみ、話は尽きる事無く閉店時間を過ぎたのでお店を変えて深夜まで楽しい宴は続きました。

先生からは今だから聞ける当時の秘話や現在の明治高校の様子などを教えた頂き、共学という環境のややこしさを聞かせて頂く程に、自分達は男子校で良かったなと思えました。今まで集まりの悪かった代ですので、幹事学年が終わればまた集まりは無くなると思っておりましたが、今年も会う機会は多く嬉しく感じています。

日々仕事に追われ気持ちの余裕も失いがちなこの年代で、想い出話やバカ話が出る仲間がいるというのは有難く尊い事です。それも総明会という組織があればこそ出来た事だと思っております。先輩から「どうせやるなら真剣に懸命に、幹事学年を乗り越えろ」と良い事がある」と言われたその言葉の意味が今は良く理解出来ま

す。会社や社会では中堅から後半にさしかかる年代であり、様々なプレッシャーもある中、同窓会という場は貴重です。ここで再会出来た仲間とこれからも同期を一人でも多く集め親交を続けられたらと思います。所在不明者がまだまだ多数おります。昭和62年卒の皆様、是非連絡を下さい。皆で集まり楽しく飲みましょう。連絡お待ちしております。〔連絡先事務局、赤岩大輔 dstkaiwa@altes.or.jp〕





桜なべみの家 永瀬 守

(昭和62年卒 明猿会 水泳部OB)

電話 **3631-8298** (代) ばにくや

毎週木曜日定休

(5月より10月まで第三水曜日も休みます)

営業時間 正午より午後九時迄
二時より四時迄準備中
但し、日・祝日を除く

江東区森下2丁目19番9号 <http://www.e-minoya.jp>



祝 第51回 総明会 総会・懇親会 ガンバレ!! 昭和戊辰乃会

昨年は諸先生方、諸先輩方多くの皆様のご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

今年度の幹事学年、昭和戊辰乃会へのご支援の程宜しくお願い致します。

〈昭和62年卒 明猿会一同〉

半生菓子司
両国とし田
年田善政
(昭和62年卒 明猿会)
バスケットボール部OB



特製“総明会”
焼き印入り



〒130-0026 東京都墨田区両国4-32-19

TEL: 03(3631)5928 FAX: 03(3631)5019

E-mail: v3qe2krr5uejjj2xhgb@docomo.ne.jp

http://members2.jcom.home.ne.jp/toshida/

鈴木税務会計事務所

<http://www.suzux.biz>

税理士

AFPファイナンシャルプランナー

初級システムアドミニストレーター



日本FP協会会員



鈴木 克俊

(昭和62年卒 明猿会)

〒263-0015

千葉市稲毛区作草部1-1-86

TEL 043-290-1735 FAX 043-290-1736

E-mail katsu@suzux.biz



株式会社 千葉発條製作所

各種精密コイルバネ及び板バネ製造

Chiba Spring Co., Ltd. E-Mail: chiba_spring@ybb.ne.jp

専務取締役 **米本和憲** (昭和62年卒 明猿会)
Kazunori Yonemoto

〒136-0072 東京都江東区大島2-16-15

TEL: 03-3682-7596 FAX: 03-3682-3197

みとしろ法律事務所

弁護士

山崎 雄一郎

(昭和62年卒 明猿会)

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町2-1-8

竹橋ビル2階

TEL 03-5282-3216

FAX 03-5282-3217

E-mail qwp01536@nifty.com

<http://mitoshiro-law.jp/>



すき焼き割烹 創業明治12年

以し格

五代目 石橋 伸介

(昭和62年卒 明猿会)

E-mail: ishibashi@abs.ne.jp

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-8

TEL: 03-3251-3580 FAX: 03-3251-4429

蕎麦

案山子

山田 健人

(平成元年卒 改元会)

東京都港区芝2-12-9 波ビル 1F

Tel. 03-6272-4416

株式会社
ネクスト・コミュニケーションズ

富沢 康弘

(平成3年卒)

〒104-0061

東京都中央区銀座1-27-10

ザ・アソシエイトビル2F

TEL: 03-5524-3077

FAX: 03-5524-3088

E-mail: ytomisawa@nextcom.jp



平成3年卒

専務取締役

廣田 拓郎

東京都台東区浅草橋2-13-9

TEL: 03-3861-5151

<http://www.lightec-inc.jp/>

天の川 花長

本多由明(S36年卒)

彦蔵(H2年卒)

〒144-0033

東京都大田区東糀谷3-4-11

Tel: 03-6808-7021



月～金 昼11:30～13:30

月～金 夜17:30～20:30

(日曜日の夜は営業(要予約))

倉持法律事務所

弁護士 倉持政勝

(平成3年卒・硬式野球部)

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3-13-3

興和日本橋ビル2階

電話: 03-5614-1420

FAX: 03-5614-1421

<http://www.kuramochi-law.jp>

太平洋セメント株式会社特約店
生コン・壁材料・左官工具及機械

有限会社 福田商店

専務取締役 和田康正

(平成5年卒・バスケ部)

本社 東京都墨田区向島1-32-8

事務所 東京都墨田区押上2-7-8

倉庫 TEL 03-3625-3309

FAX 03-3625-8395

SAKURA Group

株式会社SAKURA-TRUST

代表取締役 熊木達朗

(平成6年卒)

〒105-0012

東京都港区芝大門1-5-2須田ビル3F

TEL 03-5472-7400 FAX 03-5472-3500

関連会社 株式会社さくら航産

株式会社さくら管財



大正13年創業。ご要望の建築資材を、ご要望どおりに。
オオモリ・マテリクスは、お客様に「信頼」をお届けしています。

株式会社オオモリ・マテリクス

代表取締役 大森清嗣(長男 大森貴之 平成21年卒 野球部OB)

本社 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番

TEL 03-3253-9411 FAX 03-3253-9418

営業本部 〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号

TEL 03-5534-7700 FAX 03-5534-7708



しょうわぼしんのかい

昭和戊辰乃会

昭和63年卒 尾崎 博之

本年度の幹事学年を務めております

昭和戊辰乃会です。テーマを「51年目の挑戦」として、総明会を次の50年に導く学年として、現在(6月)、会報作成、寄付広告集め、総会懇親会企画考案と第一次のピークの忙しさを迎えています。私たちは4年前から同窓会を毎年行い、幹事学年になる1年前から毎月集まれるメンバーで集まり、徐々に話し合いを進めてきました。そして、2014年12月の引継式にて前幹事学年の明徳会の先輩方から引

継ぎを受けました。正直、いよいよ

我々の学年の本番がスタートと思うと不安に駆られました。しかし、今はそんな心配は取り越し苦労だったと思います。実行委員長の安川、副実行委員長的光岡が中心になり会をまとめ、各委員会の同期のみんなが実によく動いてくれ、一つひとつ形にしていってくれています。また、先輩方からも多くのアドバイス、サポートをいただき、さらには飲み代のサポートまでいた

だいています(笑)。本当に感謝です!

私たちは昭和最後の卒業生でこれ以降は平成の卒業生になっていきます。昭和から平成とひとつの時代の変化であります。さらに、総明会も昨年50周年を終え、新たな50年に向かっていきます。この新たな時代の幕開けに、私たちは今まであまり参加して来なかった幹事学年より若い年代にたくさん参加してもらうことを目指しています。そのための企画や仕掛けを会報、総会懇親会に盛り込んでいます。そして、その一環で今年の総会懇親会の場所を、調布移転前の世代にとつて、青春時代を過ごした思い出の場所である「御茶ノ水」にし、明治大学の施設であるアカデミーコモンを選びました。誰もが楽しめ、「来てよかった!」と言ってもらえる会に必ずしますので、11月7日(土)みなさん、絶対に来てください!!

最後にこの幹事学年をやらせていただき、同期はもちろん、素敵な先輩方、そして後輩に改めて出会えたことに本当に感謝します。この総明会幹事学年の経験と

いうのは人生の大きな節目になる素晴らしいものであることを実感しています。私たちの人生も新たな「46年目の挑戦」になつていきます!

ありがとうございます。



感性豊かで高品質なカットソー製品を新しい切り口でご提供致します。



株式会社ティアンドティ

〒133-0053 東京都江戸川区北篠崎2-3-23

電話 03-3677-1801 FAX 03-3678-7162

代表取締役 **安川琢哉**（昭和63年卒 昭和戊辰乃会）

○自社工場：江戸川サンプル工場、秋田比内工場
秋田鹿角工場、千葉東金工場



顧客満足度を高める事を基本に
メイドインジャパンにあえてこ
だわり続け、それを理解、納得
して選んでいただける企業を目
指しております。



アパレル・ファッションの資材サポーター

株式会社 クロップオザキ

代表取締役社長 **尾崎博之**（昭和63年卒 昭和戊辰乃会）

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-9-16 アクト 21 ビル

ショールーム 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-10-7 セックオフコムビル 1F

電話 03-5820-0741 (代表) FAX 03-5820-0742 <http://www.cropozaki.com>

「ふぞくやのブログ」毎日更新中！

🔍 クロップオザキ

検 索



SHIP

SHIP INC.

会長 森田浩章

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

www.ship.co.jp

かいげんかい

改元会

平成元年卒 杉山 純也

昭和64年1月7日 昭和最後の日で
した。

その日は朝から静まりかえり街から
音楽や映像が消え照明も暗く、確かど
んよりとした曇り空だったと記憶して
おります。

翌1月8日、当時の小淵官房長官が
新年号「平成」を発表しました。

そんな年号が変わるという人生でも
稀な経験をした年の3月10日に私たち
は明治大学付属明治高等学校を卒業
しました。その後の26年間には阪
神淡路・中越・東日本など大震
災が発生し、WBCではサムライ
ジャパンが2連覇を達成し、なで
しこジャパンは女子ワールドカッ
プを制覇しました。しかし、私達
は一度も全員が一堂に会する同窓
会を開かずに時が過ぎておりま
した。

そして、来年度の総明会総会・
懇親会の幹事を担う私達は平成
26年12月28日同期会を初めて開

催しました。4名の恩師にもご参加頂
き総勢46名もの友人が集まってくれま
した。

26年の歳月は長く貴重な期間である
とともに非常に残酷で、多くの仲間の
容姿を判別し高校卒業時の姿と照合す
るのに少しの時間が必要だったことは
言うまでもありません。しかし、そこは
一生涯忘れることのない明治という名
の元に数年間を一緒に過ごした友人で、
固まった空気と強張った顔は瞬時に解
け中学・高校に戻れるものです。同窓会
を企画してくれた齋藤雅信くんが用意
してくれた卒業アルバムの写真や上原
くんが隠し持っていた修学旅行の秘蔵
映像を見ながら楽しい時間を過ごすこ
とができました。また写真を掲載した
松平くんが着用していたMEIJIの
バックプリントされたジャージは秀逸で
した。そして、同窓会では我々の同期会
の名称を元号が変わった年に卒業した
ことから、元号を改める会「改元会」と
することを全会一致で決定致しました。

卒業時253名いた同期の仲間の多
くは未だ連絡することすら出来ない
状況ですが、これから約1年間をかけ
て1名つつ仲間を増やし来年度の総明
会総会・懇親会の幹事に楽しく挑戦し
ていきたいと思います。

この記事を読んでくれた平成元年3
月10日に一緒に卒業した明治高校生！
是非！再び集まりましょう！いつでも
お待ちしております！



2016 年（平成 28 年）総明会幹事学年（平成元年卒）



嗚呼、改元会。色なし恋なし情けあり。嗚呼、改元会。今日も行く。

続きはWEBで！



kaigenkai.org

改元会

検索

代表 村嶋 健児

有限会社 三友金型

代表取締役

小柳貴裕 バスケット部OB
改元会(平成元年卒)

東京都墨田区東向島6-25-13

TEL. 03-3617-6683

FAX. 03-3610-1299

E-mail sannyyuu@tj9.so-net.ne.jp

ゴム金型 設計・製作 短納期対応

業 種

マシニングセンター加工

NCフライス加工

NC放電加工

V33.V56.高速加工

U-GRAPH3次元コンピュータ



ロテレ スッキリ!! 毎週火曜日9:30出演中

株式会社 西原不動産鑑定は、鑑定評価により高度な専門知識をクライアント様に提供することを通じ、社会に貢献できる会社を目指しています。

株式会社 西原不動産鑑定

代表取締役 不動産鑑定士

西原 崇 (平成元年卒・改元会)

東京都中央区銀座2-12-3 ライトビル5階

TEL 03-3524-1715 FAX 03-3524-1716

E-mail: takashi.nishihara@n-rea.com

http://www.n-rea.com

めいゆうかい

明雄会

平成22年卒 亀屋 将紀

今回は私たちの代の「つながり」について書かせていただきました（さまたまな人が読む可能性があるのでお堅い文になってしまうかもしれませんが御容赦を！）。

みんなにアンケートを取ってから書いたわけではないので、読んでみて違うのでは？と思う人もいるかもしれません。

ですが、私としては、これをきつかけに同期のみんなとのつながりを思い出し、考え、またみんなで会う機会を作ることの一助となれば幸いです。

では本題。私たちの代の「つながり」は入学のタイミングがいつかという隔てがないこと。そして、必ずみんなが結び付けられること。この2つが強みだと思います。

まずは入学のタイミングがいつかという隔てがないこと。他学年を見たり、話を聞いたりすると高校から入学した人は中学からいる人のコミュニティに入りにくく、同期会にも行きにくいなどという

ことが多いようです。

確かに私たちも高校1年になったばかりの頃は、教室内と廊下とで別れてしまっていました。しかし、それも最初のうちで、しばらくすると、どうも初めて会った気がしないと感じた人は多いのではないのでしょうか。行事や日々の会話など、これは思い出してもらうのが一番早いかと思います。そして、必ずみんなが結び付けられること。

さすがに学年内のすべての人と話したことがあり、さらに全員の名前が思い出せる！という人はそうはいないでしょう。部活単位等のコミュニティが日々の主な交友関係だったのではないかと思います。

ただ、その中で各コミュニティ同士が繋がっていたり、そうでなくともその橋渡しができる存在がいいたりすると思います。直接はあまり関わったことがなかったとしても、何かで繋がっている。私はそう感じます。

字数に限りがありますので、思いを表現しきれない部分は多々ありますが、以

上が私たちの「つながり」なのではないかと思えます。これらがあつたおかげで、昨年の3月の同期会は100人以上も集まることのできたのだと信じています。

仕事等で地理的に離れてしまった人も多くいると思いますが、心はそうではありません。機会は作ります。また会いましょう！



Tax·Is

税理士法人 タックス・アイズ

代表社員 五十嵐明彦(平成6年卒)

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-28 フォーラス神田3F

TEL: 03-3255-0551 FAX: 03-3255-0552

子どもに迷惑
かけたくなければ
相続の準備は
自分でしなさい

親が読む相続の本

法律が変ります!
いよいよ平成28
来年1月スタート
大反響!!
7万部
突破!

五十嵐明彦

「相続税、
私が払うの?」
とあわてる前に
子どもがやるべき
相続準備の本

子どもが読む相続の本

法律が変ります!
いよいよ平成28
来年1月スタート
今すぐ
はじめて
かしく
読め!

五十嵐明彦

プレミアム大吟醸酒「男坂」総明会会員限定販売申込書 FAX0259-87-3105

氏名

お届け先

TEL

申込内容 720ml @2,000円
【税込 2,160円】

本

男坂

お申込みいただく際は、本ページ
をコピーして、必要事項をご記入
の上、FAXにてお願い致します。
尚、お支払いはクロネコヤマトコレ
クト(代引)となります。
「商品代金+送料+手数料」株式会社 北雪酒造
新潟県佐渡市徳和2377番地2
TEL0259-87-3105 FAX0259-87-3173

SURPASS

サーパス工業株式会社

代表取締役社長 今井高志(平成5年卒)

〒361-0037 埼玉県行田市下忍2203

Tel.048-554-9760(代表) Fax.048-554-9906

e-mail t-imai@surpassindustry.co.jp

和装小物

有限会社 滝兵商店

代表取締役 滝沢 修
昭和63年卒 昭和戊辰乃会

TEL. 03-3876-2527

東京都台東区今戸 2-23-15

結婚相談所

ライズブライダル東京

IBJ(日本結婚相談所連盟)加盟店

ご本人、ご家族の相談
無料で承ります。

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘 5-28-2

Tel. 03-6753-7727

ライズブライダル

検索

川口市・蕨市のお部屋さがしは八光商事へ

株式会社 八光商事

代表取締役 田中一任

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会 硬式野球部OB)

〒335-0002 埼玉県蕨市塚越2-3-1

電話 048-441-8583

FAX 048-444-3928

きょうがくかい

共楽会

平成23年卒 三浦 直人

ついこの間まで、我々の同期会には名前がありませんでした。鈴木孝夫『ことばと文化』に、「そこにものがあっても、それを指す適切なことばがない場合、そのものが目に入らないことすらある」という一文があります。まさしくその通りで、我々平成二十三年卒は、名を持たぬがゆえに、これまで活動しているのか否かさえも知られていませんでした。評議員の平田君とは、大学のキャンパスで顔を合わせる度に、「そろそろ名前を決めない」と言い合うのがお決まりになっていました。しかし、今は違います。我々の学年はここに、『共楽会(きょうがくかい)』として再始動したのです。

命名がなされたのは、平成27年3月3日。母校の一角を借りて開催された、平成23年卒同期会(写真)の席上です。幹事の不手際もあり、参加した卒業生は全部で17名。共学化初年度の学年にも関わらず、女子0名。ただ、

人数こそ少なかったものの、「二人ひとりの顔が見える」アットホームな雰囲気のおとなりました。これはこれで成功だと聞き直っておきましょう。

お忙しい中、お世話になった先生方や、総明会の先輩方にもお越しいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。我々と共に明治高校を「卒業」された矢田理世先生も、娘さんを連れて駆け付けてくださいました。なお当日、幹事の平田君より、学年主任を務めてくださった粟野哲也先生、鈴木康巳先生のお二方に、「紫紺褒章」が授与されたことを、ご報告いたします(粟野先生はご都合が合わなかったために、同窓会開始前に授与)。

さて、会の命名についてですが、今回は、幹事から五つの候補を提示し、多数決をとりました。二つ上の「明雄会」が傑作だったこともあり、幹事・参加者ともに頭を悩ませましたが、共学化初年度のアイデンティティを生かささないわけにはいかない、ということで、冒頭の「共楽

会」に落ち着きました。当日ご参加いただいた「名付け親」の皆さん、本当に有難うございました。

「共楽会」としての正式な活動第一号は、6月13日の「OB・OG進路相談会」のお手伝いでした。「名前負け」の失態に陥らないよう、これから我々は、それぞれの道を歩んでいきます。



應援團OB会

昭和63年卒 幹事長 光岡 孝之

明治高等学校応援指導班は、現役諸君の活躍により団員数は50名を超え、日々の活躍はもとより、その存在は時にマスコミにも注目されるほどである。現役諸君、顧問、学校関係者、保護者の皆様にはOB会としても常に感謝しております。

そのような中、OB会は「若手OB・OGの活躍の場を作る」ことを1年間の基本方針として活動してきた。その結果、夏合宿では、現役諸君を交えた若手OB・OG主導のBBQ大会、年末には平成年代卒業生の望年会(忘年会)、OB会報の製作・発行、また、OB総会後の懇親会は大学生と20代のOB・OGによる企画・運営など、今まで以上に活気に溢れた活動や現役との交流を行うことができた。余談ではあるが、今後の懇親会は、社会人2年目による企画運営と、新社会人と新大生による近況報告が永年のルールとなった。どのような団体においても「若返り」は

重要かつ大きな課題となっている。母校は100年、総明会は50年を超え、應援團も近く70年を迎える伝統校であるが故、この課題は避けることはできない。

若手の登用には、時として先輩諸兄の寛大なご理解と譲歩が不可欠であるが、そこは互いに胸に輝く金バッヂをつけ、青春を謳歌した仲間である。日頃より温かく見守り「応援団とOB会がいつまでも続くように」と願われている先輩方の思い



を伝え、育む活動を今後も続けていきたいと思う。また、その思いに応えようとしている若手諸君にも感謝の念に堪えない。



図書班OB会

昭和62年卒 鈴木 賢志

今年の図書班OB会は、これまで長らくご参加のなかった昭和58年ご卒業以降の先輩方とともに私も初めて参加させていただきます。そこでは、現在の図書班の活躍から昔の図書班の逸話まで、様々なお話しをうかがいましたので、ここでは、それらについて紹介させていただきます。

まず現在の図書班について。昨年、朝日新聞が主催している「第5回どくしよ甲子園」で、全国からの応募396点の中で最優秀賞を獲得したそうです。その効果もあつてか、今年の新入班員は20名にも及んだとのこと、OB一同大変誇らしい思いです。

さらに昭和45年ご卒業の平田幸彦先輩の『ポトマック先生の花づくり12カ月』が本年6月の発売以来、大変な評判を呼んでいらつしやるとのこと、これもまたOB一同喜びを分かち合いました。

それにしても、このようなご活躍だけを取り上げると、図書班というのは何というインテリの集まりだ

ろう、と思われてしまうかもしれません。いや、それを否定するつもりはないのですが、昔話で思い起こされるのは、およそ「図書班」のイメージとはかけ離れた活動ばかりでした。

たとえば、よく北の丸公園まで走らされました。その理由は「本ばかり読んでいては運動不足になるから」ということだと思うのですが、実は活動中にあまり本を読んだ記憶がありません(笑)。

合宿では、読書会という図書班らしいイベントもありましたが、私を含めOBの皆さんが覚えていらつしやるのは、目がくらむほど大量のご飯をお腹に詰め込んだことだけのようです。そうなんです。私たちの頃の図書班は「スポーツをやらない体育会」だったのです。意味がわからない?そうですよ。OB会でも「いくら妻や子どもに話してもわかってくれない」という声が続出していました(ちなみに私は図書班だったことを話していません)。

さりながら、あれはあれで良かったな、訳のわからないことでも頑張れる根性は、図

書班で身に付けたな、とOB会に参加してしみじみ思いました。また来年も、どうぞよろしく願います!

祝 第五十一回総会総会・懇親会

図書班 OB・OG会

連絡先 平田 幸彦
TEL: 03-3589-0687

連絡先 大西 静士郎
TEL: 090-2243-2135



祝 第51回 総明会総会 明治大学付属明治高等学校 應援團OB会

会 長 大関 清人(昭和40年卒)

副会長 廣野 宏士(昭和47年卒) 副会長 三森 勳(昭和50年卒)
副会長 春山 愛美(平成23年卒) 幹事長 光岡 孝之(昭和63年卒)

<http://www.geocities.co.jp/meijivolley/>

HP担当 阿部 徹也 (H11卒)

会 計 加藤 裕司 (H8卒)

若手育成担当 安藤 信夫 (S56卒)

事務局長補佐 山本 直之 (H8卒)

事務局長補佐 樋田 哲次 (S52卒)

事務局長 酒井 孝憲 (S40卒)

幹事長補佐 岩崎 広人 (S57卒)

幹事長 服部 雄二 (S44卒)

副会長 岡永 健二 (H4卒)

副会長 小川 滋 (S44卒)

会 長 片山 眞 (S39卒)

顧問 山中禎一郎先生

祝 第51回総明会総会
明治高校バレー部OB会



白雲なびく
ROUTE INN HOTELS

ルートインジャパン㈱ / ルートイン開発㈱ / ㈱アークホテル
 ㈱姫路キャッスルホテル / 徳島ホテルリゾート㈱
 阿蘇ゴルフアンドリゾート㈱ / 上田リゾート観光㈱
 サイパン・ホテル・コーポレーション

放送班OB会

昭和57年卒 宮田 健

放送班OB会のうち、昭和53年から昭和61年卒業生を中心とした有志で、当時の放送班顧問の恩師 故 田村晴彦先生の命日(5月17日)にあわせ毎年5月の第3土曜日に先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っております。

今年の第3土曜日は5月16日で、計8名が参加した会となりました。この墓参会は、毎年恒例の分かりやすい日程にと、開催日や、集合場所を同じくしています。集合は田町駅前某コー

ヒー店前に16時。1年ぶりの先輩、後輩も多いのですが、顔を見た瞬間に毎日会っているかの様に会話が始まります。OB会が良かったと思える瞬間、そしてこの機会を作って下さっている先生に毎年感謝する瞬間でもあります。今年は、幹事学年の昭和戊辰乃会から諸井君も参加して下さいました。早速タクシーに分乗し、先生の眠る長久寺へ移動し

ました。墓所では、清掃道具を手取るなど打ち合わせも不要、手慣れたものです。各自手を合わせて先生に近況を報告、門前で写真を撮り恒例の墓参りを終えました。

その後、これまた恒例の麻布十番に場所を移して開催した懇親会では、時の経つのも忘れ現役時代の思い出話に花を咲かせました。今年は二次会に向かったメンバーもいたらしい。私は、翌日仕事のため泣く泣く帰宅しました。

今後も、放送班OBに限らず、故田村先生にゆかりのある方には気軽に参加して頂き、ともに楽しい時間を過ごしたいと思います。間違いなく先生も喜んで下さるはずです。「来年は自分も!」とお考えの皆さま。どうぞお気軽にご参加ください。興味のある方は、同期の放送班OBなどにご連絡ください。いや、突然コーヒー店の前においていただいてももちろん歓迎です。来年は、5月21日です。皆さんお忘れなく。



けんしんかい 剣道部OB会 見心会

金子 晃久
昭和51年卒

『剣道部OB・OG会』見心会 の遠出稽古を振り返って』

本年の総明会のメインテーマは「51年目の挑戦」と掲げられています。正に、50年という大きな節目を経て、新たに51年目に入つて更なる発展への足掛かりになる年ではないかと思えます。

さて、見心会は現役部員への指導力向上と同時にOB・OGの相互の親睦を図る為、本年2月21日から22日にかけて、茨城県筑波総合体育館剣道場にて、矢光見心会会長の伝手により剣道範士8段の近先生に指導を受けることができました。当初稽古時間は分らず、私は勝手に通常の2時間位と予想しましたが、ランニング・日本剣道形から始まり、延々と3時間稽古が続きました。こうした先輩や後輩に囲まれての稽古風景は、昔の剣道部での厳しい部活生活を彷彿とさせました。稽古中は、「稽古全体の時間を読み取り、ぎりぎり余力を残して稽古をする」といった自分の悪い癖が出る一方

で、60代、70代の先輩方はそのような素振りも見せず、二つ三つの稽古に全力で取り組んでおられ、自分の考えの甘さを実感させられました。今回の遠出稽古では初めてOGも参加し、一緒に稽古ができ、これからの（51年目からの）見心会も更に活性化し、充実していく予兆を感じました。もちろん、夜は宴会が開かれ、稽古に参加できなかったメンバーも加わり、昔話や明治中学・高校剣道部への熱い想いの話に花が咲き

ました。こうした我々の思いは今後現役の部員にも語り継いでいくと共に、剣道は竹刀のたたき合いではなく、厳しい中にもお互いを尊敬できる関係に基づいてすべてが成り立っているということも同時に伝え続ける必要があると思います。この関係を継続していける見心会・剣道部でありたいと願っています。



見 心 会

明治高校剣道部OB・OG会

会 長	矢 光	善 美	幹 事	長 村	茂
副会長	中 島	健 一	監 計	羽 田	雄 孝
副会長	鈴 木	幸 男	会	伊 藤	直

硬式野球部OB会

めいきゅうかい

明球会 一泉 二郎

校長先生始め学校関係者の皆様からの日頃よりのご支援に深く感謝申し上げます。引続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

会員並びに関係者の皆様からは、今期も毎回の会費納入に加えて、多くのご寄付・広告掲載を頂きまして誠に有難うございます。

今夏の野球部は7月19日に惜しくも世田谷学園に負けてしまいましたが、秋以降の活躍を祈念致しております。

昨年11月に遠藤明氏(昭和31年卒)とお会いしました。苦しくも楽しいお話を沢山頂きました。「島岡先生」「美山誠先輩」「河村実義監督」の厳しい指導の下、『精神野球』『明治魂』を身に付け、東京都春季大会で早実を降し優勝。しかし、強かったんだなあと改めて感心し、少人数でもこれだけ強いと尚のこと感激致しました。また、4年前の明治高校硬式野球部創部80周年記念式典にもご参加頂きまして誠に有難うございました。

本年4月には高野清氏(昭和42年卒)とお会いしました。とてもとても熱い多くのお話をお聞きしました。甲子園の左打席でのレフト線へのヒットを始め「大溪弘文監督」と「博子夫人」のお陰で人生の礎を築くことが出来、野球部長でいらした「福島則雄先生」からの『番出席率の厳しい学部を選びなさい』の一言が高野清氏の人生を光り輝かせたのだと思いました。

お二方とも今も明治高校野球部が大好きで、熱烈に応援していらっしゃいます。お二方とお会いして、明治高校出身者の資質の高さを今回も感じました。世間の人物評価に於いて昨今出身高校を重視する訳が解る気が致します。

日経の私の履歴書 平成27年1月8・9・10日)で、王貞治氏の「進路を変えた高三の夏の敗北」、その後の村田元二氏(昭和32年卒)との対戦等々を読みまして明治高校野球部の歴史の重みを改めて感じました。その村田元二氏も野球の指導者として情熱的に若々しくご活躍していらっしゃいます。



野球部OBは勿論、高野連の方々も含めましてどれだけ多くの方々が明治高校硬式野球部を応援しているのかと感じます。この応援を受けて現役選手はプレーをしているのだと改めて感じます。

明治高校硬式野球部は今年で創部84年。創部90周年が次の節目です。

明治高校硬式野球部OBの皆様におかれましては、色々な思いが致しますでしょうが、明球会の活動への尚一層のご参加をお待ち致しております。

硬式野球部OB会
明球会

会長 一泉二郎 (昭和51年卒)

事務局 染谷貴男 090-3205-9735

明雪会
スキー部OB会

会 長 堀 眞壽（昭46年卒）

副会長 戸張 毅（昭47年卒）

副会長 沼田 哲明（昭50年卒）

名誉会長 若松 弘昌（昭39年卒）

顧問 大津富士男（昭28年卒）

// 佐藤 健一（昭31年卒）

大出 育男（昭31年卒）

藤井英一（昭32年卒）

山田 和孝（昭36年卒）

小山 雅司（昭37年卒）

井上進治（昭38年卒）

幹事 新橋 広幸（昭50年卒）

服部 憲一（昭50年卒）

岡本 雅仁（昭51年卒）

事務局 五十嵐公一（昭54年卒）

// 菅野 栄一（昭55年卒）

吉口市郎（昭55年卒）

狩野智雄（昭56年卒）

鳴海告對（昭57年卒）

深谷 則(昭2年卒)

中澤彰次郎(昭25卒)

中澤章次良（明6全五）
町田成（享0三六）

自田 諒(平1年卒)

がんばりました!!

ターハイ3名出場
関東大会8名出場 決定

明高写真部OB会

私たちは総明会の記録を撮りつづけております。
写真部OBの皆さん、これからも一緒に総明会の記録を
撮りつづけていきましょう！ご連絡お待ちしております

写真部OB会発足委員 **栗田 茂** (昭和44年卒)

連絡先: 携帯 090-3138-5692 FAX 03-3677-2425

E-mail: kurishige@pop12.odn.ne.jp



祝 第51回総明会総会

明治高等学校卓球部OB会

〈明卓OB会〉

会長 佐藤信征(昭和39年卒)

株式会社グンジ

代表取締役 郡司晃浩
(昭和 63 年卒 昭和戊辰乃会)

硬式野球部 OB

埼玉県草加市新里町 1192-1

TEL. 048-927-2643

FAX. 048-927-2792

水泳部OB会 明水会

昭和58年卒 浅見 尚次郎

『2万メートルへ!』

朝4時半から始まる早朝練習。意識がもうろうとし、挨拶以外一言も話す気力もないまま1500mのアップ。その後もキック、プルなどトータル4000m。朝食後の午前練で6000m泳ぎ、締めくくりは午後練での1000m×1000本の1万メートル。20本目、50本目、70本目…。泳いでも泳いでも、先が見えず、肩が張り、もうひとかきも出来ないといくじけそうになる練習の後半、OBの方々

の叱咤激励が響きわたる。ラスト1000本目をどんな気持ちで泳いだのかが不思議と思いつせず、気がつけば2万メートルの練習を終え、プールサイドで声の限りに挨拶をしていた…。

もう35年も前の合宿の一日が、当時の仲間や後輩たちの姿と共に鮮やかに思い出されることがあります。今振り返れば、速くなるために練習するという意識でなく、練習を終わらせるために泳い

でいただけなのかもしれません。記録を伸ばすためには、もつと違った練習方法や取り組みもあったのだと思います。それでも、厳しい練習後の充実感、そして、水泳は個人競技ではあるけれど、練習をこなすうちに生まれてきた一体感は、大切な思い出であり、なによりも2万メートル泳いだという、ほんの小さな自信は、時として大きな心の支えとなつています。学校に活動場所がないため、日頃の成果を見てもらうことはありませんでしたが、真つ黒に日焼けして新学期をむかえると、先生方から「頑張ってるな!」と声をかけてもらったものです。

しかしこれも、90年を超える水泳部の歴史の、たつた6年間の個人的な記憶にすぎません。明水会には、もつと素晴らしいエピソードをお持ちの方がたくさんいらっしゃると思います。さらに言えば、総明会のすべての方が、クラブや学年においてそれぞれのエピソードを持たれているのだと思います。そして、それらのひとつひとつが総明会にとつての「財産」なのだ

と感じています。明水会、そして総明会での集いが、輝いた青春の1ページを振り返る場となり、そのネットワークが大きく広がっていくことを願つてやみません。



フェンシング部OB会

昭和41年卒 岩重 哲雄

フェンシング部復活の夢を実現へ

総明会51年という事です。が、我々フェンシング部は昭和28年に愛好会として発足し、昭和40年に部に昇格しましたが、昭和49年卒業生を最後に活動が途絶えて廃部になってしまいました。発足以来、活動が継続していれば51年目の総明会を超える62年目を迎えられていたはずですが、昭和49年以降41年間も明治中学・明治高校にフェンシングが消えてしまっています。OBとしては、「いったいどうしたのだ？何でフェンシングをやる生徒がいらないのだ？」と言いたくなります。我々の時代、学校には練習場がなく、大学と同じお茶の水であった為、明大旧記念館4階体育館にて体育会フェンシング部の大学生の指導の下、活動をしていました。明大フェンシング部は学生界ではトップレベルで、関東大学リーグ戦では二部リーグから降格したことが無い名門フェンシング部でした。昭和39年の東京オリンピックでは、フェンシング競技に

て監督・コーチ、選手を送り出し、2年後の東京ユニバーシアードでは明治高校卒業生も出場しました。そういう環境の下で明大生に指導を受けて、我々明治高校フェンシング部は高校ではトップレベルを長年維持し、インターハイ出場も常連で、優勝・準優勝も経験した事もあるのです。

今、大学側もこのような学業も含めたハイレベルなアスリートを育成しようと、体育会全運動部で、付属高校の底上げを目指して立ち上がり、育成・指導のバックアップ体制を整えております。現体育会の監督会会長の井原健三氏(昭和40年卒、日本フェンシング協会副会長)が、明治高校出身である事から、その育成事業のスタートとして、中学校側と総明会の協力を得て、フェンシングをアピールさせてもらい、今年の新入生3名の練習指導が始まりました。先述の通り、明大体育会全運動部が育成・指導に協力する準備が出来ているので、今後明治中学・明治高校から世界レベルのアスリートが生まれるのも夢では無くなつて参りました。



バスケ部 OB会

昭和58年卒 門川 隆之

毎年恒例の明治高校バスケット部OB会総会が、平成26年9月7日に調布に移転した母校で行われました。明治高校・中学校バスケット部OB会では、年に1回のOB総会と親睦ゴルフコンペを行っています。

OB総会では、最初に現役対若手OB、年齢でOBを数チームに分けたOB対OBの試合を行います。1年に1回、バスケットボールをやりたくて集まるOBもたくさんいて、今でも元気な動きでプレーをする56歳のOBの先輩もいます。

試合が終わると体育館で集合写真を撮り、その後別室に移り1年間の活動報告、決算報告を終え、新しくOB会に入った大学生の紹介を行い懇親会が行われます。新たにOB会に入った大学生から80歳近いOBまでが集まり懇親する、バスケット部の歴史、絆の深さを改めて感じます。

一方、懇親ゴルフコンペは「ルー

ズボールゴルフコンペ」という名称で、毎年秋に行われます。年齢の関係で、もうバスケットはできないというOBのために「それじゃ、ゴルフでも」ということで開催されました。コンペの名称である「ルーズボール」とは最近ではバスケット部出身者以外のメンバーの方にも参加いただき、楽しい1日を過ごして懇親を図っています。

バスケット部OB会のスローガンである「現役のために」。現役選手のためにいろいろな面で支援し、試合では1つでも多く勝ってもらい、人間的にも成長して欲しいという思い、これからも受け継がれていくでしょう。

個人的な話にはなりますが、今年地元中学に入った娘が、なんとバスケット部に入部したのです。想定外の展開に、4月からは中学バスケットの試合を観戦する週末になっています。バスケットを引退して33年、OB会とは別にまたバスケットに関わるようになったのは何かの縁を感じています。



プルデンシャル生命は世界最大級の金融サービス機関 プルデンシャル・ファイナンシャルの一員です

プルデンシャル生命は1987年10月に設立されました。
1875年米国で創業、135年以上の歴史を誇るプルデンシャル・
ファイナンシャルグループの一員として「人間愛・家族愛」の基本
理念を受け継ぎ、生命保険の専門家であるライフプランナー[®] が
オーダーメイドの生命保険をお届けするということにこだわって
まいりました。

※「ライフプランナー」はザ・プルデンシャル・インシュアランス・
カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。



プルデンシャル生命保険

本社所在地：東京都千代田区永田町2-13-10

<http://www.prudential.co.jp>

首都圏第一支社	支社長	深谷	剣 (S62年卒)
横浜西支社	ライフプランナー	光岡	孝之 (S63年卒)
銀座支社	ライフプランナー	高山	剛 (H2年卒)
銀座支社	営業所長	富樫	展広 (H4年卒)
本社	営業教育開発チーム	八巻	隆洋 (H10年卒)



明治高校バスケット部 OB OG 会

めざせ!! インターハイ出場! 行くぞ! 関東大会!

OB会会長	吉田	博 (S51卒)
副会長	米田	晴彦 (S53卒)
	木戸	基満 (S57卒)
	山下	康彦 (H4卒)

総務部長
木戸 基満
(S57卒)

RBC部長
小柳 貴裕
(平成元年卒)

財務部長
門川 隆之
(S58卒)

監査
並木 功
(S58卒)

歴史研究部OB会

昭和63年卒 山下 征隆

歴史研究部OB会、その歴史は古く初代OB（昭和25年卒業）を輩出してより、実に66年の歴史を有しております。

今年2月21日（土）に開催された歴史研究部OB会が開催されました。昭和25年卒業（初代OB）の先輩を筆頭に、平成18年卒業（第57期）の後輩まで、56年間の広い年代の歴史研究部OB 23名が出席して会は大変賑わっております。

50年以上の時代を過ぎ先輩後輩が会する場があり、連綿と続けられてきたOB会は大きな財産だと改めて感じました。

特に感じ入った諸先輩の話としては、「江戸城天守を再建する会」の話です。

現在、皇居の東御苑には、その台座だけ残されていますが、かつては五重五階の日本一壮大で美しい天守閣（寛永度天守）が存在しておりました。しかし、1657年の明暦の大火で焼失

し、その後360年以上再建されていません。この天守閣を「2020年のオリンピックまでに再建し、日本の新しいシンボルにしたい」と願う人々が集まりNPO法人が設立されています。これが「江戸城天守を再建する会」です。この法人へ個人で加盟している先輩から、同法人をOB会に紹介されたところ、OB会を挙げて加盟しようという気運が一気に高まりました。その様子からは、先輩方の歴史研究に対する姿勢が、今も昔も変わらず熱心で真摯なこと、歴史研究を通じて一つになれる素晴らしさがあることを感じました。

歴史研究部の現役生は3名が所属しています。部員数が減少傾向にあるといった、若干寂しい状況ですが、歴史研究部OB会は、心から現役生を応援してまいります。そして今後も、長い歴史に裏打ちされたOB同士の縦のつながり、横のつながりを大切にしてまいります。



祝 第51回総明会総会
がんばれ昭和戊辰乃会

歴史研究部OB会

会長 鴨下 裕彦(昭和56年卒) 事務局 渡辺 隆之(昭和59年卒)
副会長 白畑 尚志(昭和56年卒) 事務局兼会計 土田 正昭(昭和61年卒)
副会長 安達 俊幸(昭和57年卒)

明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 高澤 邦雄(S41年卒)

officeEA

一級建築士事務所

昭和戊辰乃会(昭和63年卒)

平野 由朗

東京都中央区日本橋本町4-11-8

日本橋本町RSビル501

TEL. 03-3664-2012

www.office-ea.co.jp

祝 第51回総明会総会・懇親会

地理研究部OB会

M・G・C

紫紺祭に行って後輩達の成果を体感しよう!

祭・踊衣裳

日本の歳時記®

製造・発売元

株式会社 佐藤万

佐藤 武

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

東京都中央区日本橋久松町6番5号

TEL 03(3664)3611(代)

<http://www.nihon-no-saigiki.co.jp>

祝 第51回総明会総会・懇親会

チャレンジ昭和戊辰乃会

明治高校庭球部OB・OG会

会長 鈴木 信夫(昭和47年卒)



pizzeria

Robertino

昭和63年卒 昭和戊辰乃会

安齋 聡

ピッツェリア ロベルティーノ

ご予約 044-788-5757

神奈川県川崎市高津区久末 402

生物部OB会

(旧さんま会)

昭和46年卒 清水 稔

本年、7月11日(土)御茶ノ水において、数年間開催されてなかった、旧さんま会有志12名が集まり、今後の活動方針を話し合いました。

その内容は、

1、昭和49年以降(顧問 赤松先生)の若い会員も広く取り込みたい。

2、幅広い年代層(樋山先生、赤松先生まで)の会員が参加できる名称に変更したい。

3、毎年5月～7月で、気軽な形式で、年1回のペースで集まりたい。

4、この12名が軸となり、会の運営をしていきたい。

等々の意見が出され、全員一致で了承されました。

昭和44年卒業以前の諸先輩に於かれましては、あらゆる場面で【生物部OB会(さんま会)】と名称を併記致す所存ですので、ご了承頂きたいと存じます。

また、昭和49年卒業以降の若い生物部OBの方々のご連絡をお待

ちしております。と共に、同期の方々も誘い合わせの上、お気軽にご連絡下さい。ば、名簿登載いたします。

同期の方だけで集まるのも良いと思いますが、その延長線上で生物部OB会もご利用頂ければ、幸いです。

そして、年1回ペースでOB会を開催しますが、開催月に関してもご希望があれば、遠慮なく、ご提案下さい。

開催場所は、なるべく(御茶ノ水)!! 遠方の方々も参加しやすい土曜の夕方!! いかがでしょうか?

今回集まりました12名の者の卒業年は、昭和45年、46年、47年、48年と、若くて(?)頼もしい仲間です。

祝 第51回総明会

生物部OB会

清水 稔 (S46年卒 明潮会)

〒130-0003 東京都墨田区横川3-1-8
TEL. 03-3625-4193



最後に懇親会の席では、席が定まらず、あちらこちらで「久しぶり、久しぶり」の言葉と共に出席者の名前を連呼し、皆、学生時代に戻れたことは、言うまでもありません。

連絡先：清水まで

(広告に記載しております。)

『ごとう会』について

ごとう会 幹事 大西 静士郎

毎年5月10日(ごとうのひ)に行なわれている恒例の「ごとう会」が、なんと20回目の節目の年、成人式を迎えることになりました。

一口に20回と言いましても、後藤朋智先生(化学)が退職された平成7年から始めた年一回の会を、20年間積み重ねてきた訳です。から、幹事一同びつくりしています。これも、いつまでもお元気な後藤先生と先生の健康を管理されている美恵子夫人をはじめ、回を重ねるごとに友好の輪を広げてくださった教え子とご家族の方々のおかげです。

今年は、20回を記念して少し趣向を凝らしました。鉄道好きの後藤先生に合わせて、都電荒川線一輛を借り切り、三ノ輪から早稲田まで車内で楽しい時間を過ごし、早稲田のリーガロイヤルホテル東京でお祝いをしようという計画です。

当日は晴天に恵まれ、都電荒川線の

三ノ輪駅には、後藤先生はじめ30名近い方々が集まりました。11時30分の定刻に多くの人たちの見送りを受けた電車9000型9001は、一路早稲田駅を目指します。車内では、運転手さんの目を盗んで密かに持ち込んだ(本来は飲食禁止)飲料を飲みながら、後藤先生とともに楽しい時間を過ごしました。

早稲田駅に到着すると、そのまま会場のリーガロイヤルホテル東京の宴会場になだれこみ、美恵子夫人をはじめ、ホテルから参加した方々(総勢約40人)とともに20回目の「ごとう会」をお祝いしました。

今年は「20回」ということもあり、多くの方が企画のアイデアを出してくださったり、お力添えをしてくださったりしていただきました。そのおかげで、今年も楽しく盛り上がる事ができました。ありがとうございます。

30回を目指して、来年も5月10日(ごとうのひ)に「ごとう会」を開催する予定です。



うのきかい

卯ノ木会

昭和54年卒 熊倉 章雄

「義理と人情とやせ我慢」

「おんぶにだっこに肩車」

「あんこチヨ口なめ」

様々な名言を残し平成20年にお亡くなりになられた卯木敏夫さん。

明治高校硬式野球部監督であり、総明会発足にも活躍された名将の下に集まったのが「卯ノ木会」です。

昭和49年に発足し今年で42回目の開催になります。

長い歴史の中、幹事役は桑崎さんと決まっていたのですが、今年はその大役が不肖熊倉に回ってきました。日程は卯木さんの命日である1月10日。この日は熊倉の誕生日でもあります。

これには何か因縁めいたものを感じます。何故かと言えば、今から13年前、明紫会さんが幹事学年の時に行われたパネルディスカッションの際に、「明治魂」と書かれた野球ボールを受け渡され

たのは私で、尚且つ、一周忌の墓参の際、卯木さんの墓石の写真を撮っていた時、後ろの墓石が倒れて、私の足元に当たったのです。

そう、「クマ、明治魂を忘れていないだろうな!」と言わんばかりに。

兎にも角にも、1月10日は忘れられない日であります。話を戻します。

午後6時の開宴に合わせて御茶ノ水のホテル聚楽に集まったのは25名。狭い会場でしたが、満員です。

桑崎幹事長の乾杯に始まり、歓談中にはそれぞれの近況報告をし、和やかに会は進みました。

幹事学年からは、今年の総明会の日程の発表や、グッズの販売があり、些少ながら幹事学年への協力ができたかなと思っております。

結びになりますが、総明会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



ヤマダ大感謝祭

平成6年卒 大掛 勇人

平成27年4月25日、秋葉原「レストランOAKS」において、第5回ヤマダ大感謝祭が開催されましたので、活動報告をさせていただきます。

第5回ヤマダ大感謝祭とは山田伸夫先生がご定年を迎えられて5周年目を同志が集ってお祝いしようという、定義からして「ユルめ」の会でございます。

先生のご指導を受けた教え子や、交流のある諸先輩方が世代を問わず集まって、ワイワイ騒いでおりました。

私の同期も多数参加し、中には20年ぶりに会う者もあり、お互い残り少ない髪の毛の量を競り合ったりいたしました。

おそれ多くも私が司会進行を拝命し、少し緊張をしております。

しかしこのような「ユルめ」の会ですので、私のカミカミの司会も温かく流していただき、ありがたいことではございました。

司会の壇上から見渡しますと、皆様思い

思いに食べたり飲んだり好き勝手やつております。

メインイベントは山田先生の答案指導です。第3回、第4回に参加をしたメンバーは、山田先生が出題された数学のテストを解いて提出してありましたので、その結果発表でございます。

山田先生がこの問題を出題した意図を説明なされました。現在の教育システムに問いを投げかけるような大切なお話をなされたような気がしますが、落ちこぼれだった私は、問題の意味も、先生のお話も、全く理解できませんでしたので、お話の内容につきましては割愛させていただきます。詳細につきましては他の参加者にお問い合わせてください。

山田先生、ごめんなさい。

その後も山田先生のありがたく楽しいお話を拝聴いたしました。老いてなお、盛ん（これつていい意味ですね？）な山田節がさく裂しておりました。会の締めはもちろん校歌斉唱です。大音声で校歌を歌っておりますと、ガラス越しに道行く方々が覗き

込んでいきますが、それもまた快感でございます。

第5回ヤマダ大感謝祭は大成で終了いたしました。次回第6回ヤマダ大感謝祭は平成28年4月23日開催の予定でございます。このように楽しい会ですので、ぜひ皆様お気軽に参加していただけますようお願いいたします。来年皆様にお会いできるのを楽しみにしております。





ヤマダ大感謝祭

4月の第4土曜日

第6回は平成28(2016)年4月23日(土)開催予定
楽しい企画を用意して皆様のお越しをお待ちしております。

■お問合せ先

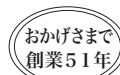
土田正昭 (昭和61年卒 新世輝) toei@beach.ocn.ne.jp
鵜飼友義 (昭和61年卒 新世輝) ugatomo@gmail.com
秋山 俊 (平成18年卒) 214shuna@gmail.com

MUSASHI



～世界の水を支えるプラント設計企業～

武蔵工業株式会社



代表取締役 高田 賢一郎
昭和63年卒 昭和戊辰乃会

- * 公共水環境プラント設計
- * 公共建築・構造物設計
- * 環境基本計画・設備診断
- * 企業間提携コンサルティング

〒104-0033 東京都中央区新川1-25-2

TEL : 03-5566-6341

URL : <http://musashi634.co.jp>

写真撮影 編集 デザイン 印刷

FujiPrint

since 1968

名刺、封筒が得意な小さな印刷屋です。

〒130-0002 東京都墨田区業平3-4-18
Phone 03 3626 0743 Fax 03 3626 0756
s.tajima@fujiprint.jp

平成27年度 総明会 活動報告

平成27年度 総明会 本部・理事・役員一覧

平成27年度 総明会 評議員一覧

平成27年度 活動報告

平成27年度 会計報告

総会委員会 活動報告

会報委員会 活動報告

組織委員会 活動報告

企画委員会 活動報告

総務委員会 活動報告

広報委員会 活動報告

名簿委員会 活動報告

周年委員会 活動報告

第21回チャリティゴルフ大会

前年度幹事学年挨拶

次年度幹事学年挨拶

本年度幹事学年挨拶

第51回総明会 御寄付者一覧

幹事学年 寄付者一覧

平成27年度 総明会 本部・理事・役員一覧

(任期:平成27年1月1日～12月31日) 敬称略

役職・委員会		卒年		氏名
名誉会長		昭和 36 年	明駿会	向殿 政男
顧問		昭和 21 年	午巳の会	小林 昭雄
顧問		昭和 29 年	29 会	山浦 晟暉
顧問		昭和 32 年	明治会	山崎 敬生
顧問		昭和 43 年	紫讃会	佐久間洋一
顧問		昭和 44 年	男坂倶楽部	服部 雄二
会長		昭和 41 年	41 明友会	尾島育四郎
副会長		昭和 44 年	男坂倶楽部	関谷 芳久
副会長		昭和 45 年	獅子の会	吉田耕太郎
副会長		昭和 51 年	明々会	井家上哲史
専務理事		昭和 50 年	明紫会	山崎 秀樹
常務理事		昭和 43 年	紫讃会	中村 正容
事務局長		昭和 54 年	明誠会	熊倉 章雄
会計		昭和 56 年	明翔会	狩野 智雄
事務局	副事務局長	昭和 54 年	明誠会	荒井 信之
総会委員会	委員長	昭和 57 年	明魂会	染谷 貴男
	副委員長	昭和 59 年	明心会	大山 輝芳
	副委員長	昭和 59 年	明心会	平野 一哉
	副委員長	昭和 59 年	明心会	藤原 輝夫
会報委員会	副委員長	昭和 60 年	闊紺会	町側 尚則
	委員長	昭和 56 年	明翔会	衛藤 雅一
	副委員長	昭和 56 年	明翔会	飯野 善明
	副委員長	昭和 57 年	明魂会	関川 一浩
ゴルフ委員会	副委員長	昭和 59 年	明心会	島村 武史
	副委員長	昭和 59 年	明心会	田中 重幸
	委員長	昭和 50 年	明誠会	志村 和哉
	副委員長	昭和 56 年	明翔会	鴨下 裕彦
企画委員会	副委員長	昭和 58 年	明輪会	荻部 大
	委員長	昭和 57 年	明魂会	小林 謙之
	副委員長	昭和 61 年	新世輝	土田 正昭
	副委員長	昭和 61 年	新世輝	横山 実彦
組織委員会	委員長	昭和 50 年	明紫会	近藤 敏彦
	副委員長	昭和 58 年	明輪会	高橋 浩
	副委員長	昭和 60 年	闊紺会	渡辺 智郎
	副委員長	昭和 61 年	新世輝	鵜飼 友義
総務委員会	委員長	昭和 56 年	明翔会	須藤 貢一
	副委員長	昭和 56 年	明翔会	安蒜 信夫
	副委員長	昭和 58 年	明輪会	秋間 聡
	委員長	昭和 52 年	男子校根性組	大西 静太郎
広報委員会	副委員長	昭和 57 年	明魂会	熊谷 康生
	委員長	昭和 50 年	明紫会	吉武 孝生
	委員長	昭和 50 年	明紫会	桑崎 安弘
	副委員長	昭和 63 年	昭和戊辰乃会	光岡 孝之
監事		昭和 39 年	三九会	佐藤 仁
監事		昭和 49 年	翼明会	佐藤 真弘

平成27年度 総明会 評議員一覧

同期会

(敬称略)

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
平成 6 年		河村 健一	新村 哲也
平成 7 年		石田 頼史	金子 敦史
平成 8 年		青木 大樹	三村 具永
平成 9 年	紫雲会	小谷 健志	香川 満洋
平成 10 年	紫 98 俱	秋山 光億	平田 健
平成 11 年	明哲会	石川 一仁	戸邊 寛
平成 12 年	明瀑会	玉木万理夫	保科 大輔
平成 13 年	明治 21	大橋 弘頌	岡庭 朋威
平成 14 年		石川 一仁	戸邊 良征
平成 15 年		大川 康介	武 雄一郎
平成 16 年		杉田 将平	徳竹 正憲
平成 17 年		上原 康仁	荒川 佳史
平成 18 年	白雲会	山崎 裕貴	角田 隆悟
平成 19 年		横倉 光輝	大竹 惇
平成 20 年		渡辺 圭	早川 慎吾
平成 21 年		加藤 敦	大森 貴之
平成 22 年	明雄会	亀屋 将紀	佐藤亨太郎
平成 23 年	共楽会	平田 裕貴	三浦 直人
平成 24 年		三浦 彩	市川 陸
平成 25 年		師岡 忠寛	押田 華穂
平成 26 年		岡田 尚也	柴田加菜子
平成 27 年		赤坂 菜摘	渡邊 直人

卒業年	名 称	氏 名	氏 名
昭和 12 年		中富 光国	
昭和 15 年	明中 26 会	三笠 光人	
昭和 21 年	午巳の会	小林 昭雄	斉藤 久也
昭和 24 年		内藤 功	
昭和 25 年	明二会	小田川玉城	高橋 信雄
昭和 26 年	猿楽会	熊井 実	
昭和 27 年	明高会	米山 耕右	渡邊 幹夫
昭和 28 年	明慈会	戸田 一郎	佐藤 欣生
昭和 29 年	八丈島高校 八明会 29 会	持丸 孝雄	高橋 和夫
昭和 30 年		山本 峰司	崎崎 正義
昭和 31 年	明楽会	石田 彰之	宇田川雄弘
昭和 32 年	明治会	佐藤 健一	大出 育男
昭和 33 年	三三会	長野 敏樹	太田 喜久
昭和 34 年	旧雨会	鈴木 寿雄	藤田 義茂
昭和 35 年	珊瑚の会	秋山 誠樹	希代 章
昭和 36 年	明駿会	倉林 貞夫	天野 洋一
昭和 37 年	37 会	加藤 眞義	谷 正之
昭和 38 年	二年に一会	戸谷 誠樹	中村 哲士
昭和 39 年	三九会	三浦 昭生	服部 紀夫
昭和 40 年	明優会	佐藤 仁	堺 健一
昭和 41 年	41 明友会	阿部 正行	大関 清人
昭和 42 年	M41	廣瀬 準	菊本 哲也
昭和 43 年	紫韻会	結城 康郎	新村 秀男
昭和 44 年	男坂倶楽部	志村 一夫	小田嶋保男
昭和 45 年	獅子の会	中河 孝樹	寺田 康夫
昭和 46 年	明潮会	比留間竹郎	山形 英明
昭和 47 年	四七四七同志酔会	木村 茂	金子 敏一
昭和 48 年	波の会	戸張 毅	内田 茂
昭和 49 年	翼明会	海老根一介	南海 重明
昭和 50 年	明紫会	石田 和夫	大前 実之
昭和 51 年	明々会	三森 勲	雨宮 弘典
昭和 52 年	男子校根性組	前田稲一朗	山田 眞也
昭和 53 年	紫友会	石黒 理樹	小嶋 真作
昭和 54 年	明誠会	加藤 裕之	竹越 利之
昭和 55 年	紫魂会	代田 真司	矢ノ目 忠
昭和 56 年	明翔会	大迫 好孝	渡辺 裕之
昭和 57 年	明魂会	寺村 一義	蓬田 裕一
昭和 58 年	明輪会	岩崎 広人	田中 幹浩
昭和 59 年	明心会	大塚 達宏	高橋 浩
昭和 60 年	闘闘会	田中 重幸	渡邊 文夫
昭和 61 年	新世輝	矢澤 徹	織田 晴彦
昭和 62 年	明猿会	鶴飼 友義	栗本 宜長
昭和 63 年	昭和戊辰乃会	中澤彰次郎	赤岩 大輔
平成 1 年	改元会	尾崎 博之	安川 琢哉
平成 2 年		村嶋 健児	杉山 純也
平成 3 年	明仁会	鈴木 弘和	森 正樹
平成 4 年	快汗、どすこい塾	山口 一郎	斎藤 直宏
平成 5 年		小畑 啓	福田 浩茂
		安藤 高利	長野 吉克

平成 27 年 8 月 29 日現在

班部OB会

(敬称略)

名 称	氏 名
応援指導班	廣野 宏士
新聞班	西山 光彦
吹奏楽班	齊木麻州男
図書班	平田 幸彦
放送班	宮田 健
剣道部 (見心会)	鈴木 幸男
硬式野球部 (明球会)	世古 俊之
サッカー部	大室 智
柔道部	小川 洋一
水泳部 (明水会)	高澤 邦雄
スキー部 (明雪会)	岡本 雅仁
卓球部 (明卓会)	山崎 泰夫
庭球部	奈良部利昭
バレー部	樋田 哲次
フエシング部	岩重 哲雄
陸上競技部	櫻井 勝也
バスケットボール部	吉田 博
囲碁部	田島 弘資
化学部	森 八一
物理部 (明物会)	磯部 進
マンドリン部	赤岩 大輔
地理研究部	大塚 和哉
歴史研究会	土田 正昭
アイスホッケー愛好会 (明水会)	武藤 仁
J R C	横谷 昌明

平成27年度 活動報告

総明会 専務理事 山崎 秀樹

平成26年11月16日、ハイアットリー
ジェンシー東京において記念すべき第50
回総明会総会・50周年記念式典・懇親
会が開催されました。お忙しい中ご出
席いただきましたご来賓、明治高校・中

学校関係者の皆様並びに、総明会会員
の皆様には厚く御礼申し上げます。また、
「歴史を振り返る」というテーマのもと
「明猿会」（昭和62年卒）が幹事学年と
して活動し、準備・運営を担当いたしま
した。1年間にわたる幹事学年の頑張
りに感謝いたします。

50周年記念式典においては、名誉会
長・顧問の皆様には感謝状と記念品を贈
呈させて頂き、総明会のこれまでの発展
を支えて頂いたことに感謝の意をあら
わしました。また、向殿政男名誉会長に

記念講演をお願いし、これまでの総明会
の歩みをまとめて頂くとともに、これか
らの総明会についての貴重な提言をお
話し頂きました。どうもありがとうございました。

なお、「総明会50周年記念誌」は、周
年委員会のもと会報委員会を中心と
した組織横断の編纂委員会による作業
を本年度も継続し、その完成に向かっ
ており、今回の会報とともに皆様のお
手元に届けられていることと思います。

この場をお借りして周年事業にたいす
る寄付・広告にご賛同いただいた会員の
皆様に深く感謝申し上げます。なお、今
回の会報に同封させて頂きましたよう
に、寄付金の募集は平成28年3月31日
まで継続しておりますので、より一層の

ご理解とご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

さて、本年度も総明会は別表のよう
な活動を行いました。2月には本部役
員と組織委員会が中心となつて、母校
にて総明会の説明会を行いました。

昨年より定期的に開催することと
なつた顧問会も全顧問の皆様にご出席
頂き、貴重なご意見を賜ることができ
ました。

3月には本部役員が母校の卒業式に
出席し、尾島会長より卒業生にご挨拶
申し上げるとともに、総明会賞を授与
させて頂きました。

5月には第21回チャリティーゴルフコ
ンペを開催しました。毎回100名を
超える多くの会員の皆様にご参加頂い

ておりますが、今回も新緑のコースで同窓生同士のプレーを楽しんで頂くことができました。

また、9月の明朗会は、昨年ご好評を頂いた大相撲観戦に続き、今年は落語鑑賞を企画しております。

このほか、白駿会や明大中野校友会「武陵会」の総会にも出席し、今まで以上に親睦を深める事が出来ました。

なお、本年度で会長・副会長の任期満了を迎えるにあたり、平成27年第1回評議員会において選出して頂きました委員による「会長及び副会長選出委員会」が発足いたしました。現在、立候補の届け出を確認しているところでございます。

11月に行われる総会において会長・副会長を選出することとなりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成26 (2014) 年

11月16日	総会・懇親会 (ハイアットリージェンシー東京)
12月 6日	役員忘年会

平成27 (2015) 年

1月16日	第一回理事会
2月 5日	第一回評議員会
2月17日	高校Ⅲ年生対象総明会説明会
2月20日	総明会 顧問会
2月27日	武陵会との懇親会
3月 3日	大学4年生第1回同期会
3月10日	明治高校卒業式・明治高校卒業謝恩パーティー
3月13日	第二回理事会
3月14日	新卒業クラス委員との昼食会
3月27日	第二回評議員会
4月 6日	明治高校入学式
4月24日	第三回理事会
5月 9日	第21回総明会チャリティーゴルフ
5月30日	武陵会総会 (中野サンブラザ)
6月20日	白駿会総会 (京王プラザホテル)
7月 4日	評議員・班クラブOB・OG会懇親会
7月17日	第四回理事会
9月 5日	明朗会
9月11日	第五回理事会
10月 2日	第六回理事会
10月23日	第三回評議員会

総明会 平成26年度 一般会計報告
(自)平成26年4月1日 ～ (至)平成27年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	10,358,869 円	会議費	547,727 円
新入会員入会金	2,570,000 円	交流費(学校、他)	1,358,493 円
新入会員永久会費	2,570,000 円	会報発送費用	1,076,527 円
学年会費	645,000 円	事務通信費	162,513 円
雑入(会議費、他)	878,000 円	会報誌関係費用	74,525 円
雑入(寄付金)	87,000 円	各委員会活動費	946,392 円
雑入(ゴルフ委員会)	6,484 円	基金へ組入れ	2,000,000 円
預金利息	3,500 円	次年度繰越金	10,952,676 円
合 計	17,118,853 円	合 計	17,118,853 円

総明会 平成26年度 基金会計報告
(自)平成26年4月1日 ～ (至)平成27年3月31日

基金区分	平成25年度末残金	平成26年度増減額	摘要	平成26年度末残金
事業遂行基金	12,347,206 円	2,000,000 円	一般会計から繰入	14,347,206 円
財政基盤基金	516,000 円	- 円		516,000 円

上記のとおり報告致します。

平成27年 3月31日 会 長 尾 島 育 四 郎 会 計 狩 野 智 雄
監査の結果相違ありません。
平成27年 6月16日 監 査 佐 藤 仁 監 査 佐 藤 眞 弘

総明会 平成27年度 一般会計予算(案)
(自)平成27年4月1日 ～ (至)平成28年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	10,952,676 円	会議費	600,000 円
新入会員入会金	2,500,000 円	交流費(学校、他)	1,400,000 円
新入会員永久会費	2,500,000 円	会報発送費用	1,580,000 円
学年会費	800,000 円	事務通信費	160,000 円
雑入(会議費、他)	700,000 円	各委員会活動費	1,131,148 円
雑入(寄付金・利息)	100,000 円	基金へ組入れ	2,000,000 円
		次年度繰越金	10,681,528 円
合 計	17,552,676 円	合 計	17,552,676 円

総明会 平成27年度 基金会計予算(案)
(自)平成27年4月1日 ～ (至)平成28年3月31日

基金区分	平成26年度末残金	平成27年度増減額	摘要	平成27年度末残金
事業遂行基金	14,347,206 円	- 円		14,347,206 円
財政基盤基金	516,000 円	2,000,000 円	一般会計から繰入	2,516,000 円

第50回 総明会 特別会計報告
(自)平成26年4月1日 ～ (至)平成27年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,750,000 円	総会関係費	4,904,899 円
総明会より助成金	1,076,527 円	会報関係費	3,677,390 円
寄付・広告	7,292,338 円	運営関係費	2,536,576 円
合 計	11,118,865 円	合 計	11,118,865 円

第51回 総明会 特別会計予算(案)
(自)平成27年4月1日 ～ (至)平成28年3月31日

収入の部		支出の部	
総会会費収入	2,700,000 円	総会関係費	4,850,000 円
総明会より助成金	1,580,000 円	会報関係費	4,000,000 円
寄付・広告	7,000,000 円	運営関係費	2,430,000 円
合 計	11,280,000 円	合 計	11,280,000 円

総会委員会 活動報告

総明会 総会委員会 委員長 染谷 貴男

第51回総明会総会・懇親会の開催誠におめでとう御座います。昨年は総明会50周年という記念すべき年にあたり、例年の総会・懇親会に加えて50周年の記念式典を行いました。

総明会 尾島育四郎会長より挨拶の後、向殿政男先輩・小林昭雄先輩・山浦晟暉先輩・山崎敬生先輩・佐久間洋一先輩・服部雄二先輩への感謝状・記念品の贈呈が、総明会50周年の重みを感じさせる、厳粛な雰囲気の中で行われました。その後受賞者を代表して、小林昭雄先輩による挨拶があり、続いて向殿政男先輩による記念講演にて式典の終りとなりました。

記念式典もあつた為か、当日の出席者は、来賓の方々を含め三百数十名を数え、盛大に執り行われました。

さて、今年度のメインテーマである「51年目の挑戦」は、今まで出来なかつた若い世代へ積極的にアプローチを掛けて行く…、挑戦…。

これは正に、総会委員会の育成・動員部門が担う事でもあり、これからも続いて行くであろう幹事学年制度を盤石なものにするべく、組織委員会と一緒に取り組まなくてはならない課題だと言えます。

今年の総会委員会は、新たに昭和60年卒（闘魂会）町側尚則君を迎え、副委員長4名体制にて活動をしておりますが、来年は「昭和戊辰乃会」の皆さんと将来を見据えた活動が出来ます事を楽しみにし、また総会・懇親会当日にお茶の水の地でたくさんの方々の先輩・後輩にお会い出来ることを楽しみにし、挨拶とさせて頂きま

す。幹事学年の皆さん1年間本当にご苦勞様でした。



会報委員会 活動報告

総明会 会報委員会 委員長 衛藤雅一

本年も総明会会報をお読みいただきましてありがとうございます。

今年の幹事学年である昭和戊辰乃会会報委員会は、メインテーマを「51年目の挑戦」とし、サブテーマを「総明会という財産」として会報の作成を進めてきました。お手元に本誌が届いたときから今年は何かが違うということにお気づきかもしれませんが、今年の会報は、幹事学年の会報が本誌と別冊の2部構成になっております。さらには総明会発足50周年記念誌も同封させていただいておりますので読み応えのある会報となっております。

さて、今年の会報委員会活動報告ですが、これまでに経験したことのない、幹事学年会報誌「紫紺の詩」と「50周年

記念誌」のダブル発行という前例の無い活動の年となりました。50周年記念誌はこれまで「周年委員会」のもと準備を進めてきましたが、本年度はいよいよ発行の年ということもあり会報委員会メンバーが記念誌発行に関わるウエイトのほうが大きくなる年となり、会報委員会としても過去に発行された会報誌を振返るよい機会にもなり、また、総明会の歴史を振返ることができました。

今後は過去の会報データを保存し次代へ引き継ぐという重要な役割を担うことに成りますが、関係委員会と連携をとり進めていきたいと思っております。

一方幹事学年会報では別冊の発行という初の試みを行い新たな会報スタイルを築くことになりました。50年余り

の会報の伝統を継承していきながらも新たな試みに挑戦した記念すべき会報に仕上がっています。

諸先輩方におかれましては新たなスタイルの会報を目にすることになり、これから幹事学年を迎える皆様方には今後の幹事学年活動のヒントにもつながる会報になったと思います。今年度は2冊の会報をお届けするという年になりましたが、これからの会報は、これまでの伝統を継承しながらもその時代にあつた今までの枠にとらわれない会報になつていくことを確信しています。

今後とも会報委員会活動にご理解をいただきご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

組織委員会 活動報告

総明会 組織委員会

副委員長 渡辺 智郎

当委員会は本年度、近藤委員長以下、委員により数々の交流の場へ参加し、組織つくりの活動をしております。大学を卒業して数年の若手OB・OGの当委員会活動への参加も実現し、本年度の目標に向かって着々と成果が表れております。年代を問わず、積極的に明治高校卒業生と関わり、歳が離れていても同じ学び舎を卒業した同志には、累々と同じアイデンティティーがあることを感じられると共に、非常に嬉しく思いました。

総明会とは、

- ・ 明治中学 明治高校を応援する組織
- ・ 卒業生と卒業生をつなぐための組織
- ・ 卒業生に対し有益な情報提供・情報交換ができる組織

であると定義し、理想とされる姿に近づけるように活動してまいります。現在、幹事学年以上の年齢層が総明会に関係するOB・OGのほぼ全員を占めており、幹事学年より下の方々の参加が極めて少ない状況です。その原因は何かといったところに着目すると、班クラブOB・OG会と総会・懇親会以外に交流の場がないことが挙げられます。

現在、組織委員会は総明会への若手卒業生の誘致を積極的に行っておりますが、総明会という組織は何のためにあるのか、総明会に参加することによって母校と卒業生にどのような有益に働くのかを明確に示さねばならない時期が来ているように感じられます。

例年行われる明治高校の行事や若手OB・OG会に参加し、若手OB・OGの総明会への参加を呼びかけるといった活動には一定の成果が見られました。さらに、若手卒業生への具体的な対応ができないかを検討。要望に応じて就職活動時の支援を可能にする体制や、中堅世代(30〜40才前後)に対しても、ビジネス交流会などを企画し、会社組織の垣根を越えた明治高校卒業生同士の交流が実現できれば、総明会への参加者の増加につながると考えております。

また、共学化により今後、女性の会員も増加しますので、OG会員の積極的な参加を促すための組織・体制づくりも必要です。本年、母校初の新社会人OGが生まれました。本年度よりOGへ、当委員会主導で若手総明会員としての参加誘致を積極的に行い、将来的にOG会員の総明会への参加拡大の礎となるべく活動してまいりたいと考えております。

また、共学化により今後、女性の会員も増加しますので、OG会員の積極的な参加を促すための組織・体制づくりも必要です。本年、母校初の新社会人OGが生まれました。本年度よりOGへ、当委員会主導で若手総明会員としての参加誘致を積極的に行い、将来的にOG会員の総明会への参加拡大の礎となるべく活動してまいりたいと考えております。

企画委員会活動『明朗会』報告

総明会 企画委員会 副委員長 横山 一実

すばらしい秋晴れの平成26年9月15日(祝)満員御礼の両国国技館で、明朗会が行われました。

午後2時半集合のあと、観戦席へ移動。2階椅子席でしたが、館内の熱気は十分伝わり、一番一番の勝負に大きな歓声が上がるとは、他の競技では見られない風景で、さすが国技だと感心しておりました。明朗会に出席いただいた諸先輩方も話しかけづらいほど熱心に観戦していらっしゃいました。

結びの一番が終わり、名残惜しくも国技館を後にした明朗会のメンバーは、懇親会会場のちゃんこ『巴潟』へ移動しました。巴潟さんは、明治高校昭和41年卒工藤先輩のお店で、創業38年の両国でも有名なお店です。2階の大座敷を貸切り、尾島会長のご挨拶の後、山崎

顧問の乾杯の御発声で懇親会がスタートしました。おいしい料理とお酒に話も弾み、盛り上がりつづけた頃、相撲観戦時に実施した大相撲勝敗当てクイズの上位10名の発表をしました。昭和49年卒の大前先輩からご寄付いただいた明治グッズを賞品とさせていただきます。また、今回初参加の昭和26年卒の大竹先輩が、自前で色紙をご持参いただき、『バーマン』などの懐かしい漫画をその場でたくさんお描きいただき、それを賞品としたじゃんけん大会もかなりの盛り上がりを見せました。大竹先輩は、明治高校を卒業後、俳優として舞台に立ち、舞台公演のほか、ラジオドラマにも出演、昭和31年NHK人形劇番組で声優デビューしました。有名な『青二ブ』の創設メンバーでもあり、『狼少年ケ

ン』や『オバケのQ太郎』、『おそ松くん』『バーマン』『怪物くん』等の超メジャーなアニメにも出演されている著名人で、『東京アニメワールドフェスティバル2015』でアニメ功労部門賞を受賞されました。さて、懇親会のほうですが盛り上がりも絶頂となつて、昭和45年卒の比留間先輩のエルで全員で校歌を熱唱し、昭和44年卒の関谷副会長の閉会の辞で終宴となりました。

今回の明朗会も多くのご寄付とご好意に支えられ、無事、盛況の中行うことができました。

ご寄付をいただいた方、また、おいしい料理とお酒を破格でご提供いただいた巴潟さん、そして、ご参加いただいたすべての方に感謝申し上げ、明朗会報告と致します。ありがとうございました。

平成26年 明朗会ご出席者一覧（順不同）

卒年	同期会名	氏名
23		松倉 康信
24		福山 澤孝
25	明二会	牛久 順之
26	猿楽会	桑原 精一
26		大竹 宏
27	明高会	目崎 裕昭
28	八明会	高橋 和夫
28		持丸 孝雄
29	29会	山本 峰司
31	明楽会	大出 育男
31		佐藤 健一
31		土田 饒
32	明治会	山崎 敬生
32		大塚 和哉
33	三三会	米山 武男
35	珊瑚の会	丞村 裕次
36	明駿会	山田 和孝
36		神野 武美
36		石川 守也
38	二年に一会	井上 進治
38		関戸 淳一
40	明優会	阿部 正行
41	41明友会	尾島 育四郎
41		菊池 博道
41		廣瀬 準
42	M41	結城 康郎

卒年	同期会名	氏名
44	男坂倶楽部	関谷 芳久
44		中河孝樹
44		栗田 茂
44		桃澤 茂治
44		森 健一
44		佐伯 正
45	獅子の会	比留間 竹郎
45		桜井 久昭
45		小出 俊介
45		山形 英明
47	四七四七同志酔会	鈴木 信夫
47		内田 茂
47		戸張 毅
47		廣野 宏士
49	翼明会	大前 実之
50	明紫会	近藤 敏彦
50		山崎 秀樹
50		吉武 孝生
51	明々会	井家上 哲史
51		岡本 雅仁
54	明誠会	熊倉 章雄
54		志村 和哉
62	明猿会	染石 琢也
62		山崎 雄一郎
57	明魂会	小林 謙之
61	新世輝	土田 正昭
61		横山 一実



総務委員会 活動報告

総明会 総務委員会 委員長 須藤 貢一

総明会会員の皆様、いつも総明会活動に御協力頂き、誠にありがとうございます。

総務委員会としては、微力ながら総明会のお手伝い出来ればと考えております。

ところで、皆様の中には、総務委員会がどのような活動をしているか分からない会員の方々も大勢いらっしゃると思います。

大変簡単な説明で恐縮ですが、現在以下役割を総務委員会が担っております。

①年3回(1月、3月、10月)の総明会評議員会の準備及び運営

〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び

受付業務並びに評議員会での議事録作成を行います。

②評議員・班クラブOBOG会懇親会(7月)の準備及び運営

〈具体的業務〉

評議員会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

③総会(11月)での議事録作成

④忘年会(12月)の準備及び運営

忘年会開催のための会場の予約及び受付業務を行います。

以上ですが、会社の総務部等の部署を想像して頂くと、身近に感じて頂くことが出来ると思います。常日頃、総明会会員の皆様の前に出て様々な業務を行うことも無く、縁の下で総明会を支えています。

く地味な委員会ですが、議事録の作成や各委員会との打合せ等、管理運営に関し大変重要な委員会ですので、総務委員全員誇りを持って活動しております。今後とも宜しくお願いします。



広報委員会 活動報告

総明会 広報委員会 委員長 大西 静士郎

いつも総明会の活動にご参加ご協力いただき、ありがとうございます。

広報委員会は、総明会ホームページの更新管理を担当しています。

ホームページでは、総明会の各種情報、幹事学年の活動状況、各委員会からのイベント情報とその報告などを掲載し、会員の皆様にできるだけ多くの情報を発信するように心がけています。

ホームページには、会員の皆様が直接情報を発信できる場として、連絡用掲示板、フリー掲示板を設けております。連絡用掲示板は、重要な伝達事項をはじめとする連絡事項の伝言板として、フリー掲示板は同期会や班・クラブOB・OG会の活動報告、イベントの告知、その他自由に情報発信できる場として利用していただき

たいと思っています。最近では、OB・OG会のご連絡やご報告、運動部の試合結果、イベントのご連絡、計報などにご利用いただいています。

また、共通点の多い会報委員会とは情報を共有し、協力体制を築くように心がけています。

今年で51年目を迎える総明会は、昨年、これまで発行された会報のデジタル化を行いました。現在では、総明会の50周年記念誌の編纂資料として使用されておりますが、編纂終了後は、デジタル化された会報をホームページ等に保管し、過去の会報を会員の皆様が自由に閲覧できるようにする予定です。それに伴い、大容量のサーバーへの交代やホームページの刷新を予定しております。

これからも総明会ホームページへご支援ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします



名簿委員会 活動報告

総明会 名簿委員会 委員長 吉武 孝生

毎年たくさんの住所移動の情報をご連絡いただき、ご協力、誠にありがとうございます。

名簿委員会では会員ご自身からの転居・転勤等のお知らせだけではなく、先輩・同級生・後輩の情報だけでも受け付けております。

名簿委員会は、幹事学年が作成した9月にお送りする総明会会報誌を、一人でも多くの会員の皆さまのお手元にお届けすることが使命と考えております。

その会報は、毎年幹事学年の会報担当者と総明会の会報委員会のメンバーが一生懸命テーマを決め、各行事等に参加し、取材活動をしながらかつています。

また、各学年の同窓会・班クラブのOB・OG会より原稿を集め、編纂に編纂

を重ねて、半年以上の時間を掛けて完成させたものです。

そんな熱い気持ちが進められた会報が、住所変更をしていただかないままですと、お手元に届かない可能性があります。

実際に届かず返送されてしまった会報は去年ですと、400を超えます。

お引越された際は、役所・銀行・郵便局その他各諸機関への住所変更と同時に、総明会への住所変更もお忘れなきように、強くよろしく願っています。

名簿委員会では、各学年で行う同窓会のお知らせの宛名シールの印刷が可能で、その際は、税込み千円ほど頂いております。事務局長経由でご二報くださ



周年委員会 活動報告

総明会 周年委員会 委員長 桑崎 安弘

周年委員会は、平成24年母校・創立100周年記念祝賀会、昨年平成26年総明会・創立50周年記念式典、そして本年、周年事業の総決算として総明会創立50周年記念誌の発行を行いました。

総明会・創立50周年記念式典は、第50回総明会総会・懇親会にて執り行われ、総明会の発展に特に寄与された6名の方々に感謝状と記念品を贈呈し、記念講演として受賞者である向殿政男総明会名誉会長にご講演いただき、終始和やかな雰囲気の中、無事に終えることができました。

また、総明会創立50周年記念誌の発行におきましては、総明会会員の皆様、各学年同期会、各班・クラブOB会、更には、明治中学校・高等学校の教職員様、すでに退任された先生方からの多

大なるご寄附を賜り、無事に皆様の手元にお届けすることができました。

記念誌の編纂にあたっては資料の発掘から始まり、膨大な資料を根気よく丁寧調査し、創設当時から現在に至るまで、今後の総明会のためにも貴重な資料としてまとめ上げられています。ぜひ一読くださいませ。

これらの活動は、周年委員会のみならず、全委員会並びに有志の会員、多くの方々のご理解とご協力・ご尽力がなくては果たすことができませんでした。あらためて御礼申し上げます。

以上の、三つの記念事業をもちまして、本委員会の役目を終えることができましたことをご報告申し上げます。最後になりますが、周年事業を通じ、

ご寄付・ご寄稿の依頼に際し、その他不手際がありましたとは存じますが、どうぞお許し賜りますようよろしくお願い申し上げます。



総明会創立50周年式典 受賞者

向殿政男（昭和36年卒）、小林昭雄（昭和22年卒）、山浦晟輝（昭和29年卒）、山崎敬生（昭和32年卒）、佐久間洋一（昭和43年卒）、服部雄二（昭和44年卒）

※敬称略

第21回チャリティーゴルフ大会

昭和63年卒 昭和戊辰乃会 滝沢 修

総明会の恒例行事、チャリティーゴルフ大会も21回目を迎えることとなりました。

本年度はゴルフデンウィーク明け直後の5月9日、千葉県長生郡に330万平米という広大な敷地を持つ「生命の森リゾート」の中に位置する真名カントリークラブ、ゲリープレーヤーコースにて、抜けるような青空の下、開催されました。この真名カントリー倶楽部は幹事学年



である昭和戊辰乃会のゴルフ委員、富樫孝之氏(北武蔵カントリークラブ支配人)が勤務する

会社が所有するゴルフ場であり、その縁で選定させていただきました。年間5万人の来場者が訪れる人気のコースです。例年よりも一ヶ月ほど早い日程となりましたが、118名もの多数の参加者にお集まりいただくことができました。

競技は昨年と同じく新ベリア方式で行われ、「個人戦」「学年対抗戦」大先輩方による「名人戦」「大名人戦」が繰り広げられたほか、恒例のドラコン・ニアピンの各コンテストもとり行われました。昭和31年卒の大先輩から平成21年卒までの総明会会員、恩師山田伸夫先生など関係者が集い、に楽しい時間を共有することができました。

プレー後、一同が会したパーティーに於いて恒例の表彰式が開催されました。個人戦は昭和46年卒「明潮会」の斎藤公義

氏、団体戦は昭和44年卒「男坂倶楽部チームM」がそれぞれ優勝されました。(チームMと記しましたが、これまで1チームのエントリーにより行われていた学年対抗戦において、本年度より「学年2チーム「チームMチームJ」がエントリー可能になり、より多くの参加者に学年対抗戦の入賞の可能性が広がりました。)また、引き続き各賞の発表が行われ、延べ60の賞品がプレーヤーに手渡されました。そして大会の締めくくりとして、応援団OB、平成6年卒の三谷知弘氏の



個人 順位戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDGP	NET
	優 勝	斎藤 公義	S46	42	35	77	7.2	69.8
	準優勝	秋山 勝光	S44	42	46	88	18.0	70.0
	3 位	下田 敬一	S49	40	39	79	7.2	71.8
	パスプロ	斎藤 公義	S46	42	35	77		

学年 対抗戦		卒業年	代表選手名		NET
	優 勝	S44 男坂倶楽部	秋山 勝光		219.6
			望月 昇		
			栗田 茂		
	準優勝	S55 紫雲会	袁田 克己		220.6
			村田 修司		
			伊東 正明		
	3 位	S46 明潮会	斎藤 公義		221.4
			木村 茂		
			渡辺 弘之		

名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDGP	NET
	優 勝	秋山 勝光	S44	42	46	88	18.0	70.0
	準優勝	中村 裕次	S45	41	85	13.2	71.8	
	3 位	荻 誠一	S43	41	38	79	6.0	73.0

大名人戦		氏 名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDGP	NET
	優 勝	村嶋大三郎	S34	47	51	98	24.0	74.0
	準優勝	石川 淳	S34	47	44	91	14.4	76.6
	3 位	佐藤 健一	S31	50	47	97	19.2	77.8

全28学年、先生及び父母会による「個人順位戦」、各学年代表者3名または選抜チームによる「学年対抗戦」のほか、「大先輩名人戦」として昭和36年卒から昭和45年卒までの先輩方による「名人戦」、昭和35年卒以前の先輩方による「大名人戦」が行われました。4位以下の方は該面の関係上省略させていただきます。

寄付ご報告（金一封） 寄付ご報告（金一封）

山浦 晟暉 様	金壹万円	山崎 秀樹 様	金壹万円
佐藤 健一 様	金壹万円	吉武 孝生 様	金壹万円
尾島育四郎 様	金壹万円	近藤 敏彦 様	金壹万円
関谷 芳久 様	金壹万円	青木麻州男 様	金壹万円
吉田耕太郎 様	金壹万円	染谷 貴男 様	金壹万円
井家上哲史 様	金壹万円	平野 一哉 様	金壹万円

賞品寄贈

明楽会 様	バター 2本
中村 正容 様	バスタオル（参加者全員）
栗田 茂 様	バッグ、金属バット
宮井 俊樹 様	アースモンダミンカップ観戦チケット

前年度ホールインワン達成記念品

三浦 健 様	ゴルフボール（参加者全員）
--------	---------------

学校チャリティー報告

寄付 12万円

※多大なご寄付とご協賛を賜り、誠に有難うございました。

リードにより、全員で校歌を斉唱し盛会のうちに大会を閉会することが出来ました。

最後になりましたが、母校へのチャリティーにご協力頂いた参加者の皆さま、ご協賛にご寄付を賜りました皆さまに心より御礼申し上げます。来年度以降もチャリティーゴルフ大会へのご参加を是非よろしくお願い申し上げます。



個人戦優勝 斎藤公義 氏（昭和46年卒 明潮会）



学年対抗戦優勝 昭和44年卒 男坂倶楽部

第22回 総明会チャリティーゴルフ大会が下記の通り開催されます！

開催日 2016年5月29日（日）
場 所 ムーンレイクゴルフクラブ 茂原コース
その他 貸切！ショットガンスタートか？
奮ってご参加ください！

前年度幹事学年挨拶

第50回総明会実行委員長

昭和62年卒 明猿会 中澤彰次郎

昭和63年卒「昭和戊辰乃会」の皆さま、第51回総明会総会・懇親会の開催、誠にありがとうございました。昨年の我々「明猿会」は、50回の節目にも関わらず、仲間が集まらずに少人数での活動を余儀なくされる状況であり、早い段階から多人数であった「昭和戊辰乃会」の皆さまの迫力を常を感じておりました。数は力であり、その力をいかに発揮されて総会・懇親会当日まで突っ走っていかれるものと期待しております。

我々の活動は、会としての活動の前に「人集め」という仕事が大きな壁となっておりました。会社では45、46才という脂の乗り切った年齢ですし、また一家においては主として子供の成長を担わなければならない年頃です。果たして総明会に費

やす時間が皆にあるのだろうかという不安との闘いを思いながら一人ずつ説いていき「明猿会」に参加いただいた事を思い出します。ただ、そこには「明治愛」を根底に持つている面々があり、結果的には仲間の掘り起しには時間を要さなくて済みました。最小数ではあったかもしれませんが、結束することができたのは、青春時代に苦楽をともにしてきた「仲間」であつたらだと思えます。

また、その結束を果せたのは諸先輩方のお力添えがあつたのは言うまでもありません。尾島会長を始め、先輩方の名前を上げればこの文面では足りないため書くことができませんが感謝の念に堪えません。温かく、そして時には厳しく接していただき、学年が違えども「明治愛」を感じ

ました。そして、今までは決して懇意ではなかつた先輩方と「明治」を通して「団結」出来る喜びを感じたことも我々の収穫であるといえます。大きな家族を得ることができた気分であります。人により参加できる状況は違いますが、これからも総明会を通じて是非とも長いおつきあいをさせて頂きたいと思えます。



次年度幹事学年挨拶

第52回総明会実行委員長

平成元年卒 改元会 村嶋 健児

第51回総明会並びに懇親会の開催に際しまして、次年度幹事学年一同、心よりお祝い申し上げます。また、今回の幹事学年の昭和戊辰乃会の先輩方には、その並々ならぬ尽力に対し、深く敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

昭和戊辰乃会の先輩方のご卒業の年が昭和63年、私どもはその翌年の、平成元年が卒業の年でありました。故に、私どもは元号が変わるという時代の節目を明治の学び舎で過ごしたことになります。改元会の由来もここにあります。

いま振り返れば、その後の時代は大きく動いたように感じます。「平成」はその名の響きに反し、「激動」の歴史を刻んでいるかのようです。時代の流れは、思いのほか速く、余りにも激しいと、ただ思い返されるばかり。時には、時代の荒波に翻弄され、行き場

を見失い、彷徨うこともあったように思います。

しかしながら、そのような中でも、進むべき道を示してくれた何かが存在していたと思うのです。多感な時期を明治で過ごしたからこそ得られた羅針盤のようなもの――それは、物事の正否、分別といった道理のみならず、意地であり、気概でもあり――いわば、伝統に裏打ちされた「明治の精神」ではないかと考えるのです。

このことは、憎悪ながら、総明会の皆様方にも多かれ少なかれ、ご共感いただけるのではないのでしょうか。いつであろうとも、「明治」を目にすれば、「メイジ」を耳にすれば、それだけで身震いを感じてしまう。これは、私一人だけのことではないと思うのです。「明治の精神」は、肩を組み、声を枯らし、校歌を歌った若き日々の中で、気付けぬ

うちに培われたものでしょう。教科書で教えてもらう理屈や論理などを超えた次元で……。

私どもの改元会は、発足して未だ1年足らずの若い会であります。諸先輩方には種々ご心配をお掛けしておりましたが、昨年の年末に、初めて本格的な同期会を開催するに至っております。約四半世紀ぶりの集まりではありましたが、昔を懐かしみ、語り合ううちに、私どもの羅針盤は、やはり同じ方向を指したように思います。いつしか、皆自然に肩を組み、校歌を熱唱することで幕を閉じました。

改元会は、漸く端緒に就いたばかりですが、微力ながらも総明会の発展に資するべく、力を尽くしてまいりたい所存です。諸先輩方、諸先輩方には、引き続きご指導・鞭撻を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

本年度幹事学年挨拶

第51回総明会実行委員長

昭和63年卒 昭和戊辰乃会 安川 琢哉

今から4年前、我が代の応援指導班団長、光岡を中心に同期会を開催。それから今日まで実に早い月日だったと感じる。特に、昨年、明猿会の先輩から引き継いでからは…

その1年前に昭和戊辰乃会として執行部を立ち上げ、毎月1回は集まり、7〜8人で同期集めに奔放した。なぜか仕事より楽しかったことは覚えていて。青春時代を共に謳歌した仲間たちとの会話は、集まれはいつもはずんでいた。

昨年末、先輩方から「自分達のやりたいようにやってみればいい」「大変だろうが、楽しんでやれよ」など、たくさんの方の応援を頂き、我々はその活動をスタートした。先輩方は本当に心強かったです。感謝感激でした!!

仲間も常に20〜30人は集まり、役割分

担も早く決めることが出来、順調な滑り出しと…

でも、人数が増えれば、様々な意見が出てくるのもまた必然。最初の頃の月一回の定例会は、意見がまとまりきれずに、定刻に終わらない時が多々発生。でも、それでもいいんだ!!同期とはいえ、今は皆、違う職種、業種、立場なんだから、当たり前じゃないか。幹事学年で会を成功させる事、これも大事なことはあるが、やはり、自分達が楽しめなければ、周囲にもそれが伝わらなくなってしまう。何より、笑え、楽しめ!!

色々な会にも邪魔させて頂きましたが、元気で明るく行けば、先輩方は笑顔で迎えて下さいました。これがまた実に楽しいこと(笑)。最高でした。明治中学・明治高校という繋がりがあり、その中で先

輩後輩関係。先輩方は本当に、後輩思いだと感じた場面が多々ありました。昭和戊辰乃会は総明会の若人達に伝えたい。総明会とは、今までの素晴らしい伝統を継承しつつ、これからの新しい時代に向けて、是非これを活用すべきだと!11月7日(土)、総力を挙げて、挑戦します!そして、楽しんで頂きます!是非、その最高の時間を共にしましょう!!最高の友たちと…

また、諸先輩方におきましては、若き後輩との交流を是非、お楽しみ下さい。当日、皆様にお会いできる事を心よりお待ちしております。

最後になりますが、昭和戊辰乃会を支えて下さいました全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。次は、改元会の番だ、頑張れ!

「とうとう、俺たちの番がやってきた!!」

第51回総明会 御寄付者一覧

(敬称略、9月7日現在)

学校関係

白駿会有志一同様

金 十二万四千八〇円

明誠会(昭和54年卒)

金 二十万四千円

紫魂会(昭和55年卒)

金 九万六千円

明翔会(昭和56年卒)

金 十二万八千円

明魂会(昭和57年卒)

金 十二万三千円

明輪会(昭和58年卒)

金 六万七千円

明心会(昭和59年卒)

金 十九万円

闕魂会(昭和60年卒)

金 二十七万三千円

新世輝(昭和61年卒)

金 十七万二千元

明猿会(昭和62年卒)

金 十八万円

応援団OB会

金 四万七千円

吹奏楽班

金 三万九千円

マンドリンクラブOB会

金 四万円

明球会

金 二万五千五百円

歴史研究部OB会

金 三万六千円

明水会

金 十三万三千円

明雪会

金 四万二千元

フエシンング部OB会

金 四万円

卯の木会

金 五万二千元

ごとう会

金 五万二千元

田村会(放送班OB会)

金 二万七千元

ヤマダ大感謝祭

金 九万四千元

班・クラブOB会

金 十三万円

総明会ゴルフ委員会

金 十二万七千元

明治高校卒明治大学職員有志同

金 二万円

個人

金 壹拾万円

平野 一哉(昭和59年卒)

金 伍萬円

赤岩 大輔(昭和62年卒)

金 参萬円

渡辺 智郎(昭和60年卒)

金 小貳萬円

小田川玉城(昭和25年卒)

金 吉田耕太郎(昭和45年卒)

原 健治(昭和60年卒)

金 壹萬円

中村 正容(昭和43年卒)

中河 孝樹(昭和44年卒)

比留間竹郎(昭和45年卒)

廣野 宏士(昭和47年卒)

岡本 雅仁(昭和51年卒)

志村 和哉(昭和54年卒)

染谷 貴男(昭和57年卒)

宮下 大(昭和57年卒)

小林 謙之(昭和57年卒)

真野 大(昭和58年卒)

大塚 達宏(昭和58年卒)

大山 輝芳(昭和59年卒)

稲田 裕一(昭和60年卒)

金 伍千円

蓑田 克己(昭和55年卒)

幹事学年 寄付者一覧

青木 高志	浅見 昌克	荒木 一城	安斉 聡	石川 和男	石田 昌義	市村 哲也	伊東 明彦	林(伊藤) 泰	今田 修	岩田 真男	大川 直樹	岡崎 正和	尾崎 博之	織田 敏之	鍛冶 慎次郎	梶木 基晴	加瀬 和人	片山 祐司	鎗木 祥介	刈米 聡一郎	川角 光太	木内 和助	木村 秀生	木村 幹寿
郡司 晃浩	小林 一隆	小柳 貴裕	近藤 弘樹	佐藤 武	佐藤 昌弘	佐藤 裕一	猿渡 正男	澤井 泰良	清水 秀	清水 孝明	菅 和禎	鈴木 宏幸	相馬 和義	高田 賢一郎	高橋 直樹	滝沢 修	田嶋 慎治	立川 計	田中 一任	富樫 孝之	富川 雅晴	友沢 幸作	根本 孝洋	長谷川 誠
長谷部 尚紀	平井 肇	平野 由朗	藤館 朋大	藤波 信義	保坂 紀宏	本間 豊明	松崎 秀樹	松田 智之	丸山 徹也	三上 康之	光岡 孝之	御山 明男	森田 浩章	諸井 右一	安川 琢哉	矢野 茂樹	山下 征隆	山本 信秀	山崎 健一	芳澤 徹	米持 貴史			

(五十音順)

御礼

この度は第51回総明会総会及び懇親会開催、並びに会報誌「紫紺の詩」の発行にあたりまして、大変多くの皆様よりご寄附及び広告掲載をいただき誠にありがとうございました、深く感謝申し上げます。

私共「昭和戊辰乃会」は昭和63年に明治高校を卒業し約27年が過ぎました。この一年私共同期一丸となり、先輩方にご指導をいただきながら総明会の幹事学年を務めて参りました。そして数多くの先輩方の同期会や班クラブのOB会にお邪魔させていただく中で、どちらの会におきましても私共幹事学年を温かく迎えていただき、お気遣いいただきました。先輩方の明治を思う気持ち、後輩を思いやる気持ちに触れ、感激し、こうして先輩から後輩へ明治の繋がりが出来ていくのだなと思えました。次年度の幹事学年からは平成の卒業になります、次年度以降の幹事学年にも変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが明治高校・明治中学校並びに総明会の益々の発展をご祈念申し上げまして簡単ではありますがお礼のご挨拶とさせていただきます。

昭和戊辰乃会

寄付広告委員長

田中 一任

総明会 (明治大学付属明治高等学校同窓会) 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、総明会と称する。

(目的)

第2条

本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

(事業及び会計処理)

第3条

本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 母校に対する賛助活動を推進すること。
2. 会員名簿を整備、管理すること。
3. 会報などの広報物を発行すること。
4. 同期会の結成を助成し、奨励すること。
5. 班部OB会の開催を助成し、奨励すること。
6. その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

(事務局、所在地)

第4条

本会の事務を行うために事務局を設ける。事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

(役員)

第5条

本会は、旧制 新制明治中学校、明治大学八丈高等学校もしくは明治高等学校の卒業生ならびに同校に在籍したことのあるものを会員とする。

(入会金及び終身会費)

第6条

会員は、入会の時に入会金及び終身会費を本会に納入するものとする。入会費及び終身会費の額ならびにその徴収の方法は、理事会が明治大学付属明治高等学校校長(以下、校長)というのの同意を得て定める。

(特別会員)

第7条

母校の教職員であるもの及びその職にあつたものを特別会員とする。

(役員)

第8条

本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

(役員の種類及び定員)

第9条

会長及び副会長の選任は、別に定める「会長及び副会長選出規定」に基づいて選定し、理事会及び評議員会の承認を受け、総会の決議をもつてこれを選任する。会長及び副会長は、その就任と同時に理事となる。但し、任期中途で会長及び副会長を補充すべき場合は、「会長及び副会長選出規定」に準じて選定し、理事会及び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任直後の総会において承認を得るものと

する。

② 会長及び副会長以外の理事並びに監事(以下「会長選任役員」という)は、会員の中から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。

③ 専務理事、常務理事及び事務局局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。

④ 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員の無いように直ちに役員を選任しなければならない。

⑥ 理事は評議員を兼務できない。

⑦ (理事会)

第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

⑧ 理事会は理事をもつて構成する。

⑨ 理事会は会長がこれを招集する。

⑩ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。

⑪ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

⑫ 理事は書面により理事会の決議に加わることができる。

⑬ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

(会長等の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、執行する。

② 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはあらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。

③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。

④ 常務理事は、専務理事を補佐する。

⑤ 事務局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。

⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。

⑦ 理事は、会務を分担する。

(監事の職務)

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

(名誉役員)

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあつたものの内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてこれを推薦する。

④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問をそれぞれ推薦する。

⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあつた者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

(総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会は必要のあるときに開催する。

② 総会は、会長がこれを招集する。

③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知し、行う。

(総会の議事)

第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち、理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(懇親会の開催)

第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の召集通知に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもつて構成する。

④ 委員会は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中心から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。また、総明会に登録した支部OB会毎に1人の評議員を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

② 同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

③ 総明会に登録すべき支部OB会が結成されていないか、もしくは支部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができない。

④ 同期会の評議員と支部OB会の評議員は兼任できない。

(評議員の職務)

第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び支部OB会の関係で必要な事務を処理する。

② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

(評議員会)

第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中心から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

④ 中から会長が指名したものがあたり、その進行は事務局長が行う。
評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長が決するところによる。

第7章 同期会

第21条 (同期会)
会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 班部OB会

第22条 (班部OB会)
会員は、在学中在籍した班部ごとに班部OB会を組織することができる。

② 班部OB会は、OB会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

③ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

④ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

(会計の種類と会計年度)

第23条 本会の会計処理は、一般会計と特別会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合のほか理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。

② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(基金)

第24条 理事会は、本会の財政基盤を安定させ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成するため基金を積立てる努力をしなければならない。

② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したものと、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはない。

④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもつて構成する。

⑤ 基金への組入金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定しもしくは変更する。この場合、第26条の定め(特別決議)を準用する。

⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議)を準用する。

⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える事業遂行基金とする。

⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁するため、理事会及び評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができる。

⑩ 会長は、緊急に処置を要すると認めた事項(以下「緊急処理事項」という)のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。

この場合、会長は緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該

事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

(経費)

第25条 本会の経費は、入会費(ただし基金組入れ分を除く)、終身会費及び寄付金(ただし基金組入れ分を除く)並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもつて支弁する。

② 会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

③ 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

(予算)

第26条 会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

② 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

③ 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

④ 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

(決算)

第27条 本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

② 基金特別会計の決算報告においては、財政基盤基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び決算時の在り高のほか、特別基金の累計額を報告するものとする。

第10章 補則

(特別決議)

第28条 本会の会則の改正は、総会における出席委員の4分の3以上の多数による決議によらなければならない。

(届出)

第29条 会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

③ 支部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附則

(経過措置1)

第1条 年会費(同期会)

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となつた者で構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条 年会費

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)

第1条 (年会費支部OB会)

支部OB会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条 年会費

支部OB会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日

(参考)

改正前第7条(年会費)
同期会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

(選出委員会の設置、解散、委員の選出)

第1条 会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。委員会は役員改選又は補充の時期に合わせて、十分な期間を考慮し、理事会が設置する。

③ 委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにあたる。

④ 委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

(会長、副会長の選出、承認について)
第2条 委員会は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け付け、その者をもつて候補者とする。

② 候補者の中より、会長及び副会長候補者を選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③ 理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

④ 評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

⑤ 評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもつて、これを選任する。

(理事会の承認)

第3条

委員会より選出された会長候補者が1名の場合、理事会において過半数の信任をもつて承認されたものとする。

② 委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

③ 委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもつて承認されたものとする。

④ 委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

(評議員会の承認)

第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもつて承認されたものとする。

(会長、副会長の資格)
第5条 会長及び副会長の資格は次の各号のいずれをも満たすものとする。

1. 総明会会員として20年以上在籍していること。
2. 評議員又は理事を経験していること。
3. 立候補届出締め切り時の年齢が70歳未満であること。

この規定は、平成26年11月16日より施行するものとする。

昭和63年卒 昭和戊辰乃会 編集後記

毎年毎年、連綿と幹事学年に受け継がれる伝統のエネルギーを驚きを持って目の当たりにし、断れない性格も災いして深く関わることとなりました。

渉外担当の会報委員、執行部の皆さんには大変ご面倒をかけました。制作作業に没頭させていただき、大変助かりました。感謝致します。

(田嶋 慎治)

私にとつて明治中学高校とは、記憶の奥にしまつていた単なる出身校の名前でしかなかった。しかし、幹事学年として会報を作り上げていくうちに、「明治」という学校が母校となり、そして自分の誇りに変わつてゆくのを感じた。

同期・先輩・後輩と多くの時間を分かち合う事が心地よくなり、絆の深まりに喜びを感じる素晴らしい時となった。

(高田 賢一朗)

今回の冊子を出すにあたり、お世話になった多くの方々(会報委員、寄付・広告委員、各OB会の方々)にまずは感謝を致します。同期のメンバーの中でも、理系に進学した私にとつてこの総明会の集まりが、同期の仲間に出会う久々の機会でした。しかし、久々な感じは全くなく、学生時代を思い出しました。

あとは総会。やり残すことのないよう、頑張つて行きたいと思います

(刈米 聡一郎)

変わった生き方をしていると自負しておりますが、取材等を通じて先輩や後輩に出会い、いろんな人生がある事を知り、そしてそれが大真面目である事に感銘いたしました。また後輩にもいろんな事を伝えていきたいです。

(木内 和助)

中三から毎年尾崎先生に個別指導を受けていた自分が、会報委員として堀さん・五十嵐さん・志獅丸さんのインタビューに立会い、対談記事に関わり貴重な体験をさせてもらい、寛大な心のすばらしい同期にとっても感謝しています。

(芳澤 徹)

毎年届く総明会会報を何気なく読んでましたがまさか自分がこの会報を作る側に携わるとは思つてませんでした。なかなか参加出来ずに他の会報委員の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが同期の仲間と久しぶりに会う機会が楽しかったです。

ありがとうございます。

(佐藤 武)

住所変更時のお願い

総明会では、総明会会報・総明会からのお知らせが皆様のお手元に一通でも多く確実に届くよう各学年の評議委員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが、左記総明会事務局までご連絡いただき真仕様お願いいたします。

連絡先：総明会 事務局長

熊倉 章雄

TEL 03-3695-0067

メールアドレス
a.kumakura@ybb.ne.jp

お礼とお詫び

この会報紙発行にあたり、多くの総明会の皆様から、ご寄稿及び貴重なお写真の提供をいただきました。会報委員会一同心よりお礼申し上げます。

紙面の都合上、全てを掲載することができませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。また、文章中においても、万人が読みやすい表現に統一をはかるため、会報委員の責任で割愛・表現の変更をさせていただきました。

会報委員全員で文章を校正しましたが、至らぬ点もあるかと思えます。何卒ご理解いただきます様お願い申し上げます。

また、別冊の「せつかく行くなら総明会のお店」につきましても、調査が至らぬ部分があるかと存じます。全ての飲食店を網羅できておりませんが、何卒ご容赦いただきましたくお願い申し上げます。

第51回総明会実行委員会

実行委員長

安川 琢哉

実行副委員長

光岡 孝之

事務局長

尾崎 博之

会計委員長

岡崎 正和

会計副委員長

平井 肇

ゴルフ委員長

滝沢 修

副委員長

富樫 孝之

式典委員長

保坂 紀宏

副委員長

山下 征隆

菅 和禎

御山 明男

藤波 信義

菅 和禎

田中 一任

田中 一任

寄付広告委員長

郡司 晃浩

副委員長

平野 由朗

会報委員長

諸井 右一

副委員長

田嶋 慎治

高田賢一郎

高田賢一郎

刈米聡一郎

刈米聡一郎

総明会創立50周年記念 企業広告

総明会創立50周年記念誌の発行にあたり
企業広告をいただいた方々の広告を
昨年度と本年度の2年にわたり
会報に掲載させていただきました

祝 総明会50周年

総明会 顧問・明高野球部を甲子園に送る会 会長

山 浦 晟 暉

昭和29年卒(29会)

株式会社東京富士カラー 代表取締役

紫紺の旗のもと

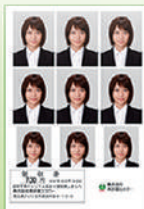
同じ学舎で汗を流し青春を過ごした総明会会員の皆さん、
次なる60周年に向け、友情の強い絆で頑張ってください。
母校の発展と、会員各位のご健勝ご活躍を祈念致します。



証明写真設置のご案内

TEL 03-3378-2111

受付時間9:00~18:00
(土曜日・日祝日を除く)



履歴書用



パスポート用



免許証用

不景気でも、高需要の証明写真

準備金ゼロ

メンテナンス
不要

省スペース



株式会社 東京フジカラー

東京本社

〒164-0012 東京都中野区本町2-29-12
TEL03-3378-2111 FAX 03-3378-2112

大阪支社

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-17-5
TEL06-6325-5621 FAX 06-6325-8801

<http://www.tokyofujicolor.co.jp/>

祝 総明会50周年

総明会 顧問 山崎 敬生

昭和32年卒 明治会

市原企業株式会社 〒299-0102 市原市青柳2-1-23
代表取締役 TEL.0436-21-8100

首を回らせば七十有餘年
人間の是非看破するに飽いたり
往来跡^{かす}幽かなり深夜の雪
一炷の線香古^{こそう}匆(窓)の下

良寛

蒼天の一炷香

広い野原の青空の下に、たった一本、細々と線香が燃えている…。

吹けば飛ぶような存在で人目につかない。

世を動かす様な力があるわけでもない。

然し何かかすかに匂っている…いい匂いがする…

これも立派な存在ではないか。願わくはそんな人になりたい。

昭和32年(1957)卒 明治会

会長 小林正三郎 幹事 太田 喜久(評議員) 嵯峨 徳治
副会長 山崎 敬生 長野 敏樹(評議員) 浪越 和民

事務局 〒299-0102 市原市青柳2-1-23 市原企業(株)内 明治会
E-mail:kio-shi@agate.plala.or.jp 携帯:090-8891-3571

総明会 名誉会長

明治大学 校友会 会長／明治大学 名誉教授・顧問

向 殿 政 男

昭和36年卒 明駿会

学校と卒業生

「学校は、卒業生が社会での活躍することを期待し、卒業生は、母校に感謝すると共に、母校の発展と素晴らしい後輩の育成を期待している」という関係は、学校とその卒業生との普遍の関係である。更に、深い絆は、卒業生がその母校を卒業したということ、これは一生の縁である。死ぬまで、そして、孫代々まで、変わらない縁である。この関係と絆を大事にしたいと思う。

卒業生は、母校の学恩にどのように応えたらよいのであろうか。第一義は、しっかりと足を地に付けて、社会に貢献することであり、ひとかどの人間として人から信頼を受ける人物になることである。また、ゆとりが出来たら、いや、出来なくても、卒業生として、母校に何ができるかを考えてみよう。母校と卒業生とを繋ぐ役割を果たす総明会等の校友会活動は、その一つである。時間的、または、財政的、または、心理的等に少しでもゆとりができれば、同期に声を掛けて、総明会の活動に参加してみよう。自分の生きがいのためにも、母校のためにもなる一石二鳥の活動である。

時代は変わる。社会は変わる。学校も卒業生も時代に則していかなければ生きていけない。しかし、変わってはならないものがある。質実剛健、権利自由、人間を大事にするという母校の建学の精神である。時代を貫く建学の精神によって、学校も、在校生も、先輩も後輩も一本に繋がっている。時代時代の変化により境遇や経験は大きく変わろうとも、母校を思い、母校を支援し続けている。その一つが、総明会の活動である。それぞれの年代の多様性を重んじつつ、毎年、引き継がれ、活発に活動し、伝統が継承されている。素晴らしいことである。

向殿政男 Masao Mukaidono

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

TEL.03-3296-4730

FAX.03-3296-4728

E-mail:masao@g03.itscom.net

URL:<http://www.mukaidono.jp/>

昭和36年卒

明駿会

会長 加藤 眞義 ・ 副会長 谷 正之



観賞魚店用発売

豊富な金魚品種紹介・金魚の病気の治療と対策
飼育の手引きなどプロのブリーダーも必携の一冊



●A4サイズ 176ページ
価格 本体1500円+税

同時発売中

一般書店用発売



創業文政二年「金魚の吉田」が現代に伝える
金魚の歴史と知恵と極意の宝庫



株式会社 日東書院

●A4サイズ 176ページ
価格 本体1500円+税

<http://www.kingyo-yoshida.com>

創業文政二年
金魚の吉田
老舗

KINGYO NO YOSHIDA



江戸時代から受継がれた

金魚の知恵と極意

店内は、ゆったりと金魚をご覧いただける環境スペースです。
各地天然記念物等各産地ごとに水槽を区分してありますので、
その土地の有名金魚をご覧いただけます。



昭和 37 年卒 吉田信行

株式会社ヨシダ

東京都葛飾区東新小岩5丁目14番7号 (〒124-0023)
TEL 03-3694-3751 FAX 03-3694-3753

エチダウグループ

日本動物薬品株式会社 株式会社ニチドウ
日動食品株式会社



大田区・品川区エリアの賃貸マンション・賃貸アパートをお探しなら

シティ・ハウジング賃貸情報サイト

<http://www.cityrent.jp>

ご希望条件を
登録可能!



大田区・品川区・蒲田・大森・大井町・羽田で探すならここ!
京急線、京浜東北線、東急池上線、東急多摩川線の
賃貸マンション・アパート物件情報満載!



City Monthly

シティマンスリー



<http://www.citymonthly.jp>

港区、大田区、品川区、川崎市の
マンスリーマンション
ウィークリーマンション

礼金0・敷金0・仲介手数料0
生活に必要な備品を80品目以上完備

あなたの街のトランクルーム

CITY・BOX シティボックス

<http://www.city-box.jp>



お家や
会社の**収納に!**

24時間出し入れ自由!
1ヶ月からご利用OK!
清潔! 安心! 低価格!

80箇所以上
2300室以上

代表取締役 **佐藤 仁**

昭和39年卒 一一七会



株式会社シティ・ハウジング

〒144-0034 東京都大田区西糀谷4-28-14

TEL.03-3742-7177 FAX.03-5705-8097

<http://www.cityhousing.co.jp>

糀谷本店・京急蒲田店・蒲田東口店・大森店・大森駅前店・大井町店・雪が谷店・売買センター・本社管理部

祝 総明会50周年

総明会会長
尾島 育四郎

昭和41年卒 41明友会

総明会創立50周年を迎え、
会員皆様方と心よりお祝いを申し上げます。
向こう100年を目指し歴史と伝統を有した
心温かな同窓会組織を歩み続けて参ります。

三徳印刷株式会社

代表取締役社長 尾島 育四郎

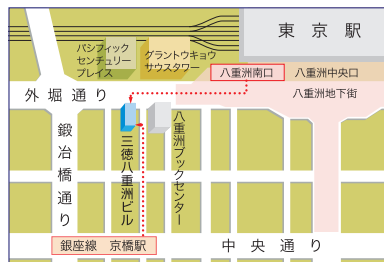
■ 事業内容

- ◎一般美術印刷・英文印刷・帳票印刷・連続伝票印刷
- ◎株主総会関係印刷全般及び目論見書
- ◎株券、配当金領収証、支払通知書等連続印刷
- ◎マーケティング事業：商品開発等のマーケティング IR
- ◎広告宣伝事業：セールスプロモーション、企画制作
- ◎イベント事業：展示会、ショー企画・設計・施行
- ◎東日本郵宣



郵政関係・官公庁広告企画、
事業推進部事務局、統括関東事務局

〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-21
三徳八重洲ビル8F
TEL.03-3281-3016 FAX.03-3281-7289
E-mail:santoku@k-toku.co.jp
<http://www.hn-yuusen.com/santoku/>



総明会顧問・総明会前会長

昭和43年(1968年)卒 紫讃会 **佐久間 洋一**

佐久間 法律事務所

弁護士 佐久間洋一 弁護士 山岸潤子
弁護士 前田千春 弁護士 大槌健一
弁護士 市村岳史 弁護士 廣江 茜

当事務所は、1983年4月に開設し、多くの実績を積んで
2013年に30周年を迎えることができました。
これもひとえに皆様のご支援の賜と感謝しております。

現在、当事務所には私を含め6名の弁護士が在籍しております。

迅速かつ的確な、更には誠実かつ高度なリーガルサービスを
提供すべく日夜研鑽に励んでおります。

今後とも皆様にとって身近で心強い弁護士、法律事務所となるよう
一丸となって職務に取り組んでいく所存です。

何とぞ倍旧のご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

主な取扱業務

金融商品取引関連(会社側)

企業法務

労働

企業再生

倒産関連

宣伝広告

不動産取引

借地・借家

交通事故

刑事事件

その他離婚・相続等

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目12番1号 第2寿ビル7階

Tel.03-5568-6646(代表) Fax.03-5568-6648

URL <http://www.sakuma-law.com/>

愛の食卓・心のふれあい

大正10年創業の精肉店が
お届けするコロッケは、
たくさんの方々に
ご好評をいただいております。



ミートショップ セキヤ

ご贈答セットもご用意
できますので
お問い合わせください。

多数のマスコミにコロッケを ご紹介いただきました!

- ◎JCN足立 地域情報バラエティ「のんき〜ず Natural でいこう!」(2013年5月20日)
- ◎日本テレビ「火曜サプライズ」の「食いしんBOYS」(2013年1月22日)
- ◎そごう千葉店「全国グルメ選手権」に出店。(2013年1月16日~22日)
- ◎週刊現代の取材で、女優の雛形あきこさんがご来店。(2012年12月27日)
- ◎そごう千葉店「第4回 江戸・TOKYOフェスティバル」に出店。(2012年1月17日~23日)
- ◎TBSテレビ「はなまるマーケット」(2011年10月24日放送)
- ◎そごう千葉店「江戸・TOKYOの味と技」に出店。(2011年1月18日~24日)
- ◎そごう大宮店「ちい散歩フェア」に出店。(2010年9月14日~20日)
- ◎西新井大師「花まつりセール」に出店。(2010年4月5日~5月31日)
- ◎そごう千葉店「ちい散歩フェア」に出店。(2010年1月23日~25日)
- ◎ものスタMOVE(テレビ東京)(2010年1月12日)
- ◎出沒!アド街ック天国(テレビ東京)(2008年1月12日)

日本テレビ「火曜サプライズ」の取材で
ウエンツ瑛士さん、石塚英彦さん、
吉田沙保里さんがご来店。



ミートショップ セキヤ

〒123-0843 東京都足立区西新井栄町3-8-5
TEL.03-3886-3318
FAX.03-3886-5803
<http://www.1129sekiya.com/>
定休日 日曜・祝祭日 営業時間 9:00~19:30



代表取締役

関谷 芳久

昭和44年卒 男坂倶楽部
総明会 副会長
明治大学駿河台体育会常任理事
明治大学体育会少林寺拳法部監督

セレクトショップ

MAHCOME

食の「感動」をお届けします。

ひたむきに職人が作り出す逸品には、
食の感動が隠されています。

静岡の緑茶と
特選食材を中心に、
各地から人気の逸品を
お届けいたします。



ご注文はホームページから <http://www.mahcome.net>



きわむ りょくちや 極蒸し緑茶シリーズ

新芽の香りとじっくり蒸し上げた逸品です。
贅沢な旨みと甘みが特徴です。
ご自宅用、ご贈答用、来客用にいかがですか。

ひすい ちゃおう
翡翠茶王 (100g 袋入り) 2,000円 (税抜価格)

ひすい しずく
ひすいの雫 (100g 袋入り) 1,000円 (税抜価格)

ひすい かお
ひすいの香り (100g 袋入り) 800円 (税抜価格)

味わう
摘みたてを

本物を 知る

イタリアトスカーナ産 エキストラバージンオイル

世界一と評されるイタリアトスカーナ州から
手摘みにより厳選に収穫されたオリーブの実を
新鮮なまま特別な製法でじっくり丁寧に搾油した逸品です。
毎年数量限定で直輸入しております。
雑味が全くなく、気品あふれる風味、
一番搾りならではの高い栄養価が特徴です。

500ml 3,000円 (税抜価格) / 750ml 5,000円 (税抜価格)



代表取締役社長

坂上 真啓

昭和49年卒 翼明会



坂政合板株式会社

〒424-0045 静岡市清水区東大曲町8-36

Tel.054-366-1155 Fax.054-366-1109

MAHCOME マーカム株式会社

Tel.054-366-2478 Fax.054-366-2479

ターカム保険企画有限公司

創業 昭和63年2月

お客様にまごころを込めたサービスをお届けします。

保険ばかりではなく幅広いライフコンサルタントとして、
暮らしの中の様々なリスクに対し、お客様に最適な
保険の提案をさせていただくことをモットーとしております。
お客様の様々なご意見・ご要望をもとに今後の活動に
反映させていきたいと思ひます。

photo by akira takezawa
上空800mより

取扱保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社
第一生命保険株式会社
一般社団法人 日本損害保険協会

代表取締役 **竹澤 啓** 昭和49年卒 翼明会 代表幹事
美術部演劇部・相撲部・生徒会本部OB

自動車保険

お客様のニーズにあわせて最適なカタチで。



火災保険

貴方の「住まい」をまるごとお守りします。



生命保険

それぞれのき方にいつもベストの備え方。



本社事務所

スタッフ一同

ターカム保険企画有限公司

〒134-0083 東京都江戸川区中葛西3-14-4
TEL.03-3675-9955 FAX.03-3675-9922
E-mail tacam_hoken@yahoo.co.jp

総明会副会長
◎ 井家上 哲史

昭和51年卒 明々会

物理部OB会 明物会 会長

明治大学 理工学部 電気電子生命学科

学科長・教授・工学博士

E-mail : ikegami@isc.meiji.ac.jp

Department of Electronics and Bioinformatics, School of Science and Technology, Meiji University

明治大学 理工学部 電気電子生命学科

通信技術研究室

Communication Technology Laboratory

◎ 研究室について

井家上教授が国立試験研究機関で12年間衛星通信の実験研究に携わった後、1997年4月に明治大学に着任し、同年に開設した研究室です。線で結ぶことなく、伝えたいメッセージや欲しい画像と言った情報を離れた場所から受け取り、あるいは送るために必要な技術がワイヤレス(無線)ネットワークです。研究のキーワードはUWB(超広帯域)、コグニティブ無線、QoS、高信頼制御無線通信、ヘルスケア医療情報通信技術(Medical ICT)、センサネットワーク、M2Mなどです。

◎ 研究テーマ例

- 周波数利用効率向上のためのコグニティブ無線通信システムに関する研究
- 高信頼制御のための中継ノードを利用した機器間無線通信に関する研究
- ボディエリアネットワーク(BAN)の高信頼化研究
- UWB無線通信・測位方式に関する研究
- UWB無線を用いた呼吸および心拍の遠隔検知に関する研究
- 次世代無線ネットワークのための周波数利用法に関する研究
- UAV・海中・次世代衛星通信・高度交通システム(ITS)



<http://www.isc.meiji.ac.jp/~comtech/>
〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1



銘靴が選ぶ、
銘脇役。



職人達がひとつひとつ
愛情を込めてつくる手作りの逸品。
現在世界50カ国以上で
ダスコは愛されております。

ダスコ社の最高級モデル。ツインチューブを採用。
甲の高さを抑えシェイプされたラストは、
様々なインポートシューズにマッチ。
その他にもラインナップを多数取り揃えています。
詳しくはwebへ <http://www.arakawasangyo.co.jp>

Knights bridge ナイツブリッジ

価格 ¥20,000+税

SS:24~24.5cm S:25~25.5cm M:26~26.5cm L:27~27.5cm LL:28~28.5cm

※天然素材を使用しているため、それぞれ木目が異なります。

※サイズ表示は目安です。ご使用になる靴により異なります。

ARAKAWA SANGYO CO.,LTD. (昭和51年卒 前田 稲一郎)

荒川産業株式会社 〒111-0024 東京都台東区今戸2-14-6 TEL : 03-3874-8191

税務会計・経営法律トータルオフィス
相続税のご相談及び申告書作成お任せ下さい!

税理士法人 狩野会計社

代表社員 **狩野 智雄**

昭和56年卒 明翔会

総明会会計

明雪会事務局会計

駿台会計人倶楽部専務理事

明治大学士業会会計理事

駿河台ライオンズクラブ幹事

東京税理士会広報部委員

東京税理士会王子支部副支部長

NPO法人モア・グリーン・ゴビ税理士の森基金理事

〒114-0002

東京都北区王子2丁目28番2号

TEL.03-3913-1964

FAX.03-3912-0835

<http://www.kanou-kaikeisya.com>



JR王子駅北口改札より徒歩7分

東京メトロ南北線4番出口より徒歩4分半

税務業務

- ◎法人・個人の設立開業から決算申告までのあらゆる税務処理にかかわる業務(届出・申告書の作成相談)
- ◎相続・贈与及び資産の譲渡に関する相談並びに申告事業承継に関する相談
- ◎税務調査の立会い(税務官公署の職員との面接等)及び処分に対する主張の代理代行

社会保険労務士業務

- ◎併設の事務所にて社会保険・労災保険・雇用保険等に関する相談・申請・各種手続を致します。

行政書士業務

- ◎併設の事務所にて建設業・宅建業等の申請・更新や会社設立に関する相談・書類の作成など

システムとして捉える、新しい家のかたち。

大出産業株式会社

◎事業内容木造住宅建築・一般鉄骨建築

◎プレハブ建築の製造販売リリース

◎木材及関連商品の製造販売・木工事

〒135-8691 東京都江東区東陽4-12-18

TEL.03-3645-9171(代)

<http://www.odesangyo.co.jp>

代表取締役社長 昭和29年卒 大出 彰

昭和31年卒 大出 育男

昭和37年卒 大出 勝

昭和37年卒 大出 宏

帽子製造卸 東 栄 株式会社

こだわりの帽子をトレードマークに

チャップリンは山高帽子、キートンはペチャンコのパナマ帽、
ハロルド・ロイドはカンカン帽と、三大喜劇王はみな、
帽子がトレードマークだった。

貴方も、ご自分のトレードマークを見つけて
お洒落な人生を楽しみませんか？

取締役会長 土田 饒(昭和31年卒 明楽会)

代表取締役 土田 正昭(昭和61年卒 新世輝)

〒103-0002

東京都中央区日本橋馬喰町1-3-5

TEL.03-3664-0810 FAX.03-3664-0033

E-mail.toei@beach.ocn.ne.jp

祝 総明会 50周年記念

昭和31年卒 佐藤 健一 明楽会
陸上競技部OB

昭和33年卒 佐藤 康二 33会
マンドリン倶楽部OB

昭和54年卒 明誠会
熊倉 章雄
総明会 事務局長

Fresh up
クリーニング
サカエ



★信頼の技術と品質でご対応します!!
★高級品、ブランド品のクリーニングもOK!!
★お得なポイントサービスやっています。

《本店》 白百合幼稚園前
東京都葛飾区西新小岩4-29-1
TEL.03-3697-7268

《支店》 大黒通り店
東京都葛飾区西新小岩4-14-4
TEL.03-3695-0067

営業時間:8:00~21:00 日曜日定休

<http://www.geocities.jp/sakae929/>



明治大学発祥の地
銀座で九十年



心豊かなひとときを。

大正十四年創業の私たち三笠会館グループは、
熟練の技と新鮮な食材を活かして
細やかなおもてなしと銀座の華やかな美味を
お届けしてまいりました。
これからもケータリングサービスをはじめ
お客様にご満足いただける
レストランを目指してまいります。



発行：明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会
〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校内
TEL. 042-444-9100 <http://www.meiji.cside7.com/>
編集：昭和戊辰乃会(昭和63年卒)
総明会 会報委員会
印刷：ふじ・プリント
2015(平成27)年10月1日発行